

平成 27 年度

岡谷市教育要覧



岡谷市教育委員会

岡谷市幸町 8 番 1 号

TEL (0266) 23-4811 番

FAX (0266) 24-2755 番

岡谷市ホームページ <http://www.city.okaya.lg.jp>

岡谷市民憲章

緑と湖にまつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは、

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。

自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。

心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。

教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

仕事に誇りを持ち、豊かな産業のまちをつくります。

(昭和 46 年 7 月 1 日制定)

人権尊重都市宣言

わたくしたちは誰もが等しく基本的人権が保障され、人間らしく幸せに生活したいと願っています。

市民憲章では「あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。」と掲げ、全市民が人権意識を高めるための努力をしています。

しかし、わたくしたちの周りには、さまざまな人権問題が存在していることも事実です。

今こそ、人権の尊重は、市民一人ひとりの課題として受けとめ、明るく住みよいまちづくりのために努めなければなりません。

よって、わたくしたちは、基本的人権を正しく理解し、あらゆる人権侵害をなくすことを誓い、ここに岡谷市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

(平成 8 年 3 月 21 日宣言)

おかや子育て憲章

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

明るく元気で健やかな子どもに育てます。

命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。

自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。

行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。

力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

(平成 14 年 4 月 1 日制定)

岡谷市のおいたち

縄文時代

この地に私達の祖先の縄文人が住むようになったのは、今からおよそ1万年前、縄文時代の最も早い時期にさかのぼります。豊かな湖と山野に囲まれ、東西文化の接点という交流の要衝として、また和田峠の黒曜石の集散地として縄文時代全般にわたって、大きなムラが営まれました。

弥生時代

諏訪地方では最も早く稲作農耕の技術が伝わり、大小の沢、湧水地、天竜川縁辺に大きなムラが発達し、たくさんの玉類を身に付けた王者が存在するほど発展します。

古墳・奈良・平安朝時代

やがて小地域ごとにムラを治めるようになり有力な豪族が生まれ、律令体制が整い、国の統治が全国に及ぶ頃になると、信濃の国の諏訪郡役所が長地一帯に設けられ、大きな高床の建物と役所に勤める役人を中心にマチが発展しました。また、官牧の岡屋（おかのやの）牧が定められ、この頃、信濃の駒の産地の一つとして、朝廷に牧馬を進献していました。

中世武士の社会・戦国の世

鎌倉時代に、諏訪の武士は武運の誉高く、大きな活躍をします。吉野朝時代には、諏訪上下両社とも南朝方として宗良親王を奉じ、全郡あげて天下に呼号しましたが、足利の季世以降戦乱の巷と化しますと、それまで統治していた諏訪氏が滅ぼされ武田氏の領国となります。関ヶ原の戦以後、諏訪氏が旧領に復帰して明治まで高島藩の藩政が行われました。そして江戸時代は綿打業とその糸を使った小倉織が盛んになり、中山道の名物の一つとなって岡谷も栄えます。

明治維新以後

明治4年11月、信濃の国は大きく長野・筑摩の2県に分割され、この地は、筑摩県官下となって、郡県政治が行われることになりました。当時現市域は17村に分かれていました。

平野、湊、川岸、長地の各村の誕生

明治7年筑摩権令の合併勸奨指導のもとに平野村（7か村）、湊村（2か村）、川岸村（5か村）、長地村（3か村）が誕生し、明治9年には、筑摩県は長野県に統合されました。産業の近代化がすすめられる中で、この地は器械製糸業を積極的に取り入れ、大正から昭和初期には世界の一大製糸業地として発展します。

市制施行

昭和11年4月、当時平野村は全国一の大村から一躍市制を施行しました。これは製糸業の隆盛とともに人口が増加、また工業都市への転換をはかるなど画期的な前進からでした。

新しい岡谷市

かくて岡谷市は、歴史的にも深い関係にあった隣接の湊村、川岸村、長地村と合併し、「シルク岡谷」として世界にはばたいた街は、その後「東洋のスイス」といわれる気候・風土に恵まれ、精密工業を中核とした工業都市に転換してきました。そしてさらに近年は電子工業など先端技術の集積した工業都市として発展しています。いま本市は、県内有数の工業都市として発展してきた経緯を踏まえ、働く場の確保、人口の定着を図りながら、一層の産業振興を推進し、将来都市像である「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現を目指し、そのたくましさのもと、市民が輝き、いきいきと暮らすことができるまちづくりを進めていきます。

目 次

1. 教 育 行 政

(1) 岡谷市教育の基本目標	1
① 第4次岡谷市総合計画	1
② おかや子育て憲章	3
③ 第5次岡谷市生涯学習推進計画	5
(2) 市理事者・教育委員・関係市議会議員	8
① 市 理 事 者	8
② 教 育 委 員	8
③ 関 係 市 議 会 議 員	8
(3) 教育委員会機構	9
(4) 事務分掌	10
(5) 教育委員会事務局職員数	12
(6) 教育機関等の位置	13

2. 教 育 委 員 会 所 管 予 算

(1) 平成27年度岡谷市一般会計当初予算	14
(2) 平成27年度教育委員会費歳出項目別当初予算	15
(3) 教育費の年度別推移	16

3. 教 育 総 務 課

(1) 学校教育基本方針と重点	17
(2) 各分野に係る基本的な方針等	21
① 中学生期の部活動に対する基本的な考え方	21
② 岡谷市通学路交通安全プログラム	21
③ 岡谷市いじめ防止等のための基本方針	22
(3) 市内小中学校等	23
① 市立小中学校	23
② 学校教職員数	24
③ 児童・生徒数及び学級数	25
④ 保育園・幼稚園	26
⑤ 30人規模学級(35人学級)導入経過	28
⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み	28
⑦ 人口及び児童生徒数の年比較	31
⑧ 中学校卒業者の進路状況	32
⑨ 小中学校通学区域	33
⑩ 学校教育目標と特色ある学校づくり	34
⑪ 学校給食実施状況	39

⑫ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師	40
(4) 学 校 施 設	41
① 学 校 建 物 保 有 面 積	41
② 学 校 敷 地 保 有 面 積	41
③ 学 校 建 物 棟 別 保 有 面 積 (主 要 棟)	42
④ 学 校 水 泳 プ ー ル	43
⑤ 小 中 学 校 施 設 等 主 要 整 備 状 況	45
⑥ 小 中 学 校 コ ン ピ ュ ー タ 整 備 状 況	46
(5) 専 門 委 員 会 等	48
① 岡 谷 市 就 学 支 援 委 員 会	48
② 岡 谷 市 子 ども 教 育 支 援 チ ー ム	49
③ 岡 谷 市 小 中 学 校 子 ども の 自 立 支 援 委 員 会	51
④ 岡 谷 市 い じ め 防 止 対 策 推 進 委 員 会	52
⑤ 岡 谷 市 小 中 学 校 生 徒 指 導 推 進 委 員 会	53
⑥ 岡 谷 市 小 中 学 校 情 報 教 育 委 員 会	54
⑦ 岡 谷 市 保 健 体 育 推 進 委 員 会	55
⑧ 岡 谷 市 学 校 図 書 館 教 育 推 進 委 員 会	56
⑨ 岡 谷 市 学 力 向 上 推 進 委 員 会	57
⑩ 岡 谷 市 外 国 語 活 動 推 進 委 員 会	58
⑪ 岡 谷 市 道 徳 教 育 推 進 委 員 会	59
⑫ 学 校 評 議 員	60
⑬ 岡 谷 市 学 校 保 健 会	62
(6) 子 ども 総 合 相 談 セ ン タ ー ・ カ ン セ リ ン グ 体 制	63
① 子 ども 総 合 相 談 セ ン タ ー	64
② 分 室 (教 育 相 談 室)	64
③ フ ロ ッ ト リ ー 教 室 ・ 中 学 校 中 間 教 室	65
④ 心 の 教 室 相 談 員	65
⑤ ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー (専 門 カ ウ ン セ ラ ー)	65
⑥ ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー	66
(7) 高 等 学 校 ・ 専 修 学 校 ・ 専 門 学 校 等	67
① 高 等 学 校	67
② 専 修 学 校 ・ 専 門 学 校	67
③ 各 種 学 校	67
(8) 教 員 住 宅	68
① 公 立 学 校 共 済 組 合 分	68
② 市 営 分	68
③ 総 計 戸 数	68
(9) 奨 学 金 制 度	69
① 岡 谷 市 育 英 基 金	69
② 公 益 信 託 山 田 徳 郎 奨 学 基 金	70

4. 生涯学習課

(1) 生涯学習基本方針	71
① 基本方針	71
② 重点目標	71
(2) 社会教育	72
① 岡谷市社会教育委員の会議	72
② おかや子育て憲章理念の普及	72
③ 岡谷市成人式	73
④ 市民とあゆむまちづくり講座	73
⑤ 生涯学習人材バンク「おかやマナビスタッフ」活用事業	73
⑥ 人権教育	74
⑦ 放課後子どもの居場所づくり事業	75
⑧ 学童クラブ	75
⑨ 放課後子どもプラン推進事業	77
(3) 文化財保護	78
① 岡谷市文化財保護審議会委員	78
② 平成27年度の主な文化財保護事業	78
③ 施設	78
④ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財	79
(4) 図書館	91
① 基本方針	91
② 重点目標	91
③ 平成27年度重点施策	91
④ 施設	91
⑤ 利用案内	92
⑥ 蔵書冊数等	92
⑦ 利用状況	93
⑧ 平成27年度事業概要	95
(5) 美術考古館	97
① 基本方針	97
② 重点目標	97
③ 平成27年度重点施策	97
④ 施設	97
⑤ 利用案内	97
⑥ 資料	98
⑦ 利用状況	100
⑧ 平成27年度主要事業	100

(6) 生涯学習活動センター（生涯学習館）・公民館	102
1) 生涯学習館・公民館	102
① 基本方針	102
② 重点目標	102
③ 施設	103
④ 利用案内	104
⑤ 利用状況	106
⑥ 生涯学習館・公民館の事業	107
2) 青少年の健全育成	109
① 基本方針	109
② 重点目標	109
③ 事業	109

5. スポーツ振興課

(1) スポーツ振興基本方針	114
① 基本方針	114
② 重点目標	114
③ 平成27年度重点施策	115
(2) スポーツ施設	116
① 市営岡谷球場	116
② 岡谷市営庭球場	116
③ 岡谷市民湖畔広場	116
④ 岡谷市民川岸スポーツ広場	116
⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター	117
⑥ 岡谷市学校体育施設	117
⑦ 岡谷市民総合体育館	118
⑧ 岡谷市民水泳プール	119
⑨ 岡谷市やまびこアリーナ	119
⑩ 岡谷市営陸上競技場	119
⑪ 岡谷射撃場	119
(3) 平成27年度体育事業	120
① 岡谷市・岡谷市教育委員会主催事業	120
② その他スポーツ大会	121
(4) 体育関係団体等	123
① 岡谷市スポーツ推進委員	123
② 体育団体	123
(5) 平成27年度スポーツ教室	123
① スポーツ教室	123
② おかや小学生体育塾	124

③ ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室	124
④ おかやファミリースポーツプログラム	124
⑤ スケート教室	124
(6) 体育施設の月別利用状況(平成26年度)	125
① 市営岡谷球場	125
② 岡谷市営庭球場	125
③ 岡谷市民湖畔広場	125
④ 岡谷市民川岸スポーツ広場	126
⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター	126
⑥ 岡谷市学校体育施設	126
⑦ 岡谷市民総合体育館	127
⑧ 岡谷市民水泳プール	127

1. 教 育 行 政

(1) 岡谷市教育の基本目標

－生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち－

本市は将来都市像を「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」と定め、この実現に向けて5つの都市づくりの柱をかかげております。

この都市づくりの柱の一であり、教育の基本目標となる「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」の推進に努めます。

また、前期基本計画に引き続き、後期基本計画においても、「たくましい産業の創造」、「安全・安心の伸展」と並んで子育て支援を重点プロジェクトとして位置付け、市民総参加による「輝く子ども育成」に向けた取り組みを推進します。

- ① 第4次岡谷市総合計画 (基本構想2009年～2018年)
(後期基本計画2014年～2018年)

－生涯学習の推進－

1 学校教育の充実

子どもたちの心身の発達を促し、知識の習得と豊かな人間性を育てるため、教育内容の充実、施設・設備の整備を図るなど教育環境の充実に努めます。

また、子どもたちが新しい時代を切り拓く創造性豊かで、人として自立できる力を身に付けていけるよう、学校、家庭、地域、関係機関などとの連携を図り、地域社会全体で心豊かなたくましい人間性や社会性を育む教育を推進します。

2 青少年の健全育成

「おかや子育て憲章」の理念に基づき、子どもの心の自立を支えるよう家庭や地域社会が関係機関との連携のもとに、子どもの健全育成の基礎となる家庭教育力の向上や仲間づくり、また親子の絆を深められるようふれあいの機会の充実に努めます。

青少年の自主性や責任感を育むため、社会参加や交流活動などの機会の充実に努め、多様な人間関係を形成する重要な時期にある青少年の健全育成を推進します。

3 社会教育の充実

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、あらゆるライフステージに応じた学習機会や情報などを提供し、生きがいつくり、仲間づくり、社会貢献など市民が自主的に学び、支えあう生涯学習の環境づくりを進めるとともに、生涯学習活動の参加促進に努めます。

4 文化・芸術の振興

潤いのある心豊かな暮らしの実現をめざし、楽しさや感動、充実感をもたらす芸術文化の振興および地域文化の伝承を図ります。このため、優れた舞台芸術や美術作品を鑑賞できる機会の充実を図るとともに、市民自らの創作活動による発表の場を提供し、文化団体や人材育成を支援し、市民の芸術文化活動の活性化を図ります。

また、芸術文化の拠点となる施設の環境整備に努めます。

5 文化財の保護・活用

歴史的文化遺産の保護・継承のため文化財保護意識の高揚と文化財保存活動の支援を図り、地域資源としての活用を推進します。

特に、本市の礎を築いた製糸業に関わる近代化産業遺産群については、まちづくりや地域活性化の面からも活用を図ります。

6 スポーツの振興

市民一人ひとりが日常の生活の中で生涯にわたり、自己にあったスポーツに積極的に親しむことは、健康の保持増進、体力の向上、精神面のリフレッシュに役立ちます。

それぞれの目的、健康、体力、年齢に応じたスポーツ・レクリエーションに親しみながら、健康の維持増進を図り、心のふれあいと明るく活気に満ちた「生涯スポーツ」活動を体育関係団体との連携により推進するとともに、競技力の向上をめざしたさまざまな取り組みを行います。

7 多文化共生の推進

本市に在住する外国人の数は年々増加傾向にあり、国際理解の醸成と外国人が暮らしやすいまちづくり、外国人との共生の推進が求められています。

このため、国際交流活動を推進し、地域住民と在住外国人の異文化に対する理解を深めるとともに、児童生徒に対しては、国際理解教育の充実を図りコミュニケーション力の育成に努めます。

また、単に在住外国人の生活を支援するだけでなく、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化や習慣を尊重しあい認めあいながら、対等の関係を築き、同じ地域の構成員としてともに生きていくことができる社会をめざします。

② おかや子育て憲章

〔憲章制定の趣旨〕

わたくしたち岡谷市民は、これまで常に時代を先取りする進取の気性に富んだ人材を育て、まちの発展に寄与してきました。

緑と湖に恵まれた美しい郷土岡谷の未来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。

大人が、子育てに夢と希望をもち、子どもを愛し、心の自立を促し、生きる力を育み、子どもたちの育つ環境を整え、協力し合いながら互いに支え合う市民総参加による子育てのまちづくりを推進するため、この憲章を定めます。

〔憲章本文〕

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

- 明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- 命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。
- 自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
- 行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。
- 力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

平成14年4月1日制定

〔憲章実践の共通指針〕

子どもの生きる力を育むには、家庭・地域・学校が「子育て憲章」を共通の指針として、それぞれの役割を果たし、機能を発揮し合うことが大切です。家庭・地域・学校の連携した取り組みによってこそ、子どもはより強く、より大きく成長します。

家庭 《子育ての原点は家庭です》

- ・ 子どもは家族みんなで楽しく過ごすことを願い、**心をつなぎ合うコミュニケーション**を求めています。
- ・ 子どもが家庭で身に付けた**基本的な生活習慣**は、生涯にわたって子どもの心に生き続けます。
- ・ 子育ては家族みんなが参加・協力してバランスが保たれます。子どもが、**心身ともに調和のとれた成長**を続けるよう支えましょう。
- ・ 家庭を支える親の尽くす姿は、子どもの心に届き、**家族みんなで作る生活の価値**に気づかせます。

地域 《地域の子どもは地域で育てます》

- ・ 子どもたちに、地域での自然体験や遊びを経験させ、子どもの**豊かな心の育ち**を支えましょう。
- ・ 子どもたちに、地域の伝統・文化を伝える体験の場と機会を提供し、**地域への愛着心**を育てましょう。

- ・ 子どもたちに、異世代・異年齢交流ができる地域活動に参加させ、**地域の人や友だちとかかわる力や、思いやりの心**を育てましょう。
- ・ 子どもは地域の財産です。子ども会活動や地域子育てミニ集会などを通して、**地域一体となつての子育ての実践**に努めましょう。

学校 《基礎・基本の定着を図ります》

- ・ 学校は、特色ある教育課程の具現を通して、子どもの個性伸長と、調和のある全人的な成長を助け、**人としての自立への育ち**を支えましょう。
- ・ 共に学び合う学習活動を通して、子どもに**基礎的・基本的学力の定着**と、心に響く**学びの喜び**を得させましょう。
- ・ 共同社会としての学校生活を通して、子どもに思いやりの心や協調性・社会性などの**人間関係づくりの力・規範意識**を育てましょう。
- ・ 総合的な学習の時間を通して、子どもに活動的・協同的・課題解決的な学びの体験をさせ、**生きる力の育ち**を支えましょう。

お父さん、お母さんへ

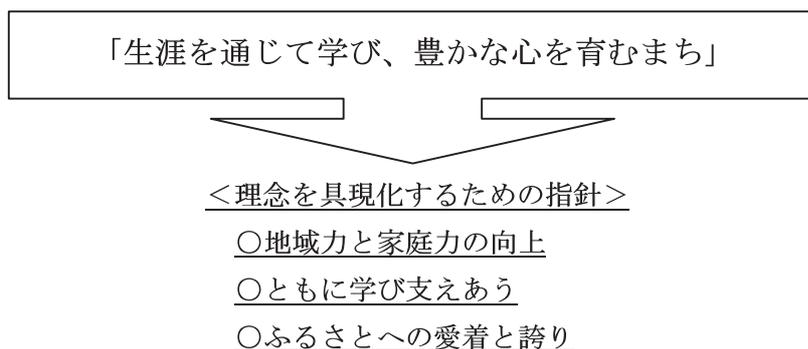
- ・ 子育ては、親にとって**人生の一大事業**です。
- ・ 子どもは、親の愛を実感することで**心を安定させ、強くたくましく成長**します。
- ・ 子どもの願いに耳を傾け、その願いを支える**親子の会話の機会**をもち続けましょう。
- ・ 親からの**正しいしつけが、子どもへの最大の贈り物**です。社会的ルールや善悪の判断、思いやりの心は、人とかかわりや遊びの中で身につけ育ちます。
- ・ 子どもに、家族の一員としての役割分担をもたせ、実感を伴った生活体験をさせることによって、**人としての自立の心**を育てましょう。

③ 第5次岡谷市生涯学習推進計画（2015年—2019年）

第5次岡谷市生涯学習推進計画は、第4次岡谷市総合計画の基本目標の一つである「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」を基調とし、特に後期基本計画（平成26年度からの5ヵ年）と一体的推進を図るものです。

また、岡谷市環境基本計画、岡谷市地域福祉計画、岡谷市高齢者福祉計画、岡谷市障がい者福祉計画、岡谷市児童育成計画（岡谷市子ども・子育て支援事業計画）、岡谷市健康増進計画、男女共同参画おかやプランなど、関連する部門計画と連携をもった計画として位置づけます。

1. 基本理念



2. 重点ポイント

(1) 「地域に学び貢献する」生涯学習

地域社会の基盤は、区などの身近な地域であり、こうした地域での学びが重要となります。市民一人ひとりがそれぞれの地域で「自分たちの住んでいる地域を自分たちの手で守り育てていこう」という地域住民の自治意識を高め、地域独自の文化を伝承していくことが重要となります。

これまで伝統的に培われてきた市民の学びをさらに広げ、学習の成果を単に個人だけのものとせず、地域活動に発展させ、地域の人と人との学び合いや周囲の人々の支えと励ましの中で、学習成果を還元することで「学びの循環」が生まれます。

こうした「学びの輪」の中でみずからの学びが評価されることで自己肯定感が生まれ「地域への貢献」意識が高まってきます。

(2) 「ふるさとを誇りに思う」生涯学習

本市には、シルクをはじめ素晴らしい文化や歴史があります。市民一人ひとりが、ふるさとを学び学習を深めることにより本市の良さを味わい、ふるさとをより身近に感じ愛着と誇りを持つことが重要です。また、先人の築き上げてきた歴史や文化を学び「地域力」を高めることが、ともに学びともに支え合う社会をつくります。

さらに、地域の大人が子どもに夢や希望を語りかけ、子どもたちに生活常識や地域の良さ、さまざまな知恵を伝授し、子どもと大人がともに学び合い高め合い、世代間の連帯を育むことで、将来、大人になったときにまちへの愛着を深めていくことにつながります。

(3) 「未来を担う青少年を育む」生涯学習

子どもたちは、次の時代の「まちづくり」を担う大事な宝です。青少年を取り巻く環境はめまぐるしく変容し、膨大な、また多様な情報が存在し、青少年の意識や行動に大きな影響を与えています。子どもは学校だけでなく、家庭や地域社会の中で過ごし、社会性を身につけながら成長していきます。青少年の健全育成と自立支援に関しては、家庭、学校、地域が連携し、奉仕活動をはじめ、自主的・自発的な地域活動、社会貢献活動などへの参画を促し、心豊かに成長できるよう努めていく必要があります。また、自分の課題を学び考える資質や能力など豊かな人間性を備えた生きる力を培うことが必要です。

さらに、「若い世代の学び」は、生涯学習のスタートとなります。感受性の高い子どもたちに学びのきっかけを与え、社会や世界に羽ばたく動機付けとなり、岡谷市の未来を担う人材の育成につながります。

また、高校生をはじめとする青年期では、地域とのつながりが希薄となり、非行や引きこもりなどが懸念されており、青年期の居場所づくりについて、さまざまな視点から研究・検討していく必要が生じています。

本市では、地域住民との協働による放課後子どもの居場所づくり事業が行われています。地域住民の参画により地域社会の中で心豊かで健やかに育む環境づくりを図ることが必要です。

さらに、野外活動や自然体験学習活動などの学校外活動を充実するとともに、地域行事やボランティア活動を通して、地域社会への積極的な参加を促進します。

(4) 「親力、家庭力を向上する」生涯学習

すべての教育の原点である家庭教育は、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的な倫理観や正義感、社会的なマナー、学習に対する意欲や態度等の基礎を子どもたちに育むものであり、重要なものです。一方、少子化、核家族化や都市化の進展などを背景に地域とのつながりが希薄化し親が身近な人から子育てを学んだり、助け合う機会が減少してきており、家庭及び地域の教育力の低下が問題となっています。温かい安らぎのある家庭を築くために親自身が学び、「親力」や「家庭力」を高めることが求められています。

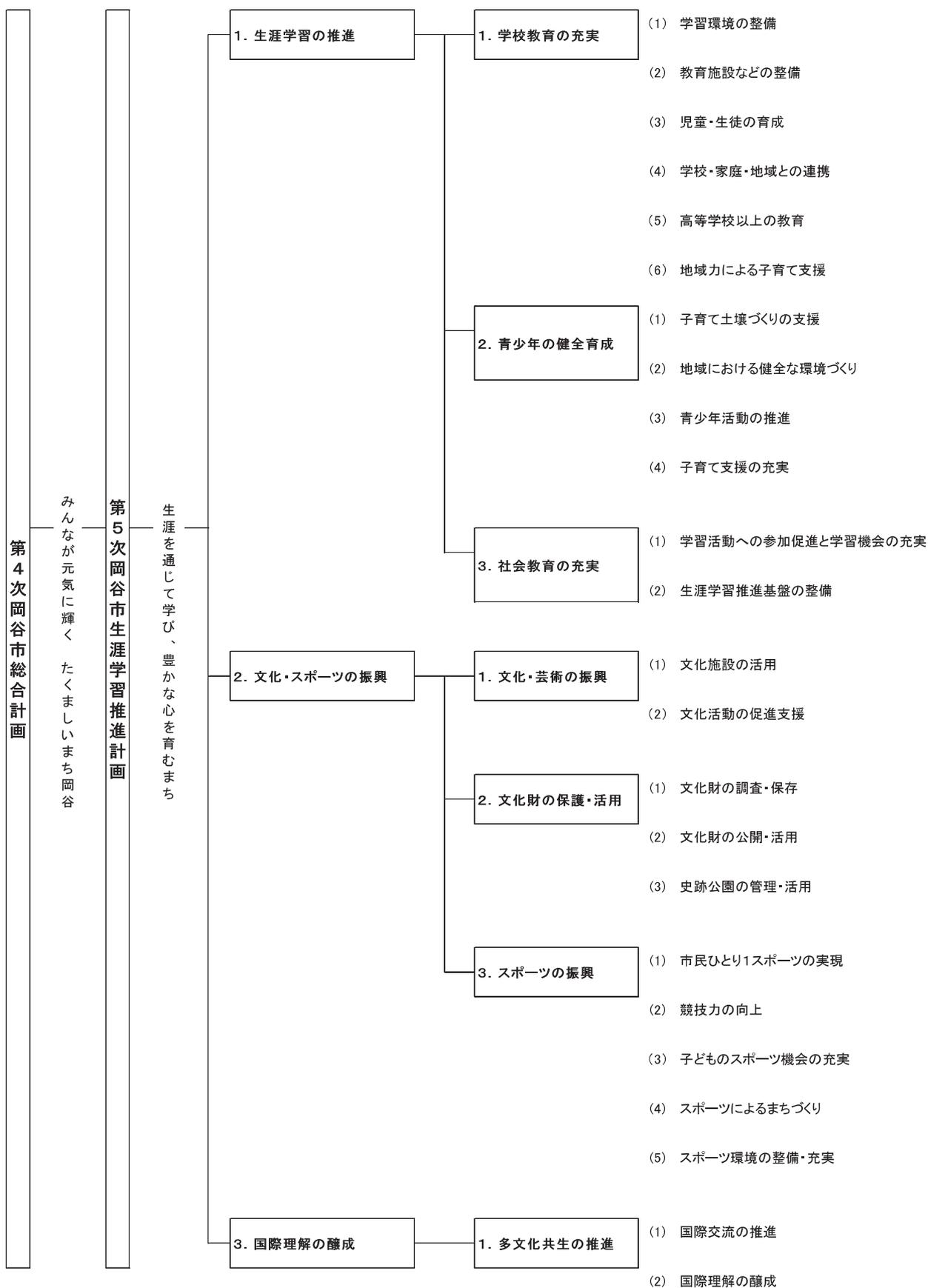
このため保護者が、子どもの発達段階に応じた関わり方を学び、理解を深め実践することで、家庭をつくり子どもを育む力を磨くことが重要となります。

行政、家庭、地域が相互に連携し、地域に溶けこめない保護者等にも、あらゆる機会を通じて参加や相談の機会を提供し充実していくことが大切です。

本市では、おかや子育て憲章の具現化のため作成した「成長樹（期）子育て実践ポイント」を活用し、成長期に沿った子育てに関する意識啓発を推進しています。

また、各種相談業務を充実するとともに、子育て講座や家庭教育学級の開催、親子の交流の場の創出、子育て経験者と親との交流の場の創出、身近な地域における子育て支援事業などにより体制の充実を図り、家庭教育への支援を展開します。

第5次岡谷市生涯学習推進計画体系図



(2) 市理事者・教育委員・関係市議会議員

① 市理事者

(平成27年5月1日現在)

職名	氏名	就任年月日	任期	備考
市長	今井 竜五	平19. 9. 29	平27. 9. 28	
副市長	中田 富雄	平21. 4. 1	平29. 3. 31	
〃	宮澤 昇	平20. 7. 1	平28. 6. 30	

② 教育委員

(平成27年5月1日現在)

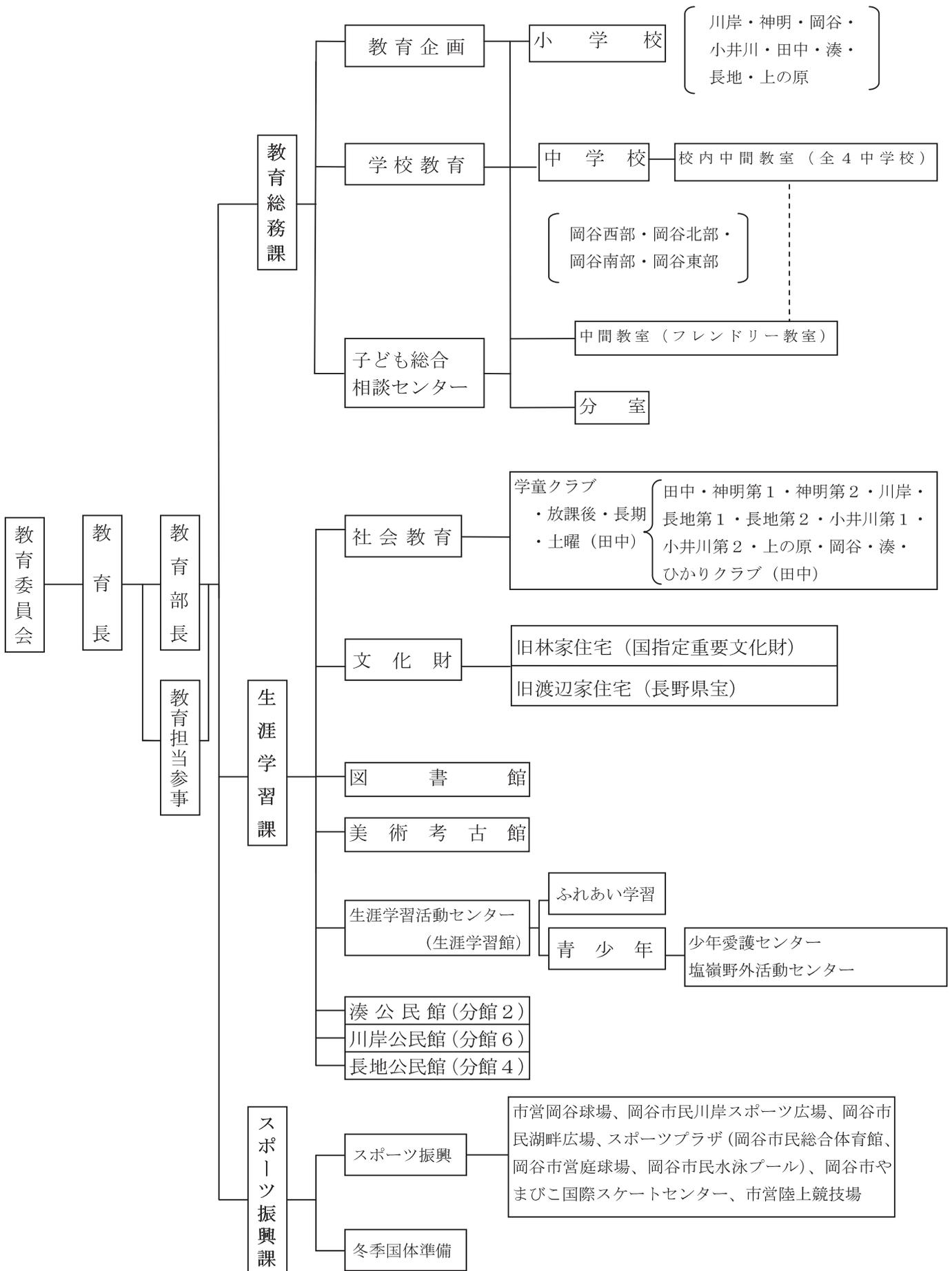
職名	氏名	就任年月日	任期	備考
委員長	草間 吉幸	平19. 3. 10	平31. 3. 9	委員長就任 平20. 10. 1
同職務代理者	倉田 啓子	平19. 12. 1	平27. 11. 30	同職務代理者就任 平22. 3. 3
委員	橋爪 園美	平22. 3. 11	平30. 3. 10	
委員	小野 繁男	平24. 10. 1	平28. 9. 30	
委員	太田 博久	平27. 3. 1	平31. 2. 28	
教育長	岩本 博行	平26. 8. 11	平28. 9. 30	教育長就任 平26. 8. 11

③ 関係市議会議員

(平成27年5月19日現在)

職名	氏名	備考
議長	竹村 安弘	議長就任 平27. 5. 18
副議長	八木 敏郎	副議長就任 〃
総務委員会	委員長	委員長就任 平27. 5. 19
	副委員長	副委員長就任 〃
	委員	竹村 安弘
	〃	今井 秀実
	〃	今井 康善
	〃	大塚 秀樹

(3) 教育委員会機構



(4) 事務分掌

区 分		事 務 分 掌	
教 育 総 務 課	教育企画	1. 教育委員会の会議 2. 教育委員会規則の制定及び改廃 3. 事務局、学校、その他の教育等機関の職員の人事 4. 教育委員会の施策の企画及び調整 5. 法第27条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況点検及び評価等 6. 教育財産の管理 7. 学校その他の教育等機関の設置、管理、廃止 8. 教育委員会所属職員の厚生及び福利 9. 教育に係る調査及び基幹統計 10. 公印の管理 11. 文書の収受及び保管 12. 教員住宅 13. 校長及び教職員の服務並びに研修 14. 育英事業 15. P T A等 16. 事務局、部及び課の庶務	専門委員会 ・学校図書館教育推進委員会 ・保健体育推進委員会
	学校教育	1. 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導 2. 教科書その他教材の取扱い 3. 通学区域の設定及び変更 4. 学齢児童、生徒の就学並びに入学及び転学 5. 児童生徒の保健、衛生、安全、厚生及び福利 6. 学校給食 7. 学校施設の整備及び営繕 8. その他学校教育	専門委員会 ・情報教育委員会 ・学力向上推進委員会 ・外国語活動推進委員会
	子ども総合相談センター (分室・フレンドリー教室)	1. 教育支援主事及び子ども教育支援相談員の統括 2. 就学支援に関する総合調整 3. 学校・家庭・関係機関との連携 4. 学校諸問題に関する総合的な教育・相談支援 5. 岡谷市子ども教育支援チームに関すること 6. その他教育委員会が特に必要と認めること	専門委員会 ・就学支援委員会 ・岡谷市子ども教育支援チーム ・子どもの自立支援委員会 ・いじめ防止対策推進委員会 ・生徒指導推進委員会 ・道徳教育推進委員会

生涯学習課	社会教育	1. 生涯学習の総合計画及び推進 2. 社会教育の振興 3. 社会教育委員の会議及び研修 4. 社会教育施設の整備及び監督管理 5. 成人式 6. 放課後子どもの居場所づくり事業の運営 7. 学童クラブの管理運営 8. 人権教育 9. 課の庶務	
	文化財	1. 文化財の保護及び調査 2. 旧林家住宅の管理 3. 旧渡辺家住宅の管理 4. 文化財保護審議会	
	図書館	1. 図書館の管理 2. 図書館活動の総合的企画及び調査 3. 図書館資料の収集、整理及び保存 4. 図書館資料の利用のための相談、閲覧及び貸出し 5. 図書館関係機関、関係団体、読書団体との連携及び調整 6. 公印の管理	
	美術考古館	1. 美術考古館の管理 2. 美術考古館活動の総合的企画及び調査等 3. 美術品及び考古等に係る資料の収集、保管並びに調査、研究 4. 美術考古館資料等の公開、利用及び活用並びに教育普及活動 5. 公印の管理	
	生涯学習活動センター (生涯学習館)	ふれあい学習	1. 生涯学習に係る学級、講座、講演会等の企画実施 2. 社会教育団体及び学習グループの育成 3. 学習ボランティアの育成 4. 生涯学習活動センター全体の調整 5. 公民館等の連絡調整 6. 生涯学習活動センターの管理 7. 所管する公印の管理
		青少年	1. 青少年育成関係団体事務の総合調整 2. 青少年育成関係団体及び地区組織等の育成 3. 青少年及び指導者の研修 4. 少年愛護センター 5. 青少年教育並びに青少年の総合対策、企画及び調査 6. 青少年問題協議会 7. 塩嶺野外活動センターの管理運営
	湊公民館 川岸公民館 長地公民館	1. 学級、講座、講演会等の企画実施 2. 社会教育団体及び学習グループの育成 3. 分館活動の育成指導 4. 公民館図書室 5. 公民館の管理運営 6. 公印の管理 7. その他各公民館との連携	
	スポーツ振興課	スポーツ振興	1. スポーツの振興及び指導 2. 各種スポーツ大会の計画及び運営 3. スポーツ関係団体 4. 市営岡谷球場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民湖畔広場、スポーツプラザ（岡谷市民総合体育館、岡谷市営庭球場、岡谷市民水泳プール）、岡谷市やまびこ国際スケートセンター及び市営陸上競技場 5. 学校体育施設の開放 6. 岡谷市やまびこアリーナの財産管理 7. 課の庶務
		冬季国体準備	平成29年冬季国民体育大会に関すること

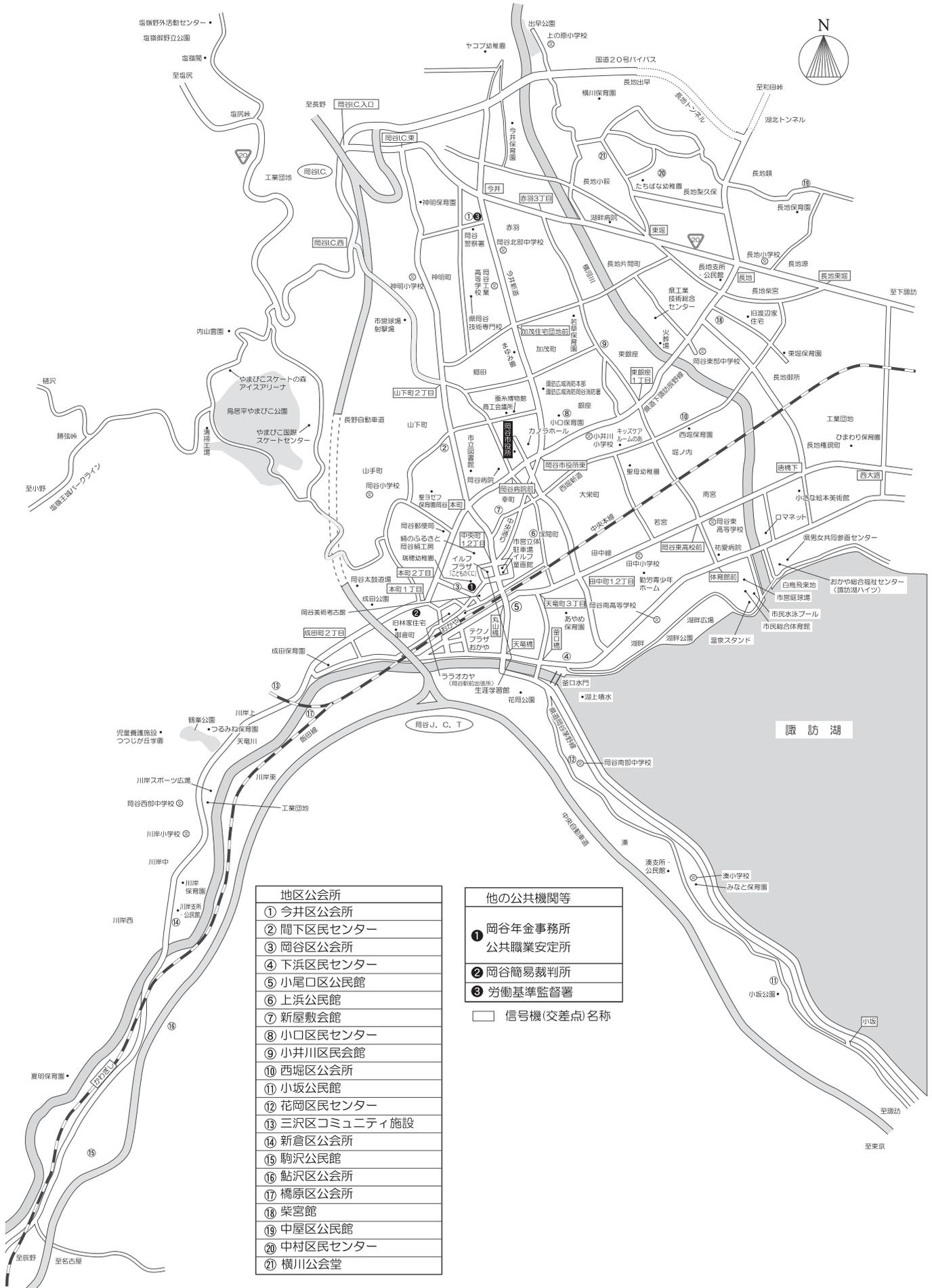
(5)教育委員会事務局職員数

(平成27年4月1日現在)

	教育長	部長	参事	課長	副参事	主幹	主査	主任	主事	嘱託	合計	備考
教育長	1										1	
教育部長		1									1	
教育部教育担当参事			1								1	
教育総務課				(1)							0	
教育企画						2	2			1	5	
学校教育						1(1)	2			1	4	
子ども総合 相談センター						1	1			5(2)	7	
生涯学習課				1	1						2	
社会教育						1	1	1		12	15	
文化財						1	1			1	3	
図書館						1	1		1	5	8	
美術考古館						(1)	1			1	2	
生涯学習活動センター (生涯学習館)										1	1	
【ふれあい学習】						1	2			1	4	
【青少年】						1	2			1	4	
【湊公民館】				(1)			1				1	
【川岸公民館】				(1)			1				1	
【長地公民館】				(1)			1				1	
スポーツ振興課				1							1	
スポーツ振興						1	1	2			4	
冬季国体準備						(1)						
合計	1	1	1	2	1	10	17	3	1	29	66	

()内は兼務者で外数
子ども総合相談センターの()は子ども課の兼務者数

(6) 教育機関等の位置

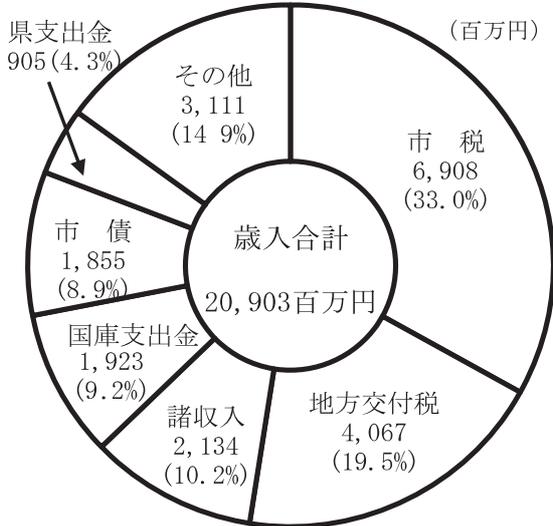


2. 教育委員会所管予算

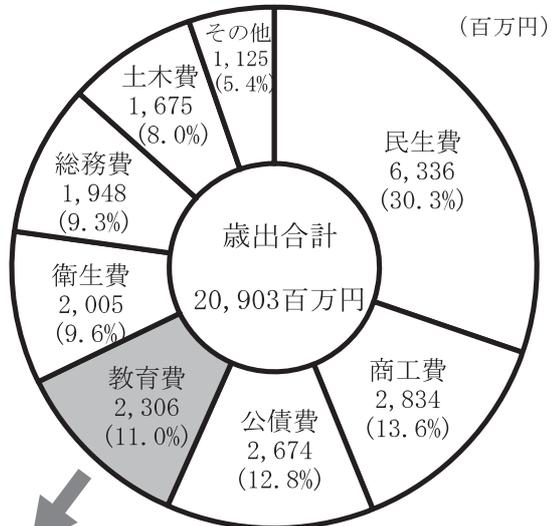
(1) 平成27年度岡谷市一般会計当初予算

歳入・歳出予算 209億300万円
(前年 213億5,200万円)

【歳入予算額構成比率】



【歳出予算額構成比率】



	H27	H26	増減
民生費	6,336	6,418	△ 82
商工費	2,834	2,724	110
公債費	2,674	3,570	△ 896
教育費	2,306	1,488	818
衛生費	2,005	1,851	154
総務費	1,948	2,202	△ 254
土木費	1,675	1,501	174
その他	1,125	1,598	△ 473
合計	20,903	21,352	△ 449

	H27	H26	増減
教育費	2,306	1,488	818
教育総務費	368	361	7
小学校費	704	374	330
中学校費	646	273	373
社会教育費	373	263	110
保健体育費	215	217	△ 2

☆生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち☆

平成27年度 教育委員会関係主要事業予算

◎子ども総合相談センター事業	16,530 千円
◎特別支援教育推進事業	5,335 千円
◎小学校教科書改訂に伴う教師用教科書等整備事業	15,255 千円
◎学校統合施設整備事業	73,200 千円
◎小中学校非構造部材耐震改修事業	293,600 千円
◎岡谷西部中学校耐震改修事業	334,600 千円
◎小中学校埋設ガス管改修工事	4,500 千円
◎放課後子どもの居場所づくり事業	5,231 千円
◎学童クラブ拡充事業	53,075 千円
◎学童クラブ整備事業	100,500 千円
◎美術考古館特別企画展開催事業	2,094 千円
◎図書館暖房機器改修工事	8,400 千円
◎庭球場施設改修事業	700 千円
◎やまびこ国際スケートセンター改修事業	5,000 千円
◎おかやスケート振興事業	3,984 千円
◎かがやけ おかやキッズ体力アッププログラム事業	1,998 千円
○通学路交通安全対策事業 (土木費 計上)	24,900 千円

(2) 平成27年度教育委員会費歳出項目別当初予算

(単位 千円)

項 目	予 算 額	比率(%)	項 目	予 算 額	比率(%)
1. 教育総務費	368,657	16.0%	(5) 生涯学習活動センター費	48,113	
(1) 教育委員会費	5,273		(6) 図書館費	67,445	
(2) 事務局費	282,499		(7) 文化財保護費	16,699	
(3) 教員住宅費	44,929		(8) 塩嶺野外活動センター費	5,213	
(4) 幼稚園費	35,956		5. 保健体育費	214,807	9.3%
2. 小学校費	703,809	30.5%	(1) 保健体育総務費	997	
(1) 学校管理費	681,337		(2) 体育施設費	197,903	
(2) 教育振興費	22,472		(3) スポーツ振興費	15,907	
3. 中学校費	646,119	28.0%			
(1) 学校管理費	623,037				
(2) 教育振興費	23,082				
4. 社会教育費	372,598	16.2%			
(1) 社会教育総務費	6,103				
(2) 放課後子ども健全育成費	158,806				
(3) 公民館費	38,299				
(4) 美術考古館費	31,920				
				2,305,990	100.0%

(3) 教育費の年度別推移

(単位 千円)

年度	当初予算			最終予算		
	一般会計(A)	教育費(B)	比率(B/A)	一般会計(C)	教育費(D)	比率(D/C)
平成元	14,389,000	2,168,603	15.07%	16,366,635	2,203,498	13.46%
平成2	14,453,000	1,898,352	13.13%	17,119,360	1,932,889	11.29%
平成3	16,061,000	2,140,124	13.32%	18,090,724	2,165,157	11.97%
平成4	17,855,000	2,347,761	13.15%	19,745,317	2,364,645	11.98%
平成5	18,576,000	1,906,554	10.26%	21,800,770	1,911,279	8.77%
平成6	20,577,000	1,953,454	9.49%	23,250,264	2,212,756	9.52%
平成7	19,055,000	2,013,162	10.57%	21,180,773	2,090,644	9.87%
平成8	19,195,000	2,296,892	11.97%	23,087,050	2,355,758	10.20%
平成9	24,289,000	2,721,028	11.20%	24,918,813	2,457,550	9.86%
平成10	21,712,000	2,745,935	12.65%	25,381,263	2,853,430	11.24%
平成11	21,534,000	2,183,794	10.14%	24,418,762	2,285,557	9.36%
平成12	21,690,000	2,240,401	10.33%	23,446,224	2,337,230	9.97%
平成13	22,005,000	2,052,788	9.33%	25,089,840	2,128,769	8.48%
平成14	20,820,000	1,983,194	9.53%	25,714,524	2,044,159	7.95%
平成15	23,005,000	2,068,565	8.99%	24,480,365	2,155,178	8.80%
平成16	23,315,000	2,138,048	9.17%	23,944,826	2,279,376	9.52%
平成17	20,935,000	2,167,384	10.35%	22,638,527	2,276,964	10.06%
平成18	19,023,000	1,745,782	9.18%	20,826,798	1,744,625	8.38%
平成19	18,518,000	1,708,261	9.22%	19,489,332	1,715,757	8.80%
平成20	18,655,000	1,614,361	8.65%	20,995,488	1,725,447	8.22%
平成21	18,726,000	1,422,281	7.60%	21,194,892	1,913,727	9.03%
平成22	19,600,000	1,402,813	7.16%	21,615,156	2,098,213	9.71%
平成23	20,240,000	1,641,597	8.11%	22,122,348	2,561,311	11.58%
平成24	20,233,000	1,471,587	7.27%	21,170,830	2,309,364	10.91%
平成25	21,090,000	1,409,364	6.68%	25,480,473	1,948,413	7.65%
平成26	21,352,000	1,487,939	6.97%	24,556,693	1,639,907	6.68%
平成27	20,903,000	2,305,990	11.03%			

3. 教育総務課

(1) 学校教育基本方針と重点

基本方針

一人ひとりの個性、人格、人権を尊重し、それぞれの能力、適正に応じた教育の推進を図り、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる資質や能力の育成に努め、21世紀の社会を担うにふさわしい人間性豊かでたくましい児童生徒の育成をめざす。

また、児童生徒の成長課題や心身の悩み等に対応する指導・相談体制・カウンセリング機能の充実を図るとともに、「人としての自立」を目指した心の育成や感性を育てることに重点を置いた教育の一層の推進を図る。

重点

地域に根ざした特色ある学校創りの推進

- ・地域に息づく・根付く学校創り
- ・地域と創る学校
(岡谷型コミュニティースクール)

ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の充実

- ・ふるさと「岡谷」の人・もの・ことに
「誇りと自信」を持つ「地域学習」
- ・「私 岡谷のここがスキ」の心を育てる

笑顔で安心して学べる 教育環境の整備

- ・幼小中連続的な支援
- ・児童生徒の手による
「いじめ根絶運動」
- ・防災教育の充実
- ・地域ボランティア連携

確かな学力保障と 成長保障を図る授業改善

- ・分かる やる気の出る授業
 - ・振り返りの場のある授業
 - ・家庭学習の改善と充実
 - ・特別支援教育の充実と推進
- ◇ユニバーサルデザイン化

「自立と共生」に 繋がる教育活動の充実

- ・道徳教育の充実
- ・心の教育の充実
- ・キャリア教育の推進
- ・日常に生きる SST
- ・児童会生徒会の自治推進

12校がめざす「魅力ある学校創り」の重点

重点目標

①学習環境の整備

ア 特色ある学校づくり

家庭や地域との連携を深め、地域の伝統や特色を生かした教育課程を編成し、地域とともに児童生徒の個性の伸長と子どもの自立への育ちを支え、基礎的、基本的な学力の定着を図り、みずから学び考え、郷土を愛する心情を育てます。また、小中一貫校など教育の多様性について調査、研究を進めます。

イ 教育指導の充実

各教科の学習内容を研究、吟味し、個々の児童生徒の個人差に応じた、きめ細かな指導を行い、基礎的、基本的な学力の向上に取り組むと同時に、総合的な学習、各種学校行事、特別活動などを通じてコミュニケーション能力や課題を解決する力など生き抜く力の育ちの向上に努めます。

ウ 心の教育の充実

道徳教育や人権教育を通じて、豊かな情操をはぐくみ、自尊感情とともに他者を思いやる心や協調性、社会性などの人間関係を築く力、規範意識と人権意識を育てます。平和体験研修の実施や子どもたちによるいじめ根絶運動を推進します。また、いじめなどの生徒指導上の諸問題に対応し、子どもたちの悩みや不安、ストレスなどを軽減するために、学校や医療機関等関係機関と行政が連携し、相談支援の充実を図ります。

エ 特別支援教育の充実

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服するため、適切な指導や支援を行うとともに、副学籍による交流および共同学習の取り組みなどを通じて、すべての子どもが輝き、ともに学び、ともに育つ共生社会の実現をめざします。また、専門性の高さや質の向上が求められることから、医療機関をはじめとする各種関係機関や、庁内各部署との連携を深めます。

オ グローバル社会への対応と情報・環境教育の充実

国際化や情報化など、急速な社会変化に対応するため、ALT*や（公財）おかの文化振興事業団国際交流センターなどと連携しながら、英語学習の充実と英語コミュニケーション能力の向上を図ります。また、情報化社会に積極的に対応できる情報活用、情報基礎の能力の育成、情報モラル教育と環境や環境問題に対して必要な知識等の習得や理解を深める教育の充実を図ります。

カ 教職員研修の充実

未来を担う児童生徒の教育に携わる人材として、高度な知識や指導力、責任感などに加え、社会の多様なニーズや課題への適切な対応力が求められます。子どもや地域とともに歩み、意欲的にみずからの資質能力を磨く教職員をめざして、研修機会の確保や学びやすい環境の整備に努めます。

②教育施設などの整備

ア 学校施設の整備

「岡谷市耐震改修促進計画」に基づき、平成27年度中に学校施設の耐震化（非構造部材含む）を完了させ、経年などにより老朽化している施設の長寿命化を図るための定期的な点検と計画的な施設整備に努めます。岡谷小学校の田中小学校及び神明小学校との統合については、学校統合推進委員会を中心に様々な検討、調整を進め、着実かつ円滑な統合を推進します。

また、少子化、人口減少社会に対応した市内小中学校の適正な配置については、市内通学区の見直しや小中学校の統廃合も含め、幅広く意見を聞きながらあり方を検討します。

イ 教育機器、教材、教具の整備

教育内容に応じた教育機器、教材、教具の整備に努め、あわせて経年により劣化しているこれら教材機器などの計画的な更新により充実を図るとともに適正な管理に努めます。

ウ 教員住宅の適正管理

「岡谷市教員住宅管理運営計画*」に基づき、教員住宅の適正管理に努めます。また、老朽化している教員住宅の今後の活用などについて十分な検討を行い、有効活用できるように努めます。

③児童・生徒の育成

ア 体力向上の推進

児童生徒が体育授業や体育行事などを通じて運動の楽しさを味わい、仲間と運動することの素晴らしさや喜びを体験する中で、体力や技能の向上の推進を図ります。

イ 食育の推進

家庭や地域との連携のもとに、バランスのとれた望ましい食習慣の形成と健康の増進、食に対する感謝の心や健全な心身をはぐくむため、総合的な学習や体験学習により、食育の推進を図ります。また、食物アレルギーのある児童生徒の食に関する管理を徹底し、安全で安心な学校給食の提供に努めます。

④学校・家庭・地域との連携

ア 安全・安心の教育

児童生徒に対して生命尊重、人間尊重の教育を徹底し、過去に起きた犯罪や災害などを教訓としながら、みずから判断して危険を回避する力をはぐくむ防災教育の充実を図るとともに、地域ぐるみで子どもを見守り、育てていく環境づくりを促進します。

イ キャリア教育の推進

多様化する社会環境に対応するため、社会的に自立した人間の育成をめざし、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の推進を図ります。

ウ 地域に開かれた学校づくり

地域に開かれた学校をめざすため、地域住民との交流や生涯学習の支援拠点としての施設の開放を進めるとともに、学校、家庭、地域の連携や協働による信州型コミュニティスクール事業の研究を進め、順次取り組んでいきます。

エ 相談支援体制の充実

子ども総合相談センターを中心とする教育支援をより進展させ、乳幼児期から学齢期へと子どもの成長に合わせ、さらに、将来の社会的自立を見通した教育や支援が行えるよう、途切れのない相談支援体制づくりを進めます。また、関係機関や地域の繋がりを大切にし、福祉や医療と連携を図って子育て家庭を支え合う地域をめざします。

⑤高等学校以上の教育

ア 高等学校との連携

高等学校との連携を密にし、生徒にとって魅力ある教育内容が編成される学校づくりを働きかけます。

イ 奨学金制度の活用

学ぶ意欲ある生徒、学生のために奨学金貸付制度を活用し、次世代を担う人材育成に努めます。

ウ 高等教育機関などの活用

大学などの専門的知識を有する機関を活用し、本市の教育・文化・産業の振興を図ります。

平成27年度重点施策

①岡谷小学校統合計画推進事業

岡谷小学校の田中小学校及び神明小学校との統合については、「学校統合推進委員会」を中心に、統合に関わる「3校合同職員会議」との連携を図りながら、統合に伴う学校運営、学校生活に関わる様々な調整を行うとともに、田中小学校、神明小学校の児童数増加に伴う施設改修を行い、平成28年4月の着実かつ円滑な統合を推進する。

②学校施設等の整備・充実

◇耐震改修事業等

- ・西部中学校耐震・大規模改修工事
(管理教室棟、第2体育館、プールの改築等)
- ・学校施設非構造部材耐震改修工事
(川岸小学校、神明小学校、小井川小学校、田中小学校、湊小学校、長地小学校、岡谷西部中学校、岡谷北部中学校、岡谷南部中学校及び岡谷東部中学校の各体育館のバスケットゴール、照明等)
- ・小中学校埋設ガス管改修工事
(神明小学校、小井川小学校、長地小学校、上の原小学校、岡谷北部中学校)

③学習環境・教育指導の充実・推進

◇「子ども総合相談センター」事業

“子どもの育ち”全般に関する相談を総合的に受け付け、各機関と連携し個々の状況に応じた助言や指導を行う。

◇特別支援教育推進事業

一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うことを目指し、重点的に取り組む。引き続き、文部科学省のインクルーシブ教育システム構築モデル事業を受託し、「複数の合理的配慮協力員の活用と全校でのユニバーサルデザイン化」「田中小LD等通級指導教室への職員複数化配置」等を推進する。

◇岡谷市子ども教育支援チーム会議

地域も含めた組織をいかにして関係機関で情報共有を図り、日常的な連携のあり方、啓発活動等について協議し、実践する。「長期欠席」「いじめ・人権」の2部会で協議を行う。

◇「子どもたちによるいじめ根絶運動」支援事業

いじめの撲滅に向け、4中学校の生徒会を中心に子どもたち自らの手で推進してきた事業。平成25年度から、小中学生合同で「いじめ根絶子ども会議」を開催。本年度の中心校は、岡谷北部中学校。

◇平和体験研修事業（中学生の広島派遣事業） 8月5日～7日 学校代表20名（2年生）

次代を担う中学生が、歴史上初めて投下された原子爆弾によって想像を絶する惨害を被った広島を訪れ、生命の尊さを感じ、また核兵器の廃絶と恒久の平和を念願し、21世紀を「平和の世紀」とするために努力する強い意志と態度を育む契機とする。

<内容>

- ・被爆体験講話研修 ・平和記念公園見学 ・平和記念資料館見学 ・平和記念式典参列
- ・「ひろしま子ども平和の集い」見学 ・広島市内グループ研修 ・とうろう流し参加

◇英語教科補助指導事業

小中学校へALT（外国語指導助手）を配置し、コミュニケーション能力の育成・国際理解教育の推進及び外国語活動・英語学習の充実を図る。

◇教職員研修の充実

子ども達の確かな学力保障と成長保障を図るため、積極的に教職員研修の機会を設け、資質向上に努める。

④地域と協働した開かれた学校づくり、安全の推進

◇学校評議員による保護者や地域住民等学校運営への参画の推進

◇通学路の危険箇所点検に基づく学校ごとの「地域安全指導マップ」作成、通学路の安全対策の推進、「安心の家」をはじめとする地域による児童生徒の登下校の見守り体制の拡充及びパトロール活動の推進

◇ふれあいたいむの推進

◇学校、地域が連携して子どもを育てるため、学校毎に子どもの健全育成をすすめる会を実施

（２）各分野に係る基本的な方針等

①中学生期の部活動に対する基本的な考え方

平成26年2月に示された「長野県中学生期のスポーツ活動指針」を受け、校長会主導のもと、市内4中学校長、部活動担当教諭、養護教諭、事務職員、PTA会長、外部指導者、体育協会役員で構成する岡谷市4中学校合同部活動運営会議（平成27年3月）において、中学生期の部活動に関する8つの基本的な考え方をまとめたもの。

【基本的な考え方】

- ・朝の練習は通年で行い、活動時間は30分とする。
- ・放課後の練習は、日没に合わせて下校時刻を変える。
- ・放課後部活動の延長の社会体育活動は行わない。
- ・部活動を行わない日を今までどおり設定する。
- ・土日の部活動は1日のみ4時間を基本とする。
- ・部活の顧問は社会体育へ参加しないことを原則とする。
- ・文化系の部活動も同様の扱いとする。
- ・今後も部活動のあり方については、検討を重ねていく。

②岡谷市通学路交通安全プログラム

通学路における甚大な交通事故の発生等を受け、平成24年度において、文部科学省、国土交通省、警察庁の連名による通知に基づき、全ての地方公共団体が通学路の緊急点検を実施し、安全対策を推進している。

岡谷市においても、県、警察等の関係機関を交えた対策会議を開催し、緊急合同点検の結果を元に平成25年度より3カ年で通学路の安全対策を推進している。

平成27年度が緊急合同点検に基づく計画の最終年となることから、これまでの取り組みを今後も

活かし、継続して安全対策を推進するため、平成26年度において、国のアウトラインに添って、交通安全対策に係る一連の取り組みを「岡谷市通学路交通安全プログラム」と位置付け、関係機関と連携しながら安全対策の推進を図る。

- ・通学路安全対策会議の設置
- ・危険箇所の抽出、合同点検の実施
- ・安全対策の検討
- ・安全対策の実施、検証
- ・PCDAによる改善、充実

③岡谷市いじめ防止等のための基本方針

「いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）」及び「長野県いじめ防止等のための基本的な方針」等に基づき、行政・学校・家庭・地域が連携を強化し、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処）のための対策を、総合的かつ効果的に推進することを目指し、平成27年5月に策定。

【基本的な考え方】

学校教育では、日常的な取組として次の3点を大切にされた学校づくりを基本とする。

- (1) 教師と子ども、あるいは子ども同士のよりよい人間関係づくり
- (2) 子どもが安心して過ごせるよりよい学級づくり
- (3) 学級を舞台に子どもが成長を実感できるよりよい授業づくり

いじめ問題については、どの子、どの学校にも起こりうるという認識のもと、

「未然防止」「早期発見」「早期対応」の3つを柱とし、これまで積み重ねてきた特色ある取組を継承、発展させるとともに、実効性のある対策を進める。

【重大事態への対処】

いじめ防止対策推進法に規定する重大事態が発生した場合には、学校、市教育委員会及び市長はそれぞれに必要な報告、調査、対応を行う。重大事態が発生した場合には、いじめられた児童生徒を徹底して守り通すとともに、その心情に寄り添い、適切かつ真摯に対応することが必要である。

調査結果を踏まえて再度、いじめ防止等に対する取組を見直し、必要な措置等の改善を図る。

(3) 市内小中学校等

①市立小中学校

学校名	所在地	電話番号	創立年月日	学校長氏名
川岸小学校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番2号	TEL 22-2663 FAX 22-2653	明7.1	笠井みゆき
神明小学校	〒394-0004 岡谷市神明町一丁目9番40号	TEL 22-2243 FAX 22-2159	明6.3	中澤正幸
岡谷小学校	〒394-0041 岡谷市山手町二丁目1番1号	TEL 22-2210 FAX 22-2769	明6.4.	宮坂 享
小井川小学校	〒394-0023 岡谷市東銀座一丁目1番4号	TEL 22-2234 FAX 22-2641	明6.4.	伊藤恵子
田中小学校	〒394-0031 岡谷市田中町三丁目5番17号	TEL 22-2425 FAX 22-2851	昭5.1.20	横内宏行
湊小学校	〒394-0044 岡谷市湊三丁目6番1号	TEL 22-2728 FAX 22-2529	明6.4.	酒井重明
長地小学校	〒394-0086 岡谷市長地源一丁目1番3号	TEL 27-8792 FAX 27-8598	明5.11	横林智子
上の原小学校	〒394-0089 岡谷市長地出早二丁目6番1号	TEL 28-1187 FAX 28-1742	昭48.4.1	小口昭一
岡谷西部中学校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番1号	TEL 22-3461 FAX 22-3409	昭22.4.1	永池 隆
岡谷北部中学校	〒394-0002 岡谷市赤羽二丁目1番24号	TEL 22-3203 FAX 22-3197	昭22.4.1	福澤行雄
岡谷南部中学校	〒394-0044 岡谷市湊二丁目1番8号	TEL 22-3243 FAX 22-3241	昭22.4.1	両角徹生
岡谷東部中学校	〒394-0083 岡谷市長地柴宮一丁目9番13号	TEL 27-8644 FAX 27-8595	昭22.4.8	林 秀昭

②学校教職員数

(平成27年5月1日現在)

区分	県費											市費								合計			
	校長	教頭	教諭		養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	栄養職員	小計	事務職員	栄養職員	ALT	給食調理員	図書館指導員	業務員	特別支援教育支援員	心の教室相談員		中間教室適応指導員	小計	
			男	女																			
小学校	川岸小	1	1	4	13	1		5	1		26	1	1		5	1	1	3			12	38	
	(兼務者)			(1)				(1)			(2)											(2)	
	神明小	1	1	9	8	1			3	1		24	1	1	1	4	1	1	4			13	37
	岡谷小	1	1	5	9	1			1	1		19		1		4	1	1	1			8	27
	小井川小	1	1	6	11	1	1	1	1	1	1	25	1		1	5	1	1	3			12	37
	(兼務者)				(1)				(2)			(3)											(3)
	田中小	1	1	6	9	1			4	1		23		1		3	1	1	2			8	31
	(兼務者)								(1)			(1)											(1)
	湊小	1	1	3	4	1	1		2	2		15		1		3	1	1	1			7	22
	長地小	1	1	13	15	1		1	5	1		38	1			7	1	1	3			13	51
	(兼務者)								(2)			(2)											(2)
	上の原小	1	1	7	7	1	1		2	1		21		1		5	1	1	2			10	31
小計	8	8	53	76	7	4	2	23	9	1	191	4	6	2	36	8	8	19	0	0	83	274	
中学校	岡谷西部中	1	1	10	5	1		1	6	1	1	27			4	1	1	2	①	1	9	36	
	(兼務者)								(1)		(1)											(1)	
	岡谷北部中	1	1	13	7	1	1		3	1		28	1	1	1	5	1	1	2	①	1	13	41
	岡谷南部中	1	1	5	5	1	1		5	1		20		1		3	1	1	1	①	1	8	28
	岡谷東部中	1	1	18	10	1			6	1	1	39	1		1	7	1	1	3	①	1	15	54
小計	4	4	46	27	4	2	1	20	4	2	114	2	2	2	19	4	4	8	④	4	45	159	
合計	12	12	99	103	11	6	3	43	13	3	305	6	8	4	55	12	12	27	④	4	128	433	

※()は兼務者で上段の本務者には含まれない

※丸数字は委嘱者で外数

③児童・生徒数及び学級数

・小学校

(平成27年5月1日現在)

		川岸	神明	岡谷	小井川	田中	湊	長地	上の原	計	1学級当たり児童数
1年	学級数	2	2	2	2	2	1	4	2	17	25.4
	男	33	22	26	27	13	9	60	23	213	
	女	28	27	19	37	27	11	46	23	218	
	計	61	49	45	64	40	20	106	46	431	
2年	学級数	2	2	2	2	2	1	4	2	17	25.2
	男	32	23	24	27	21	11	79	21	238	
	女	25	32	16	24	19	11	48	15	190	
	計	57	55	40	51	40	22	127	36	428	
3年	学級数	3	3	2	2	2	1	4	2	19	24.6
	男	36	33	23	26	18	12	51	23	222	
	女	37	39	20	32	25	4	71	17	245	
	計	73	72	43	58	43	16	122	40	467	
4年	学級数	2	2	2	2	2	1	3	2	16	26.4
	男	33	24	24	25	23	7	39	24	199	
	女	31	24	20	40	22	10	55	21	223	
	計	64	48	44	65	45	17	94	45	422	
5年	学級数	2	2	2	2	1	1	4	2	16	27.4
	男	23	31	24	36	21	14	63	22	234	
	女	42	26	23	23	14	11	46	20	205	
	計	65	57	47	59	35	25	109	42	439	
6年	学級数	2	2	2	2	1	1	3	2	15	26.5
	男	29	31	24	18	17	11	47	17	194	
	女	29	22	24	24	17	9	54	25	204	
	計	58	53	48	42	34	20	101	42	398	
特別支援	学級数	2	3	1	3	2	1	4	2	18	4.8
	男	11	8	2	13	8	3	21	3	69	
	女	3	4	0	3	1	0	4	2	17	
	計	14	12	2	16	9	3	25	5	86	
合計	学級数	15	16	13	15	12	7	26	14	118	22.6
	男	197	172	147	172	121	67	360	133	1,369	
	女	195	174	122	183	125	56	324	123	1,302	
	計	392	346	269	355	246	123	684	256	2,671	

・中学校

		西部	北部	南部	東部	計	1学級当たり生徒数
1年	学級数	3	4	3	5	15	31.8
	男	48	68	29	89	234	
	女	40	71	45	87	243	
	計	88	139	74	176	477	
2年	学級数	3	4	2	6	15	30.5
	男	53	63	26	94	236	
	女	35	63	30	94	222	
	計	88	126	56	188	458	
3年	学級数	3	4	2	6	15	32.8
	男	57	65	38	92	252	
	女	48	70	32	90	240	
	計	105	135	70	182	492	
特別支援	学級数	2	2	2	3	9	4.1
	男	7	7	5	10	29	
	女	2	2	0	4	8	
	計	9	9	5	14	37	
合計	学級数	11	14	9	20	54	27.1
	男	165	203	98	285	751	
	女	125	206	107	275	713	
	計	290	409	205	560	1,464	

・小中学校合計

男	2,120	女	2,015	計	4,135
---	-------	---	-------	---	-------

④保育園・幼稚園

・保育園

<保育園一覧表>

保 育 園 名	所 在 地	定 員	電 話 番 号
小 口 保 育 園	岡谷市銀座一丁目4-18	110人	22-2489
今 井 保 育 園	岡谷市長地6189番地1	90	22-2935
あ や め 保 育 園	岡谷市湖畔一丁目10-3	120	22-2680
川 岸 保 育 園	岡谷市川岸中二丁目7-14	90	22-3829
夏 明 保 育 園	岡谷市川岸西一丁目18-16	60	22-3861
成 田 保 育 園	岡谷市成田町二丁目10-6	90	22-2464
み な と 保 育 園	岡谷市湊三丁目6-50	90	22-3566
長 地 保 育 園	岡谷市長地鎮一丁目7-29	150	27-4194
若 草 保 育 園	岡谷市加茂町三丁目8-28	90	22-4038
西 堀 保 育 園	岡谷市堀ノ内一丁目6-4	120	22-7670
東 堀 保 育 園	岡谷市長地御所二丁目3-1	150	27-9366
神 明 保 育 園	岡谷市神明町四丁目4-11	120	22-4555
横 川 保 育 園	岡谷市長地出早三丁目4-16	90	28-1180
つ る み ね 保 育 園	岡谷市川岸上三丁目14-13	90	22-2911
聖ヨゼフ保育園岡谷（私立）	岡谷市山下町一丁目1-37	90	24-1477
ひまわり保育園（私立）	岡谷市長地権現町二丁目8-30	60	27-2816
計		1,610	

<保育園職員数>

(平成27年4月1日現在)

区 分 保育園名	園長	保育士	臨時 保育士	長時間保育 補助員	栄養士	臨時 調理員	臨時 相談員	合計
小口	1	5	9	4		4		23
今井	1	3	5	2		3		14
あやめ	1	7	15	5	1	5	1	35
川岸	1	4	6	3	1	4	1	20
夏明	1	2	1			2		6
成田	1	5	7	3	1	4		21
みなと	1	5	4	4	1	4	1	20
長地	1	8	14	6	1	4		34
若草	1	3	2	1		2		9
西堀	1	5	8	4		4		22
東堀	1	4	5	1		4		15
神明	1	5	10	4	2	5		27
横川	1	4	7	3	1	4		20
つるみね	1	3	3	1		2		10
育休、子ども 課付、総務課 付		10			1			11
合計	14	73	96	41	9	51	3	287

<保育園入所児童数>

(平成27年4月1日現在)

保育園名	定員	当月初日 入所人員	当月初日入所人員の年齢別内訳					
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
小口	110	58 (1)		4	5	14	17	18 (1)
今井	90	54 (2)		3 (1)	6	12	15	18 (1)
あやめ	120	113 (1)		4	10	25	40	34 (1)
川岸	90	79 (1)		4 (1)	9	14	26	26
夏明	60	13				4	5	4
成田	90	75 (1)	2	5	13	16	18 (1)	21
みなと	90	71 (2)	1	8 (1)	4	18 (1)	18	22
長地	150	123 (1)		6	13 (1)	32	36	36
若草	90	25				7	5	13
西堀	120	80		6	11	28	19	16
東堀	150	69				23	18	28
神明	120	130	1	6	11	28	29	55
横川	90	77		5	4	23	17	28
つるみね	90	32				11	12	9
公立合計 (立正)	1,460	999 (9)	4	51 (3)	86 (1)	255 (1)	275 (1)	328 (3)
聖ヨゼフ	90	92 (3)	1	17 (1)	13 (1)	19	21	21 (1)
ひまわり	60	66	1	10	10	16	15	14
私立合計	150	158 (3)	2	27 (1)	23 (1)	35	36	35 (1)
総計	1,610	1,157 (12)	6	78 (4)	109 (2)	290 (1)	311 (1)	363 (4)

※ () 内は、うち市外からの広域入所児童

・幼稚園

<私立幼稚園>

(平成27年5月1日現在)

園名	設置別	学級数	園児数			定員	教職員数	園長名	所在地 (電話番号)
			男	女	計				
ヤコブ幼稚園	私立	4	52	45	97	150	12	水野礼子	岡谷市字上ノ原262番地2 (22-2618) (山崎学園24-0134)
聖母幼稚園	私立	4	42	61	103	150	9	水野礼子	岡谷市大栄町二丁目3番26号 (22-5090) (山崎学園24-0134)
瑞穂幼稚園	私立	1	5	7	12	105	2	堀 順一	岡谷市中央町一丁目8番13号 (22-3806)
岡谷たちばな幼稚園	私立	3	6	4	10	105	5	貝 渕 良子	岡谷市長地小萩二丁目10番5号 (27-6585)

⑤ 30人規模学級（35人学級）導入経過

年度	学年	実施校	備考
14	小1	川岸小 神明小	全額県費負担
15	小1～小3	川岸小 神明小 長地小	
16	小1～小3	川岸小 神明小 小井川小 長地小	
16	小4	長地小	県費・市費負担により実施
17	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
17	小5	長地小	県費・市費負担により実施
18	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
18	小5～小6	川岸小 神明小 長地小	県費・市費負担により実施
19	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
19	小5～小6	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	県費・市費負担により実施
20	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
20	小5～小6	神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	県費・市費負担により実施
21	小1～小6	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
22	小1～小6	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
23	小1～中1	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小 岡谷南部中	全額県費負担
24	小1～中2	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
25	小1～中3	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
26	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷小 田中小 長地小 上の原小 岡谷東部中	全額県費負担
27	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷小 田中小 長地小 上の原小 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担

⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み（平成27年5月1日現在）

- * 児童生徒数及び学級数に特別支援は含まない。
- * 中学校については、現行の通学区域のまま推計

川岸小学校（特別支援学級：2学級（知障1、情障1））

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	61	2	50	2	64	2	41	2	53	2	53	2	51	2
2学年	57	2	61	2	50	2	64	2	41	2	53	2	53	2
3学年	73	3	57	2	61	2	50	2	64	2	41	2	53	2
4学年	64	2	73	3	57	2	61	2	50	2	64	2	41	2
5学年	65	2	64	2	73	3	57	2	61	2	50	2	64	2
6学年	58	2	65	2	64	2	73	3	57	2	61	2	50	2
計	378	13	370	13	369	13	346	13	326	12	322	12	312	12

神明小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	49	2	88	3	63	2	67	2	64	2	51	2	67	2
2学年	55	2	68	2	88	3	63	2	67	2	64	2	51	2
3学年	72	3	63	2	68	2	88	3	63	2	67	2	64	2
4学年	48	2	82	3	63	2	68	2	88	3	63	2	67	2
5学年	57	2	60	2	82	3	63	2	68	2	88	3	63	2
6学年	53	2	70	2	60	2	82	3	63	2	68	2	88	3
計	334	13	431	14	424	14	431	14	413	13	401	13	400	13

岡谷小学校（特別支援学級：1学級（情障））

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	45	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2学年	40	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3学年	43	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4学年	44	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5学年	47	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6学年	48	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	267	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

小井川小学校(特別支援学級:3学級(知障1、情障2))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	64	2	49	2	42	2	52	2	61	2	59	2	41	2
2学年	51	2	64	2	49	2	42	2	52	2	61	2	59	2
3学年	58	2	51	2	64	2	49	2	42	2	52	2	61	2
4学年	65	2	58	2	51	2	64	2	49	2	42	2	52	2
5学年	59	2	65	2	58	2	51	2	64	2	49	2	42	2
6学年	42	2	59	2	65	2	58	2	51	2	64	2	49	2
計	339	12	346	12	329	12	316	12	319	12	327	12	304	12

田中小学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	40	2	63	2	71	3	53	2	69	2	57	2	52	2
2学年	40	2	66	2	63	2	71	3	53	2	69	2	57	2
3学年	43	2	72	3	66	2	63	2	71	3	53	2	69	2
4学年	45	2	76	3	72	3	66	2	63	2	71	3	53	2
5学年	35	1	77	3	76	3	72	3	66	2	63	2	71	3
6学年	34	1	69	2	77	3	76	3	72	3	66	2	63	2
計	237	10	423	15	425	16	401	15	394	14	379	13	365	13

湊小学校(特別支援学級:1学級(情障))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	20	1	23	1	22	1	17	1	10	1	24	1	19	1
2学年	22	1	20	1	23	1	22	1	17	1	10	1	24	1
3学年	16	1	22	1	20	1	23	1	22	1	17	1	10	1
4学年	17	1	16	1	22	1	20	1	23	1	22	1	17	1
5学年	25	1	17	1	16	1	22	1	20	1	23	1	22	1
6学年	20	1	25	1	17	1	16	1	22	1	20	1	23	1
計	120	6	123	6	120	6	120	6	114	6	116	6	115	6

長地小学校(特別支援学級:4学級(知障1、情障3))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	106	4	107	4	91	3	96	3	94	3	98	3	99	3
2学年	127	4	106	4	107	4	91	3	96	3	94	3	98	3
3学年	122	4	127	4	106	4	107	4	91	3	96	3	94	3
4学年	94	3	122	4	127	4	106	4	107	4	91	3	96	3
5学年	109	4	94	3	122	4	127	4	106	4	107	4	91	3
6学年	101	3	109	4	94	3	122	4	127	4	106	4	107	4
計	659	22	665	23	647	22	649	22	621	21	592	20	585	19

上の原小学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	46	2	49	2	28	1	38	2	31	1	26	1	19	1
2学年	36	2	46	2	49	2	28	1	38	2	31	1	26	1
3学年	40	2	36	2	46	2	49	2	28	1	38	2	31	1
4学年	45	2	40	2	36	2	46	2	49	2	28	1	38	2
5学年	42	2	45	2	40	2	36	2	46	2	49	2	28	1
6学年	42	2	42	2	45	2	40	2	36	2	46	2	49	2
計	251	12	258	12	244	11	237	11	228	10	218	9	191	8

8小学校合計(特別支援を含む)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	児童数 (人)	学級数												
川岸小	392	15	370	15	369	15	346	15	326	14	322	14	312	14
神明小	346	16	431	17	424	17	431	17	413	16	401	16	400	16
岡谷小	269	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小井川小	355	15	346	15	329	15	316	15	319	15	327	15	304	15
田中小	246	12	423	17	425	18	401	17	394	16	379	15	365	15
湊小	123	7	123	7	120	7	120	7	114	7	116	7	115	7
長地小	684	26	665	27	647	26	649	26	621	25	592	24	585	23
上の原小	256	14	258	14	244	13	237	13	228	12	218	11	191	10
計	2,671	118	2,616	112	2,558	111	2,500	110	2,415	105	2,355	102	2,272	100

岡谷西部中学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	88	3	91	3	87	3	95	3	102	3	87	3	85	3
2学年	88	3	88	3	91	3	87	3	95	3	102	3	87	3
3学年	105	3	88	3	88	3	91	3	87	3	95	3	102	3
計	281	9	267	9	266	9	273	9	284	9	284	9	274	9

岡谷北部中学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	139	4	102	3	113	4	125	4	135	4	112	4	118	4
2学年	126	4	139	4	102	3	113	4	125	4	135	4	112	4
3学年	135	4	126	4	139	4	102	3	113	4	125	4	135	4
計	400	12	367	11	354	11	340	11	373	12	372	12	365	12

岡谷南部中学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	74	3	67	2	76	3	75	3	69	2	73	3	68	2
2学年	56	2	74	3	67	2	76	3	75	3	69	2	73	3
3学年	70	2	56	2	74	3	67	2	76	3	75	3	69	2
計	200	7	197	7	217	8	218	8	220	8	217	8	210	7

岡谷東部中学校(特別支援学級:3学級(知障1、情障2))

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	176	5	161	5	180	6	154	5	183	6	184	6	181	6
2学年	188	6	176	5	161	5	180	6	154	5	183	6	184	6
3学年	182	6	188	6	176	5	161	5	180	6	154	5	183	6
計	546	17	525	16	517	16	495	16	517	17	521	17	548	18

4中学校合計(特別支援を含む)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
	生徒数 (人)	学級数												
岡谷西部中	290	11	267	11	266	11	273	11	284	11	284	11	274	11
岡谷北部中	409	14	367	13	354	13	340	13	373	14	372	14	365	14
岡谷南部中	205	9	197	9	217	10	218	10	220	10	217	10	210	9
岡谷東部中	560	20	525	19	517	19	495	19	517	20	521	20	548	21
計	1,464	54	1,356	52	1,354	53	1,326	53	1,394	55	1,394	55	1,397	55

⑦人口及び児童生徒数の年比較

(毎年5月1日現在)

年度	人口(A)	増減指数	小 学 校			中 学 校		
			児童数 (B)	人口対比 (B/A)	増減指数	生徒数 (C)	人口対比 (C/A)	増減指数
	人	%	人	%	%	人	%	%
40	56,005	100.0	4,612	8.23	100.0	2,679	4.78	100.0
56	61,889	110.5	6,519	10.53	141.3	2,856	4.61	106.6
57	61,609	110.0	6,435	10.44	139.5	3,019	4.90	112.7
58	61,326	109.5	6,356	10.36	137.8	3,072	5.01	114.7
59	61,113	109.1	6,171	10.09	133.8	3,075	5.03	114.8
60	61,197	109.3	5,968	9.75	129.4	3,164	5.17	118.1
61	61,501	109.8	5,658	9.20	122.7	3,182	5.17	118.8
62	61,188	109.3	5,248	8.58	113.8	3,192	5.22	119.1
63	60,834	108.6	4,938	8.12	107.1	3,065	5.04	114.4
元	60,282	107.6	4,637	7.69	100.5	2,967	4.92	110.8
2	60,359	107.8	4,351	7.21	94.3	2,768	4.59	103.3
3	59,599	106.4	4,141	6.95	89.8	2,696	4.52	100.6
4	59,456	106.2	3,996	6.72	86.6	2,476	4.16	92.4
5	58,944	105.2	3,841	6.52	83.3	2,344	3.98	87.5
6	58,705	104.8	3,738	6.37	81.0	2,088	3.56	77.9
7	58,367	104.2	3,561	6.10	77.2	2,006	3.44	74.9
8	57,725	103.1	3,458	5.99	75.0	1,878	3.25	70.1
9	57,220	102.2	3,303	5.77	71.6	1,884	3.29	70.3
10	57,070	101.9	3,172	5.56	68.8	1,812	3.18	67.6
11	56,960	101.7	3,144	5.52	68.2	1,808	3.17	67.5
12	56,837	101.5	3,087	5.43	66.9	1,701	2.99	63.5
13	56,290	100.5	3,082	5.48	66.8	1,635	2.90	61.0
14	55,932	99.9	3,084	5.51	66.9	1,557	2.78	58.1
15	55,613	99.3	3,049	5.48	66.1	1,529	2.75	57.1
16	55,424	99.0	3,096	5.59	67.1	1,508	2.72	56.3
17	54,986	98.2	3,097	5.63	67.2	1,516	2.76	56.6
18	54,380	97.1	3,105	5.71	67.3	1,486	2.73	55.5
19	53,877	96.2	3,112	5.78	67.5	1,507	2.80	56.3
20	53,616	95.7	3,093	5.77	67.1	1,495	2.79	55.8
21	53,271	95.1	3,120	5.86	67.6	1,521	2.86	56.8
22	52,772	94.2	2,992	5.67	64.9	1,528	2.90	57.0
23	52,556	93.8	2,898	5.51	62.8	1,555	2.96	58.0
24	52,041	92.9	2,856	5.49	61.9	1,524	2.93	56.9
25	51,376	91.7	2,833	5.51	61.4	1,505	2.93	56.2
26	50,845	90.8	2,760	5.43	59.8	1,441	2.83	53.8
27	50,341	89.9	2,671	5.31	57.9	1,464	2.91	54.6

⑧中学校卒業者の進路状況

(平成27年3月卒業者)

学 校 名	男 女 別	進学者(就職進学者を含む)							教育訓練機関入学者				就 職 者	左 記 以 外 者	卒 業 者 総 数	
		高等学校			高等 学校 別 科	高等 専門 学校	盲聾養護 学 校 部		専修学校		各 種 学 校	訓 練 施 設 等				公 共 職 業
		全 日 制	定 時 制	通 信 制			本 科	別 科	高 等 課 程	一 般 課 程						
岡 谷 西 部	男	44	1	1			1						1	2	50	
	女	47					1								48	
	計	91	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	98	
岡 谷 北 部	男	69	1	4		1								1	76	
	女	59	0	0			2								61	
	計	128	1	4	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	137	
岡 谷 南 部	男	33	1										1		35	
	女	32	1												33	
	計	65	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	68	
岡 谷 東 部	男	75		3			1								79	
	女	84	2	1			1								88	
	計	159	2	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	167	
計	男	221	3	8	0	1	2	0	0	0	0	0	2	3	240	
	女	222	3	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	230	
	計	443	6	9	0	1	6	0	0	0	0	0	2	3	470	

⑨小中学校通学区域

学 校 名		通 学 区 域
小 学 校	川 岸	川岸地区全部
	神 明	今井 1. 4～12 町内、今井 3 町内国道下、間下 1. 2. 3. 4. 6 町内、小井川 12. 13. 15. 16. 17 国道下、18. 22. 23. 24. 26. 27. 28 町内、間下塩嶺、今井神明台、今井塩嶺
	岡 谷	間下 5. 7～15 町内 岡谷全部、新屋敷全部、樋沢
	小 井 川	小井川 1～11. 14. 19. 20. 21. 25. 29 町内 小口全部、西堀全部
	田 中	下浜全部、小尾口全部、上浜全部
	湊	湊地区全部
	長 地	中屋全部、中村 1～6. 8. 9 町内、東堀全部
	上 の 原	横川全部、中村 7 町内、今井 2. 13. 14. 15 町内、今井 3 町内国道上 小井川 17 町内国道上
中 学 校	西 部	川岸地区全部、岡谷全部
	北 部	今井全部、間下全部、小口全部、小井川 3. 4. 10. ～29 町内、樋沢
	南 部	湊地区全部、下浜全部、小尾口全部、上浜全部、新屋敷全部
	東 部	長地地区全部、西堀全部、小井川 1. 2. 5～9 町内

⑩学校教育目標と特色ある学校づくり

	学校教育目標	特色ある学校づくり
川岸小学校	<p>『たくましい子ども』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ からだをじょうぶにする子 ○ わたしもあなたも大切にする子 ○ きづき考え、しっかり学ぶ子 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校を花でいっぱいにする運動 <ul style="list-style-type: none"> ・花づくり委員会の活動目標「学校を花でいっぱいにしよう」を目指し、校舎内外を花で飾り、生き物を大切に作る心育てるとともに、よりよい学校環境をつくる。(4月～3月) ・地域ボランティアの方の指導のもと、児童主体で本格的な三本仕立の菊づくりに取り組む。(6月～11月) ②げんきワクワクタイム <ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上、巧みに体を動かすことができる体づくりをめざし、全校や学年・学級ごとに週1回15分間の運動時間をつくり運動に親しむ。 ③自然体験・野外活動・ふるさと学習 <ul style="list-style-type: none"> ・5学年のキャンプや低学年の地域めぐり等、岡谷の歴史・文化に学ぶ。 ④ともそだちボランティアの方からの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・米づくり、菊づくり、クラブ活動、天体観察、中庭の池の整備、書写学習等で、地域の方と共に学ぶ。
神明小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○「やさしい子」 ○「かんがえる子」 ○「たくましい子」 <p>【願う子ども像】</p> <p>1 みんなとできる子 『かかわり合える力』</p> <p>【相手意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①友だちの思いがわかり 自分から行動できる子 ②明るく気持ちのよい挨拶ができる子 ③友だちと、仲良く元気に遊ぶ子 <p>2 自分の課題に向かって本気で取り組む子 『自ら学ぶ力』</p> <p>【本物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①本気で納得するまで学習する子 ②聞き合い、伝え合える子 ③ふるさと岡谷のよさを知り愛する子 <p>3 ねばり強く、心と体を鍛える子 『あきらめない心』</p> <p>【挑 戦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①目標に向かって、最後までがんばりぬこうとする子 ②気を働かせて、一生懸命清掃する子 ③健康や安全に気をつける子 	<ul style="list-style-type: none"> ①つながりを広げ深める岡谷小と神明小の統合 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい学校づくりを子どもが進める交流活動(行事の交流、児童会活動の交流) ・学校の歴史の節目をつくり、新たな歩み始める記念事業(統合記念事業、50周年記念事業) ②基礎となる質の高い「つむぎの時間(生活・総合的な学習の時間)」の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ「対象の本質をともに味わう子どもと教師」 …視点「対象の本質を探る教材研究」「丸ごとに向き合う子ども理解」 ・上智大学 奈須正裕先生を中心講師とした研修の充実、公開研究会の開催 ③安心・安全な学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・チーム支援、チームでの対応 ④確かな学力を身につけるための「考え・わかる」学びを創る授業 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学習問題を解決していく日常の問題解決的な学習 ・家庭と連携した家庭学習 ・「科学が好きになる子どもを育てる」ソニー子ども科学教育プログラムへの参加 ・自分を豊かにする読書活動の充実 ⑤ふるさと岡谷を心から愛することができるふるさと教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・本物に学ぶつむぎの時間の充実 ・製糸業の教材化(社会科・つむぎの時間) ・地域の産業から働くことのすばらしさを学ぶキャリア教育の推進 ⑥インクルーシブ教育システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に応じた支援体制の構築 ・ビジョントレーニング、ソーシャルスキルトレーニングの取組 ・ユニバーサルデザインの充実 ⑦思いやりと活気に満ちた学校生活の創造 <ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心とした自主的・自立的な活動の充実 ・子どもにしみ入る道徳の時間と人権教育の積み重ね ・挨拶を交わし、あったか言葉があふれる学舎 ・歌声と思いがハーモニーを奏でる音楽集会 ・元気に遊び、体を鍛えるランランカード ・「静の時間」に自己を見つめ、気働きできる清掃 ・子どもを丸ごと受け止める生徒指導

<p>岡谷小学校</p>	<p>『笑顔と感動あふれる岡谷小』 お ○思いやりのある子 (やさしく) <徳> か ○考える子 (よくかんがえ、よくまなぶ) <知> や ○やりぬく子 (こころもからだもつよく) <体></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>みんなの中で一人で生きる力 (自立と共生)</p>	<p>①つながりを広げ深める岡谷小と田中小及び神明小のそれぞれとの統合 ・新しい学校づくりを子どもが進める交流活動 (行事の交流、児童会活動の交流、PTA・地域の交流)</p> <p>②あかしあ窯による作陶 ・穴窯に昼夜2日間薪をくべ続けて制作する焼き物づくりに、児童・職員・保護者が協力して取り組む。</p> <p>③「子どもと共に創る授業」をめざした学習指導研究 ・教師の同僚性により、日常の学習指導改善が図られるような研究や研修を行い、日々の授業改善に努める。</p> <p>④基礎基本の確かな定着を図る「えんぴつタイム」 ・「本読み計算」と「話す聞くスキル」を行い、学習指導の改善に生かす。</p> <p>⑤複数の眼や関わりを通して子どもを育む取組 ・教科担任制・学年合同授業・習熟度別学級編成(4～6年算数)を活用する。</p> <p>⑥学ぶ楽しさを味わい、生涯にわたって学ぶ姿勢を育む家庭学習 ・学習する内容や方法を自ら考えて行う「ワンプレートホームワーク」を年間通して行う。</p> <p>⑦「あかしあの丘」に通う子どもらしい体力を育む ・年間を通して、高低差のある校地に設置されたマラソンコースを走り込む。10月にはマラソン大会で一人一人の記録をとる。</p>
<p>小井川小学校</p>	<p>『自ら求めて動く子ども』 ○進んで学ぶ子ども ○おもいやりの心を持った子ども ○粘り強くやり抜く子ども ○健康でたくましい子ども</p> <p>《重点目標》 ひびき合う学校</p> <p>(1) ①おもいやりあふれ あたたかな言葉で伝えよう 感謝の気持ちを伝えよう</p> <p>(2) ②いい声・いい汗 あいさつ 歌声いっぱい 体と心を働かせよう</p> <p>(3) ③かがやき 進んで行動しよう 自分のよさを働かせよう</p> <p>(4) ④わかるがひびき合う 考えを持って取り組もう 友だちと学び合おう</p> <p>(5) ⑤地域とひびき合う 信州型コミュニティスクール発足をめざす</p>	<p>①おもいやりがひびき合う学校 「あたたか言葉」「感謝の気持ち」を伝える。 ・学級活動、道徳の充実 ・校長先生への手紙 異年齢集団での活動を充実させる。 ・「ふれあいグループ」「ふれあいペア活動」</p> <p>②いい声・いい汗がひびき合う学校 児童会を中心にした「挨拶運動」 カノラに響く音楽会 年間通した一運動の取り組み 心を磨く無言清掃</p> <p>③かがやき広がる毎日の生活 「すすんで行動」「自分のよさを広げる」 ・各種大会、コンクール、作品応募への参加 ・本に親しみ、心を育む図書館教育の充実・短歌作り</p> <p>④わかるがひびき合う学習 「自分の考えをもつ」「友だちと学び合う」 ・ノートの充実、グループ活動の充実 ・家庭学習(自主学習)への取り組みとその指導</p> <p>⑤地域とひびき合う学校 地域とのつながりを大切にする。 ・えがおまもり隊との交流、福祉運動会へ協力、読み聞かせ、地域清掃の実施、ラムラム広場参加、いきいきデイ参加、地域に支えられるクラブ活動、おいかわっこなど</p>

<p>田中小学校</p>	<p>○た くましい子ども ○な かよしの子ども ○か かんがえる子ども ＜指導の重点＞ (1)学力・体力の向上 実物・本物・体験から学ぶ場を設定する。また、言語活動の充実を図る。環境作りや目標設定を行い、運動の日常化を推進する。 (2)仲間づくり 学級活動「あやめタイム」の充実や、SSTを活用した学級集団づくりを通して、「外で群れて遊ぶ子どもたち」の育成を目指す。 (3)心の育ち 交流活動や体験学習、特別支援教育の実践を積み重ね、「自他を肯定する子どもたち」の育成を目指す。</p>	<p>① つながりを広げ深める田中小と岡谷小の統合 ・新しい学校づくりを子どもが進める交流活動（行事の交流、児童会活動の交流、PTA・地域の交流） ② JRC活動 ・JRCの精神「健康安全・奉仕・国際理解・親善」を教育活動全般の骨格に据え、JRCの態度目標「気づき、考え、実行する子ども」を本校で目指す子どもの姿として諸教育活動の内容や運営に反映するよう工夫していく。 ③ 学校のシンボルあやめに心を寄せた活動 ・校章の「あやめ」に象徴されるように「潤いのある学校づくり」「落ち着いた学校づくり」を目指し、教育活動に「あやめ」の名称を取り入れたものを位置づけることによって児童が豊かなイメージを持った活動になるように運営していく。</p>
<p>湊小学校</p>	<p>『やさしい子 かしい子 たくましい子』 ↓ ＜めざす子どもの姿＞ 「わかり合い、深め合い、鍛え合う 湊の子」 合言葉：対話で生み出す学び合い ○誰にでも進んで挨拶し、思いやりをもって人とかわかれる子ども ○よく聴き、考え、判断し、それを表現できる子ども ○困難を乗り越え、心身ともに健康な粘り強い子ども</p>	<p>①ふるさと学習 ・山や湖の自然に学ぶ「湖の子集会」「全校遠足」等を行い、ふるさとを愛し、誇りに思う心を育てる学習の充実を図る。 ②全校縦割り班活動 ・小規模校の特色を生かして、全学年縦割り班の編成をし、学校生活の様々な場面での活動を行い、仲間作りや活動の充実を図る。 ③リコーダー学習 ・40年以上継続している「リコーダー学習」の伝統を受け継ぎ、演奏活動に取り組んでいく。 ④おはよう日・あそぼう日活動の推進 ・登下校を地域の方々に見守っていただく「おはよう日」、外遊びを通して地域の中で成長する子どもを目指す「あそぼう日」の活動を通し、健全な子どもの育成を図るとともに、地域の絆を深めていく。 ⑤信州型コミュニティースクール ＜合い言葉＞は「考えよう！伝え合おう！湊の今」</p>
<p>長地小学校</p>	<p>『自己を見つめ よく考え 自分の力で 生きていく子ども』 ○よく考え やりぬく子ども ○仲よく みんなのためにつくす子ども ○いつも明るく じょうぶな子ども ○美しいものに感動し、あこがれを持つ子ども ＜重点目標＞ 「学力向上とコミュニケーション力の育成」 ～合い言葉～ けんこうで あいさつ・おしごと・おべんきょう</p>	<p>①伝えよう長地の版画（版画カレンダーの制作） ・長地小学校の伝統ある版画作品等の制作を行い、それを家族や地域の方々に見て頂くことを通して、長地小学校の一員である喜びを感じ、意欲的に活躍する児童の育成を目的とする。 ②歌声づくり ・学級での日常的な音楽活動等を通して、友達や他の学級・学年の友達とかかわりながら、のびのびと自己表現できる力を育成する。 ③手作り単元学習 ・地域のよさや今日的な課題に目を向け、体験を中心に据えた学習を通して、コミュニケーション力や生きる力を育成する。 ④楽しくスポーツ体力づくり ・楽しくスポーツする体験を多くし、運動の基本となる能力の向上を目指す。また、運動集会以て集団行動訓練、ラジオ体操、校歌ダンス等を行い、体力づくりに全校で取り組むようにする。 ⑤歯や口の健康づくり ・食育の日（毎月19日）と歯の日（毎月8日）を推進し、栄養教諭と養護教諭が協力して、歯と口の健康づくりを進める。また高学年の児童が低学年の児童の歯磨きを指導するなど、全校体制で健康づくりを進める。</p>

<p>上の原小学校</p>	<p>『誠なる子 明なる子 健なる子』 ～郷土を愛し、心豊かでたくましい子ども～ ○誠なる子…自分にも他人にも誠実な子 己を欺かない子 ○明なる子…明晰・明察な子 勤勉な子 明朗な子 ○健なる子…健やかな心、健康な身体を持ち、 実践力のある子 <具体目標> 「みんななかよし しっかり勉強 心も体もすこやかに」</p>	<p>①心のこもったあいさつ・みんななかよし ・「みんななかよし」を合言葉に、共に生活できる喜びや、友との温かな絆を感じ合える体験を重ねる。 ・自分たちの力でできる学校づくりをめざし、児童会活動を中心に「あいさつ運動」に取り組み、地域ぐるみで取り組めるよう発信していく。</p> <p>②環境教育 ・緑のカーテンを通して、涼しさや美しさを実体験し、そのことが自分たちの生活のどんなことに役立っているのかを、学年の発達段階に応じて学習する。 ・横河川やビオトープでの探索や児童会を中心にエコ活動に全校で取り組み、豊かな自然を守る心を育てる。</p> <p>③地域を知り地域への愛着を高める活動 ・地域の方々と自然を活かした体験活動をすすめ、「学校をふるさとに」「ふるさとを学校に」を目標に、五感を使った様々な体験的活動を通して、地域を知り、地域への愛着を深める。</p>
<p>岡谷西部中学校</p>	<p>『自立を育み 共に生きる』 一個性 共生 ひたむき 自治 地域一 <本年度の重点> 1 学力の向上 ・自ら考え、互いに学ぶ生徒づくり (授業改善・個別支援体制・家庭学習) 2 人権意識の向上 ・人権意識にもとづく「ともに生きる」 集団づくり (いじめのない集団・養護学校との交流) 3 自主性の向上 ・学友会の主体的活動、誇りある活動 (日常活動・奉仕活動・反射タスキ)</p>	<p>①「共に作りだす 潤いある環境づくり」 ・自然環境へ目を向けていく啓発として、緑化・整備を通して学校環境づくりを実践し、心豊かな生徒の育成を図る。</p> <p>②地域と共に歩む学校づくり ・総合的な学習の題材に『地域』を取り上げ、「地域について学ぶ」TAKOYAMA TIMEを実践する。各自の追究に加え、地域の講師をお招きして体験的な学習を行う。 ・学校と地域連携を図るために、学校の現状や生徒の活動の様子等を地域に学校日より「ゆくよ天竜」を通して公開し、更には「学校評議員会」による学校評価を学校運営に反映させ、「地域と共に歩む学校づくり」を目指す。</p>
<p>岡谷北部中学校</p>	<p>『自主』 ○向 上 心…自ら向上する目標をもち、 実現に努力する生徒 ○自己決定…自ら決定し、進んで実現しようとする生徒</p> <p>『和敬』 ○感 謝…生かされていることに感謝し、 礼儀と節度を重んじる生徒 ○思いやり…仲間の個性、立場を大切に し、心を合わせて取り組む生徒</p> <p><重点目標> ・重点1「キャリア教育の充実」 ー社会的・職業的に自立した人間の育成ー ・重点2「分かる授業づくり」 ー教師一人一人の授業力向上ー</p>	<p>① 大切にしていける北中三本柱 「気持ちのよい挨拶」 校内にとどまらず、地域へも爽やかな挨拶をしていこう。 「心を込めて磨き上げる清掃」 無言清掃を通して、自己を高めよう。自ら気づき、体を動かし行動していこう。 「大きく響きのある歌声」 互いの心を合わせて作り出すハーモニー。自分たちの姿を歌声にのせて発信しよう。</p> <p>② 地域とのつながり ・「健康で爽やかな北中生を考える地域の会」で生徒が地域の方と直接対話。地域の方からは生徒会活動に提案や助言をいただきます。 ・お便りを通して生徒の様子を発信。 ・地域の方々を講師に迎えた『地域ふれあい講座』。「フラワーアレンジメント」「わら細工」「そば打ち」「お菓子作り」「太鼓」「箏」など様々な講座で地域の方から技を学びます。 ・カノラホールでの音楽会。感動を求めてお見えになる多くの地域の方へも、精一杯の歌声を届けます。 ・地域奉仕活動で地域の方から「ありがとう」。神社や公園、公民館や集会所、図書館や保育園を全校生徒で分担し、心を込めて清掃します。</p> <p>③ 潤いのある学校環境づくりに努めます ・校舎周辺の花壇づくり ・緑のカーテンづくり ・校内廊下ギャラリー (生徒美術作品を展示)</p>

<p>岡谷南部中学校</p>	<p>『ひとりひとりが誠実を貫く』 <重点目標> ○場を浄め：最後までやり抜く心・工夫する心 ○時を守り：自分も友も全ての人を大事にする心 ○礼を正す：心に潤いと豊かさのある生徒 重点的な取り組み ①生徒が「よし、いっちょやるぞ！」と動き出す授業作りー確かな学力保障と成長保障ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何をすべきか」が明確な授業 ・振り返りの場のある授業 ・授業のエンバールデザイン化 ・学習に自信を持つ南部中生 <p>②多くの人と協働的に人生を歩み出そうとする心の基礎作りー自立と共生力のUPー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横に寄り添い、指導支援を繰り返す南部中 ・自己肯定感を育む南部中 <p>③地域に出る南部中生&地域力を取り込む南部中ーふるさと「岡谷」を学ぶ南部中ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間（各学年に応じた取り組み） ・地域のことに積極的に参加したいと願う南中生 ・地域の力をお借りする南部中 	<p>①清掃活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校目標「ひとりひとりが誠実を貫く」を目指す教育の柱の一つとして、清掃教育に力を入れる。 <p>②環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にも大切にされている四季のゾーンを、生徒会や親子共同作業により充実する。 ・情操教育の一環として花壇整備に取り組む。 <p>③地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人や文化に学ぶ総合的な学習 ・地区生徒会を中心にして地域の防災訓練、諏訪湖清掃（アダプトプログラム）等の地域の活動への参加。「南中生を支える地域の会」、「南中生をともに育てる会」「近隣者の会」等との連携
<p>岡谷東部中学校</p>	<p>『未来を拓き、共に自立する生徒』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未来を拓く生徒 ○共に育つ生徒 ○自立する生徒 	<p>温かい人間関係でつながる学校</p> <p>①挨拶が響く学校</p> <p>⇒一人ひとりを大切にするというメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはよう、こんにちは、さようなら いつでもどこでも ・教職員から「あいさつ プラス 一言」 ・生徒会 教職員 部活動 保護者 地域の方々 ・部活下校集会 <p>②わかる授業</p> <p>⇒授業から気持ちの離れる生徒を出さない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりと学習面談 ・研修（先輩に学ぶ授業、授業の基本、公開授業） <p>③主流を育む</p> <p>⇒生徒の良さを認め、誇りを育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の支援 ・いじめや暴力を許さない ・あいさつ運動 <p>④課題を抱えた生徒へのチーム支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導、特別支援教育、不登校指導

○社会福祉推進校の取り組み

市内の小中学校及び高等学校では、児童、生徒が社会福祉への関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、地域に密着した福祉教育の促進を図るために、社会福祉法人岡谷市社会福祉協議会による社会福祉推進校の指定を受け、各学校ごとに社会福祉活動や障がい理解教育の取り組みを実践している。

【取り組み内容】

総合的な学習の時間を利用した交流、体験活動（市内小中学校12校、高等学校3校）

- ・福祉施設等におけるお年寄りとの交流
- ・地域清掃等の奉仕活動の実施
- ・赤い羽根募金、書き損じはがき回収、エコ活動の実施
- ・吹奏楽部や合唱部による各種団体、施設での訪問演奏
- ・車椅子体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験、点字体験、手話体験などの体験学習実施など

⑪学校給食実施状況

(平成27年5月1日現在)

	給食人員		給食施設 (㎡)							給食設備										備考		
	児童・生徒数	職員数	調理室	倉庫	戸棚	控室	パン・牛乳置場	通路その他	計	消毒保管庫	食器洗浄機	野菜裁断機	球根皮剥機	高速ミキサー	冷蔵庫	冷凍庫	牛乳保冷庫	給湯設備	ガス回転釜		焼物機	
小学校	392	38	430	150.0	16.0	19.0	12.0	15.0	127.0	339	○	○	○	○	○	○	○	○	6	○	S.28.4~	
川岸	346	37	383	105.9	8.5	16.5	11.4	7.1	67.6	217	○	○	○	○	○	○	○	○	4	○	S.42.4~	
明神	269	27	296	109.0	7.5	10.5	13.5	2.6	47.9	191	○	○	○	○	○	○	○	○	4	○	※S.17.12~	※みそ汁
岡谷	355	37	392	72.6	7.8	3.8	9.4	4.0	49.4	147	○	○	○	○	○	○	○	○	4	○	S.26.4~	給食開始
小井川	246	31	277	95.6	8.0	7.5	12.0	6.4	72.5	202	○	○	○	○	○	○	○	○	3	○	S.26.2~	
中田	123	22	145	60.8	8.1	6.5	4.9	1.7	11.0	93	○	○	○	○	○	○	○	○	3	○	S.26.4~	
湊地	684	51	735	155.2	15.4	20.0	11.8	18.3	63.3	284	○	○	○	○	○	○	○	○	6	○	S.28.11~	
長原	256	31	287	88.8	11.5	7.1	13.8	3.8	55.0	180	○	○	○	○	○	○	○	○	4	○	S.48.4~	
校上の原	290	36	326	139.4	9.4	10.2	16.1	5.4	149.5	330	○	○	○	○	○	○	○	○	5	○	S.33.7~	
西部	409	41	450	116.1	13.0	15.3	14.8	11.2	85.6	256	○	○	○	○	○	○	○	○	5	○	S.22.12~	
北部	205	28	233	119.4	11.7	7.5	18.6	3.4	79.4	240	○	○	○	○	○	○	○	○	5	○	S.36.4~	
南部	560	54	614	115.2	12.9	18.1	18.7	2.0	55.1	222	○	○	○	○	○	○	○	○	5	○	S.28.11~	
東部	4,135	433	4,568	1328.0	129.8	142.0	157.0	80.9	863.3	2,701												
計																						

◎給食費 () は一食分の単価

※給食日数が各校違うため、平均値を掲載

	H16	H17	H18	H19	H20	H21
小学校 (完全給食)	月額4,356.3円 (255)	月額4,377.5円 (255)	月額4,398.8円 (255)	月額4,398.8円 (255)	月額4,390.8円 (255)	月額4,356.3円 (255)
中学校 (完全給食)	月額4,833.3円 (290)	月額4,881.7円 (290)	月額4,978.3円 (290)	月額4,966.2円 (290)	月額4,930.0円 (290)	月額4,899.8円 (290)
小学校 (完全給食)	月額4,754.1円 (280)	月額4,757.1円 (280)	月額4,760.0円 (280)	月額4,774.6円 (280)	月額4,768.8円 (280)	月額4,869.6円 (290)
中学校 (完全給食)	月額5,366.8円 (320)	月額5,420.0円 (320)	月額5,453.3円 (320)	月額5,493.3円 (320)	月額5,473.3円 (320)	月額5,561.9円 (330)

◎米飯給食

S52.4.11~週1回開始
H24.4.1~週3回開始

S55.10.1~週2回開始 H3.4.1~週2回開始 H14.4.1~週2.75回開始

⑫学校医・学校歯科医・学校薬剤師

平成27年4月1日現在

	総合管理医・保健管理医 (内科医)	内 科・外 科	耳鼻咽喉科	眼 科	歯 科		薬剤師
川岸小	薩摩林恭子	木下真理子	梅垣 油里	春山 洋	大滝 祐吉	倉田 修	高市 成子
神明小	今井 清泰	今村 均	梅垣 油里	春山 洋	笠原 恒久	三井 義久	林 力廣
岡谷小	向山 茂雄	今井 智彦	梅垣 油里	春山 洋	栗田 和弘	林 三雄	古畑 喜正
小井川小	小野 博正	朱 尚孝	小口 直彦	林 秀行	名和 孝行	笠原 初雄	小口 裕史
田中小	藤田 栄一	辛 京碩	梅垣 油里	林 秀行	井口 光世	前川 雅美	高橋 克典
湊小	花岡 宏		小口 直彦	林 秀行	藤岡 泰正		小林 基江
長地小	林 晋一郎	山田 雄三	梅垣 油里	林 秀行	太田 宅哉	牛山 尚也	御子柴美智子
上の原小	牛山 千冬	米山 大	小口 直彦	林 秀行	早出 啓子	林 潤太郎	池波 寛
西部中	酒井 宏	米山 大	小口 直彦	春山 洋	藤森 恒美	浦野 順	横内 功晴
北部中	稲村いづみ	片倉 智	小口 直彦	林 秀行	小口 久雄	小口 順司	花岡 孝次
南部中	笠原 忠夫	平林 直人	梅垣 油里	林 秀行	宮坂 伸	山田 元彦	丸田 哲
東部中	山崎 正彦	濱 弘毅	小口 直彦	林 秀行	太田 宅哉	林 隆広	井上 君子

○ 岡谷市医師会

岡谷市中央町2-5-22

22-3870

○ 岡谷下諏訪歯科医師会

岡谷市幸町4-10

23-8320

(4) 学校施設

① 学校建物保有面積

(平成27年5月1日現在)

区分 学校名	建物保有面積									
	一般校舎					屋内運動場				
	W	S・W	R	計	一人当り 面積	第1	第2	計	一人当り 面積	
	m ²									
小学校	川岸	15	177	7,906	8,098	19.1	905	328	1,233	2.9
	神明	138	896	4,611	5,645	15.6	774	324	1,098	3.0
	岡谷		127	6,240	6,367	24.6	744	461	1,205	4.7
	小井川	162	137	5,730	6,029	16.7	298	846	1,144	3.2
	田中		38	5,842	5,880	24.5	363	1,180	1,543	6.4
	湊	70	26	3,160	3,256	24.5	877		877	6.6
	長地	318	933	6,641	7,892	11.3	1,076	294	1,370	2.0
	上の原		10	6,075	6,085	21.6	729		729	2.6
	計	703	2,344	46,205	49,252	17.8	5,766	3,433	9,199	3.3
中学校	西部	70		7,256	7,326	25.1	1,881	819	2,700	9.2
	北部	53	218	7,238	7,509	18.8	2,227		2,227	5.6
	南部		851	4,342	5,193	25.8	2,089		2,089	10.4
	東部	660	167	5,864	6,691	12.2	897	522	1,419	2.6
	計	783	1,236	24,700	26,719	18.5	7,094	1,341	8,435	5.9

(給食室、プール専用附属室、武道場は除く)

② 学校敷地保有面積

(平成27年5月1日現在)

区分	校地総面積	校地内訳			左のうち借用地	校地の一人当り面積	
		校舎敷地	屋外運動場	その他 実験実習地			
	m ²						
小学校	川岸	19,035	12,285	6,750		44.9	
	神明	22,161	11,080	10,481	600	61.2	
	岡谷	45,382	10,080	6,330	28,972	22,331	175.2
	小井川	15,589	7,318	7,360	911	245	43.2
	田中	18,905	9,019	9,200	686	498	78.8
	湊	19,490	10,901	8,589			146.5
	長地	25,026	13,111	11,325	590		35.8
	上の原	24,925	15,735	9,190			88.4
	計	190,513	89,529	69,225	31,759	23,074	69.0
中学校	西部	20,636	11,525	9,111			70.7
	北部	27,866	17,422	10,248	196		69.8
	南部	20,999	9,185	11,814			104.5
	東部	29,414	15,308	13,521	585		53.6
	計	98,915	53,440	44,694	781		68.6

③学校建物棟別保有面積(主要棟)

学校名	校舎名	建築年	構造階	保有面積㎡	備考	
小学校	川岸小学校	管理教室棟	S54	R3	2,000	H21耐震改修
		特別教室棟	S56	R2	1,903	
		教室棟中	S55	R3	2,252	H18耐震改修
		教室棟西	S55	R2	1,704	H20耐震改修
		第一体育館	S56	S1	905	H18耐震改修
		第二体育館	S44	S1	328	H18耐震改修
	神明小学校	1棟教室棟	S42	S1	821	H12大規模改修
		2棟教室棟	S42	R2	2,073	H13大規模改修
		3棟教室棟東	S41	R3	1,962	H24耐震・大規模改修
		3棟教室棟西	S51	R3	534	H24大規模改修
		第一体育館	S43	S1	744	H18耐震改修
		第二体育館	S42	W1	324	
		給食室	S42	S1	217	S53増築H12大規模改修
	岡谷小学校	北校舎	S34	R3	1,922	
		中校舎	S51	R3	2,723	
		南校舎	S43	R2	1,595	
		北体育館	S51	S1	461	
		南体育館	S41	S1	744	H18耐震改修
		給食室	S52	S1	191	
	小井川小学校	教室棟	S45	R4	3,903	H16耐震改修
		管理教室棟	S46	R2	1,827	H16耐震改修
		西体育館	S37	S1	846	H17耐震改修
		東体育館	S7	W1	298	
	田中小学校	特別教室棟	S54	R3	1,920	H24耐震改修
		普通教室棟南	S60	R3	1,713	H24大規模改修
		普通教室棟北	S59	R3	2,148	H24大規模改修
		大体育館	S62	R2	1,180	
		小体育館	S60	R1	363	
	湊小学校	給食室	S50	S1	202	H24大規模改修
		普通教室棟	S48	R2	1,822	
		特別教室棟	S48	R2	937	
		昇降口棟	S48	R1	253	H21耐震改修
	長地小学校	体育館	S48	S1	877	
管理教室棟		S58	R2	1,937	H23大規模改修	
教室棟南		S57	R2	1,590	H23大規模改修	
教室棟中東		S55	R3	1,825	H23大規模改修	
教室棟中西		S46	R3	1,240	H23耐震改修	
特別教室棟		S42	S2	513	H17耐震改修	
小体育館		S57	S1	294		
大体育館		S58	R2	1,076		
上の原小学校	給食室	S55	R1	284		
	普通教室棟南	S48	R2	966		
	普通教室棟中	S48	R1	473	H18災害復旧改修	
	普通教室棟北	S51	R3	1,571	H18災害復旧改修	
	特別教室棟南	S48	R1	257		
	特別教室棟中	S48	R1	261		
	特別教室棟北	S49	R2	599		
	昇降口棟	S48	R1	493		
西部中学校	大体育館	S48	S1	729	H18災害復旧改修	
	給食室昇降口棟	S48	R1	659		
	管理教室棟	S33	R3	2,585		
	昇降口棟	H3	R3	1,984		
	特別教室棟	S62	R3	2,687		
	第一体育館	S63	R3	1,881		
	第二体育館	S32	S1	819		
	北部中学校	1棟普通教室棟	H17	R2	1,649	
		2棟特別教室棟	S60	R1	495	
		2棟普通教室棟	S57	R3	1,806	
3棟特別教室棟		S60	R3	1,171		
管理教室棟		S59	R3	1,923		
体育館		S61	R2	2,390	武道場を含む	
給食室		S57	R1	256		
南部中学校	管理教室棟	H1	R4	4,002		
	特別給食室棟	S63	R2	580		
	北校舎	H19	S2	798	H19耐震改築	
	体育館	H5	R2	2,362	武道場を含む	
	1棟普通教室棟東	S39	R3	2,015		
東部中学校	1棟普通教室棟西	S50	R3	917		
	2棟普通特別教室棟	S58	R3	2,932		
	特別教室棟	H22	W1	427	H22耐震改築	
	昇降口棟	S50	S1	80		
	第一体育館	S40	S1	897	H16耐震改修	
	第二体育館	S47	S1	522	H18耐震改修	
	給食室	S58	R1	222		
	中間教室	H22	S1	37	H22新設	

④学校水泳プール

学 校 名		建 設 年 月 (改修年月)	水 槽	浄 化 槽 (改修年月)	附 属 設 備
小 学 校	川 岸	44.7 (H16.7)	25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H17.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H25.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	神 明	42.6 (H16.7)	25m×10m×1.0 m 6 コース 1.2 (H16.7) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H16.7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	岡 谷	42.7 (H22.6)	25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H17.6) 10m×7.5m×0.7m	砂ろ過式 (H17.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽
	小井川	44.7 (S63.6)	25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H18.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H23.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	田 中	43.6 (S63.6)	25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H19.6) 10m×7.5m×0.7m	砂ろ過式 (H5.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽
	湊	43.6 (H元.6)	25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H18.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H6.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	長 地	42.7 (S61.6) (H16.7)	25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H16.7) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H4.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽
上の原	48.7 (H元.6)	25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H19.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H19.3)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽	

学 校 名		建 設 年 月 (改修年月)	水 槽	浄 化 槽 (改修年月)	附 属 設 備
中 学 校	西 部	28.7 (H7.7)	25m×13m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 6 コース	砂ろ過式 (H20.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽
	北 部	38.7 (H4.5)	25m×13.6m× $\frac{1.2}{1.2}$ m 7 コース	砂ろ過式 (H14.5)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽
	南 部	38.7 (H13.7)	25m×13.6m× $\frac{1.2}{1.2}$ m 6 コース	砂ろ過式 (H25.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	東 部	42.6 (H9.12)	25m×13.6m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 7 コース	砂ろ過式 (H9.7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽

⑥小中学校コンピュータ整備状況

(平成27年4月1日)

学校名	設置場所	台数	用途	機種	メーカー	整備年度	整備方法
川 岸	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	26	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
神 明	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	25	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
岡 谷	コンピュータ室	1	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	34	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	1	校務	タワー			
	職員室	18	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
小井川	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	25	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
田 中	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	20	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
湊	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	30	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	14	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
長 地	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	38	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			

学校名	設置場所	台数	用途	機種	メーカー	整備年度	整備方法
上の原	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	34	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	22	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
西部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H25	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	28	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	1	事務	デスクトップ			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
北部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H25	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	35	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務	デスクトップ・ノート			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
南部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H25	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	26	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	1	事務	デスクトップ			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
東部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H25	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	44	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務	デスクトップ・ノート			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			

(5) 専門委員会等

① 岡谷市就学支援委員会

1 内容

岡谷市教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 就学教育相談及び支援に関すること。
- (2) 就学先及び就学義務猶予等の判断に関すること。
- (3) 就学後の教育支援に関すること。

また、前項に規定するもののほか、児童生徒等の就学及び教育支援に関する事項について、教育委員会に対し、意見を述べることができる。

2 組織

○会長 横内 宏行

○副会長 中澤 正幸

委員

氏名	職種等	所属
金子 和可子	小児科医師	信濃医療福祉センター
宮原 規夫	臨床心理士	C A P S ・ すわ
小口 直彦	耳鼻咽喉科医師	小口 医 院
林 秀 行	眼科医師	林 眼 科 医 院
五味 浩一	校長	長野県花田養護学校
小沢 敬也	校長	長野県諏訪養護学校
横内 宏行	校長	田 中 小 学 校
永池 隆	校長	岡谷西部中学校
中澤 正幸	校長	神明小学校
五味 重栄	教頭	小井川小学校
米山 徹	教諭(特別支援)	岡谷東部中学校
小松 康司	教諭(特別支援)	小井川小学校
宮坂 哲子	教諭(特別支援)	長地小学校
米窪 寿史	教諭(特別支援)	田中 小 学 校

専門委員

氏名	職種等	所属
宮坂 ちよい	言語聴覚士	ことばの教室
小林 直美	保育園長	子ども課(つるみね保)
古屋 春江	保健師	子ども課
森川 一成	子ども総合相談センター長	岡谷市教育委員会

② 岡谷市子ども教育支援チーム

1 目的

「いじめ防止対策推進法」で国の示す組織として位置づけ、地域からも積極的に参画をいただき、長期欠席及びいじめ人権問題を含む児童生徒の教育課題に、社会全体で取り組む。

2 内容

- (1) 長期欠席児童生徒の支援に関すること
- (2) いじめ問題への対応に関すること
- (3) 学校諸問題への対応に関すること
- (4) その他児童生徒の教育課題に対する調査研究及び支援に関すること

3 構成員

役 職	職 名	氏 名	備 考
チーム長	教育長	岩 本 博 行	
副チーム長	岡谷南部中学校長	両 角 徹 生	市校長会会長・いじめ防止対策推進委員会
チーム員	諏訪児童相談所	田 畑 均	主任児童心理専門員
チーム員	岡谷警察署	今 牧 信 司	生活安全課係長
チーム員	諏訪人権擁護委員協議会	矢 崎 よし子	副会長
チーム員	岡谷市民生児童委員協議会	林 清 子	主任児童委員長
チーム員	岡谷市 PTA 連合会	中 嶋 一 雄	会長
チーム員	小井川小学校長	伊 藤 恵 子	市校長会子どもの自立支援委員会
チーム員	岡谷東部中学校長	林 秀 昭	〃
チーム員	岡谷北部中学校長	福 澤 行 雄	市校長会いじめ防止対策推進委員会
チーム員	岡谷小学校長	宮 坂 享	〃
チーム員	岡谷西部中学校教頭	向川原 一 仁	市教頭会中学校選出・子どもの自立支援委員会
チーム員	長地小学校教頭	山 田 典 史	市教頭会小学校選出
チーム員	教育部長	吉 澤 洋 人	
チーム員	子ども総合相談センター長	森 川 一 成	
チーム員	子ども総合相談センター主幹	小 口 邦 子	
チーム員	教育支援主事 (子ども教育支援相談員)	花 岡 ひさ江	
チーム員	中間教室適応指導員 (子ども教育支援相談員)	宮 坂 のり子	
チーム員	子ども総合相談センター 専門カウンセラー	山 崎 寿 子	
チーム員	岡谷市立小中学校 スクールソーシャルワーカー	弓 田 香 織	
チーム員	子ども課子育て支援主幹	廣 瀬 智 子	
チーム員	社会福祉課生活福祉主幹	滝 沢 修	
チーム員	社会福祉課福祉総務主幹	勝 野 哲 矢	

4 委員会の経過と趣旨

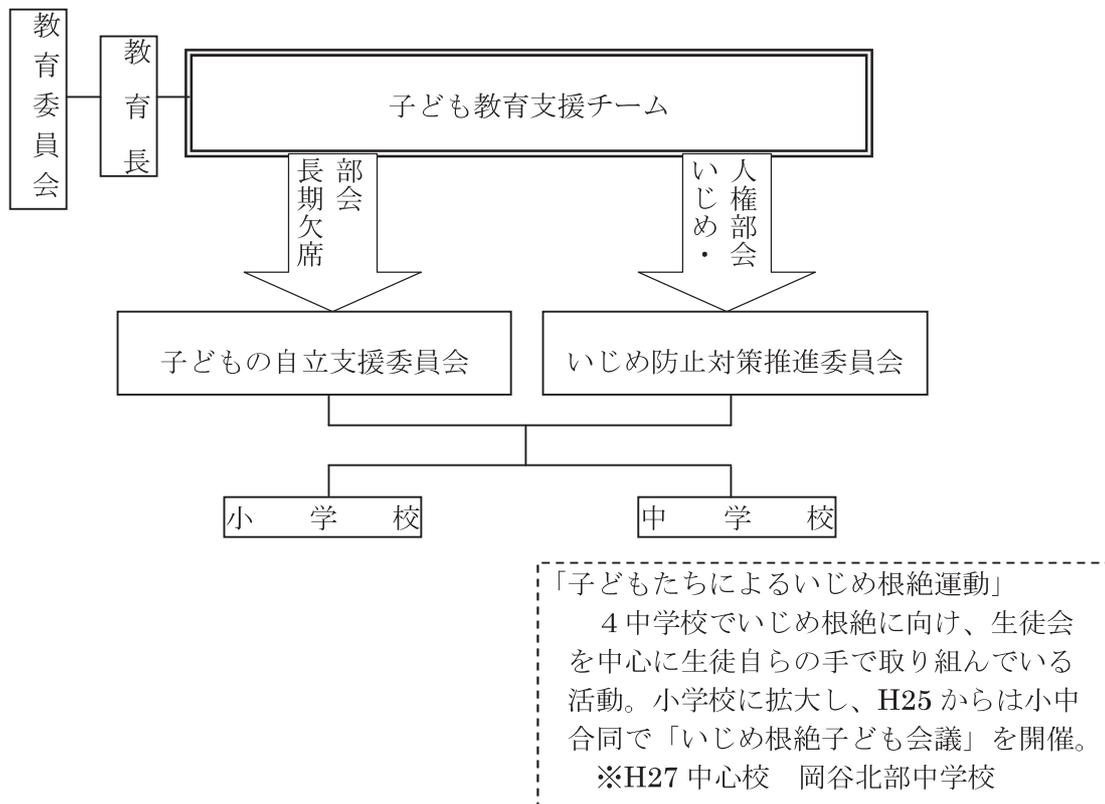
不登校問題を岡谷市の最重要課題と位置づけ、不登校児童生徒支援チームを立ち上げたのが、平成21年12月であった。本チームを中心に課題や対策について協議を行い、一丸となって取組を進める中で、子ども総合相談センターや各中学校への中間教室の開設、Q-U検査の導入など、組織体制や支援の充実を図ってきたものである。

不登校やいじめの問題には、人間関係力や自己肯定感の向上など、子どもの育ちが大きく関与しているとの認識から、平成25年度より、不登校児童生徒支援チームを子ども教育支援チームに改編し、所掌事項を不登校から教育課題全体へと拡大して、研究協議を進めてきた。

平成26年9月のいじめ防止対策推進法施行により、いじめに対し社会全体で取り組むよう方針が示され、学校設置者である市町村において、「いじめ防止のための基本方針を定めること」「いじめ問題対策連絡協議会(仮称)を設置すること」が望ましいとされた。そこで、平成26年度からは、子ども教育支援チームのメンバーを拡大し、運営を一部見直したうえで、国の示す組織として位置づけ、取り組みを充実させてきた。

平成27年度からは、岡谷市民生児童委員協議会にも構成員に加わっていただき、さらに地域の力を借りて体制を強化することとした。

5 組織図



③ 岡谷市小中学校子どもの自立支援委員会

1 内 容

- (1) 各校における委員会計画や活動状況の把握
- (2) 学校現場の視点からの教育課題の検証、研修
- (3) 子ども教育支援チームとの連携、実践
- (4) その他、長期欠席児童生徒に係る課題、人間関係力や自己肯定感の高揚等、子ども自立支援に関すること（Q・U、ソーシャルスキルトレーニング、ピアサポートなど）

2 委 員

役 職	氏 名	学 校 名	備 考
委員長	伊藤 恵子	小井川小学校	校長
副委員長	林 秀昭	岡谷東部中学校	〃
委 員	向川原 一仁	岡谷西部中学校	教頭
	山岡 真由美	川岸小学校	
	百瀬 美津穂	神明小学校	
	曾根原 千恵子	岡谷小学校	
	小松 ゆかり	小井川小学校	
	両角 祥子	田中小学校	
	市村 智奈	湊小学校	
	林 香織	長地小学校	
	山岡 理恵	上の原小学校	
	宮坂 暁美	岡谷西部中学校	
	山崎 陽一	岡谷北部中学校	
	堀内 順	岡谷南部中学校	
	山崎 将文	岡谷東部中学校	
藤森 章子	田中小学校	養護教諭 (養護教諭部会長)	

④ 岡谷市いじめ防止対策推進委員会

1 委員会の趣旨

小中連携の『いじめ根絶子ども会議』を中核とし、市内の全ての学校で児童生徒活動を継続的に行い、「いじめ根絶」に向けての意識を高める。

また、岡谷市子ども教育支援チームのいじめ・人権部会との連携のもと、本市における基本方針を受け、学校現場の視点から検証し、各校における実践に繋げる。

2 委員

役 職	氏 名	学 校 名	備 考
委員長	福澤 行雄	岡谷北部中学校	校長
副委員長	宮坂 享	岡谷小学校	〃
委 員	山田 典史	長地小学校	教頭
	市川 大紀	川岸小学校	
	岩波 あさみ	神明小学校	
	曾根原 千恵子	岡谷小学校	
	湯本 裕太郎	小井川小学校	
	中條 敬子	田中小学校	
	牛山 はるみ	湊小学校	
	西原 睦子	長地小学校	
	田中 晃	上の原小学校	
	藤森 紘美	岡谷西部中学校	
	月岡 優介	岡谷北部中学校	
	田中 千恵	岡谷南部中学校	
	西村 麻紀	岡谷東部中学校	

⑤ 岡谷市小中学校生徒指導推進委員会

1 目的

岡谷市の小中高等学校、地域社会、家庭と密接な連携をとりながら協力し、生徒指導・学校不適応に対する指導の充実、徹底を図り、健全なる児童生徒の育成を期す。

2 主要事業

- (1) 生徒指導の推進と学校間の情報交換
- (2) 長期休業中の生徒指導
- (3) 生徒指導推進のための地域活動
- (4) 生徒指導のための資料、テキストの検討・活用
- (5) 生徒指導推進のための調査、よびかけ運動
- (6) 進路指導の研究等
- (7) 指導研究
- (8) 生徒指導研修講座
- (9) 子ども総合相談センターとの連携

3 委員会開催予定数（年10回）

4 委員

役 職	氏 名	学 校 名	備 考
委員長	両 角 徹 生	岡 谷 南 部 中 学 校	校 長
副委員長	酒 井 重 明	湊 小 学 校	〃
委 員	中 山 智 奈	川 岸 小 学 校	
	河 西 一 樹	神 明 小 学 校	
	三 澤 正 一	岡 谷 小 学 校	
	阿 部 適 恵	小 井 川 小 学 校	
	平 林 範 和	田 中 小 学 校	
	河 越 光 孝	湊 小 学 校	
	澤 田 翔	長 地 小 学 校	
	内 藤 隆	上 の 原 小 学 校	
	五 味 雅	岡 谷 西 部 中 学 校	
	山 田 隆 英	岡 谷 北 部 中 学 校	
	青 樹 穰	岡 谷 南 部 中 学 校	
鈴 木 政 美	岡 谷 東 部 中 学 校		

⑥ 岡谷市小中学校情報教育委員会

1 内 容

- ・児童生徒及び教職員の、情報処理・加工能力を高め情報発信する能力を養うため、情報教育機器の有効な活用のあり方を研究する
- ・情報モラルの育成と小中を見通した市内情報教育年間指導計画を作成する
- ・各校の情報機器利用における問題点を究明し、改善策を提言する

2 委 員

役 職	委 員 名	学 校 名	備 考
委 員 長	横 内 宏 行	田 中 小 学 校	校 長
副 委 員 長	馬 場 広 一	田 中 小 学 校	教 頭
委 員	渡 邊 留美子	川 岸 小 学 校	
〃	熊 谷 航	神 明 小 学 校	
〃	武 田 真	岡 谷 小 学 校	
〃	高見澤 信 介	小 井 川 小 学 校	
〃	大 槻 充	田 中 小 学 校	
〃	河 越 光 孝	湊 小 学 校	
〃	中 森 伸 一	長 地 小 学 校	
〃	小 森 夏 実	上 の 原 小 学 校	
〃	中 村 勝	岡 谷 西 部 中 学 校	
〃	五十嵐 誠 治	岡 谷 北 部 中 学 校	
〃	安 藤 大 介	岡 谷 南 部 中 学 校	
〃	芳 沢 将 吾	岡 谷 東 部 中 学 校	

⑦ 岡谷市保健体育推進委員会

1 内 容

- ・岡谷市の学校体育・スポーツ振興の推進
- ・岡谷市小学校のスケート教室等の計画・調整・活用

2 委 員

役 職	氏 名	学 校 名	備 考
委員長	永 池 隆	岡 谷 西 部 中 学 校	校 長
委 員	鶴 秀 彦	川 岸 小 学 校	
	島 田 祐 次	神 明 小 学 校	
	松 澤 正 明	岡 谷 小 学 校	
	赤 羽 彰 吾	小 井 川 小 学 校	
	武 居 将	田 中 小 学 校	
	矢 島 伸 一	湊 小 学 校	
	湯 本 敦	長 地 小 学 校	
	児 玉 明 聡	上 の 原 小 学 校	
	黒 岩 健 一	岡 谷 西 部 中 学 校	
	神 津 智 恵 美	岡 谷 北 部 中 学 校	
	塩 野 太 蔵	岡 谷 南 部 中 学 校	
	佐 藤 智 洋	岡 谷 東 部 中 学 校	

⑧ 岡谷市学校図書館教育推進委員会

1 内 容

読書センターとして、また、学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりに積極的に取り組むことにより、学校及び家庭における児童生徒の読書活動の充実を図り「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成に資する。

- ・児童生徒の読書活動の幅を広げ、読書体験を深めるための活動
- ・読書・学習・情報センターとしての学校図書館づくり
- ・学校図書館でのコンピューター活用にかかわる課題等の検討
- ・読書指導及び学校図書館運営に関する研修・情報交換
- ・岡谷市子ども読書活動推進会議など読書活動に係わる各種団体との連携

2 委 員

役 職	氏 名	学 校 名	備 考
委員長	笠 井 みゆき	川 岸 小 学 校	校 長
委 員	春 原 聡 美	川 岸 小 学 校	
〃	奥 村 萌	神 明 小 学 校	
〃	山 本 真 望	岡 谷 小 学 校	
〃	和 田 由佳里	小 井 川 小 学 校	
〃	中 島 寛 子	田 中 小 学 校	
〃	渡 邊 慶 子	湊 小 学 校	
〃	一ノ瀬 文 枝	長 地 小 学 校	
〃	牛 丸 光 恵	上 の 原 小 学 校	
〃	山 崎 奈穂美	岡 谷 西 部 中 学 校	
〃	唐 澤 茂 子	岡 谷 北 部 中 学 校	
〃	原 田 真 衣	岡 谷 南 部 中 学 校	
〃	白 石 悠	岡 谷 東 部 中 学 校	
〃	向 山 洋 子	岡 谷 北 部 中 学 校	学校図書館指導員代表

⑨ 岡谷市学力向上推進委員会

1 内 容

- ・知識や技能の活用という分野を中心に、学力向上に向けた各学校の取組状況を把握し、教育課題や学習指導の課題を明確化し改善する
- ・分析結果等を基に本年度の学力向上・授業改善の具体的な取組計画を作成する
- ・調査結果に基づいた各校の分析結果から、市全体の分析及び改善の視点を探る

2 委 員

役 職	氏 名	学 校 名	備 考
委員長	中 澤 正 幸	神 明 小 学 校	校 長
副委員長	永 池 隆	岡 谷 西 部 中 学 校	〃
委 員	下 島 一 道	岡 谷 北 部 中 学 校	教 頭
〃	田 中 菜 穂 子	岡 谷 小 学 校	〃
〃	堀 内 美 和	川 岸 小 学 校	
〃	池 内 周 己	神 明 小 学 校	
〃	河 西 巧	岡 谷 小 学 校	
〃	藤 森 理 恵	小 井 川 小 学 校	
〃	両 角 祥 子	田 中 小 学 校	
〃	渡 邊 慶 子	湊 小 学 校	
〃	小 池 剛	長 地 小 学 校	
〃	今 村 勇 一	上 の 原 小 学 校	
〃	戸 谷 良 住	岡 谷 西 部 中 学 校	
〃	唐 沢 茂 子	岡 谷 北 部 中 学 校	
〃	堀 内 順	岡 谷 南 部 中 学 校	
〃	関 口 健 太	岡 谷 東 部 中 学 校	

⑩ 岡谷市外国語活動推進委員会

1 内 容

- ・平成23年度より完全実施された小学校外国語活動の授業が各学校で円滑に推進できると、支援活動を行う。

2 委 員

役 職	委 員 名	学 校 名	備 考
委員長	永 池 隆	岡 谷 西 部 中 学 校	校 長
副委員長	伊 藤 恵 子	小 井 川 小 学 校	〃
委員	神 田 希	川 岸 小 学 校	
〃	駒 村 香	神 明 小 学 校	
〃	片 岡 友 恵	岡 谷 小 学 校	
〃	湯 本 裕 太 郎	小 井 川 小 学 校	
〃	中 條 敬 子	田 中 小 学 校	
〃	重 野 佐 季	湊 小 学 校	
〃	中 山 ち と せ	長 地 小 学 校	
〃	住 吉 紀 彦	上 の 原 小 学 校	
〃	小 出 敦 子	岡 谷 西 部 中 学 校	
〃	新 津 一 真	岡 谷 北 部 中 学 校	
〃	原 ゆ か り	岡 谷 南 部 中 学 校	
〃	西 村 麻 紀	岡 谷 東 部 中 学 校	

⑪ 岡谷市道徳教育推進委員会

1 内 容

- ・各学校において、道徳教育の方針を持ち、道徳教育推進教師を中心に、学校として組織的に道徳教育が推進できるよう、道徳教育改善に向けた取り組みを行う。
- ・道徳の教科化を視野に入れながら、今後の道徳教育の内容等を研究する。

2 委 員

役 職	委 員 名	学 校 名	備 考
委員長	小 口 昭 一	上 の 原 小 学 校	校 長
副委員長	小 宮 山 健 一	岡 谷 南 部 中 学 校	教 頭
委員	山 岡 真 由 美	川 岸 小 学 校	
〃	塚 本 真 里 子	神 明 小 学 校	
〃	茶 木 ひ か る	岡 谷 小 学 校	
〃	村 瀬 裕 美	小 井 川 小 学 校	
〃	大 槻 充	田 中 小 学 校	
〃	牛 山 は る み	湊 小 学 校	
〃	中 山 佳 久	長 地 小 学 校	
〃	田 中 ま き 子	上 の 原 小 学 校	
〃	久 保 田 美 穂	岡 谷 西 部 中 学 校	
〃	藤 森 の り 子	岡 谷 北 部 中 学 校	
〃	田 中 千 恵	岡 谷 南 部 中 学 校	
〃	林 一 穂	岡 谷 東 部 中 学 校	

⑫ 学校評議員

1 内容

評議員は、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し一体となって子どもの健やかな成長を図る観点から、校長の求めに応じて学校運営に関し意見を述べ、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進に資する。

- ・保護者や地域住民等の意向を把握・反映すること
- ・保護者や地域住民等の協力を得ること
- ・学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていくこと

2 評議員

【小学校】

学 校 名	氏 名	職業・役職等
川岸小学校 (5名)	三 澤 和 剛	社会教育指導員
	清 水 辰 也	新倉区長
	藤 澤 由見子	前社会教育委員
	海 沼 貞 夫	放課後子ども教室委員長
	武 井 茂 夫	前PTA会長
神明小学校 (6名)	武 居 永 作	元PTA会長・神明小親父の会
	宮 坂 結 花	小井川区主任児童委員
	清 水 繁	今井区長
	小 林 まき子	クラブ活動外部講師
	駒 場 勇	元PTA副会長
岡谷小学校 (6名)	大 槻 智恵子	放課後子ども教室コーディネーター
	児 玉 隆 生	少年野球コーチ（蓮華不動院住職）
	林 尚 孝	前PTA会長
	薩摩林 恵美子	主任児童委員
	武 井 聖 子	あかしやパトロール隊
小井川小学校 (6名)	林 幸 三	岡谷区長
	浜 正 二	間下区子育て部会長（間下区安全パトロール）
	瀨 末 吉	えがおまもり隊長（小口区「つくし会」会長）
	武 井 民 雄	えがおまもり隊員
	新 村 邦 武	社会教育委員（元西堀区長）
	笠 原 新太郎	会社社長・周年記念運営委員会顧問
田中小学校 (6名)	茅 野 直 子	主任児童委員
	花 岡 俊 幸	前PTA会長
	小 口 順 久	上浜区長
	戸 谷 友 美	下浜区少年愛護委員
	矢 澤 英 子	上浜区主任児童委員
	小 口 敏 男	上浜区育成会長
湊小学校 (6名)	赤 羽 昌 輝	前PTA会長
	瀨 恵美子	前PTA副会長
	小 口 賢 一	花岡区長
	小 坂 勝 郎	小坂区長
	山 岡 弘 道	湊教育振興会理事
	瀨 真由美	主任児童委員
長地小学校 (6名)	花 岡 利 幸	民生児童委員
	伊 藤 悟	前PTA会長
	小 松 功	元中屋区長
	矢 崎 よし子	おさっちあコーディネーター
	小 松 孝 弘	保護司
	星 野 広 昭	元PTA会長
	湯 本 和 彦	前PTA副会長
	小 松 佐知子	本年度学年委員長

上の原小学校 (6名)	今井千枝	放課後子どもの居場所づくりコーディネーター
	今井敏弘	ふれあい隊隊長(前PTA会長)
	高木澄枝	民生委員
	井上英男	横川里山の会会長
	山田和男	主任児童委員
	小島利彦	放課後子どもの居場所づくりコーディネーターふれあい隊
小学校学校評議員数		男 32名 女 15名

【 中 学 校 】

学 校 名	氏 名	職業・役職等
岡谷西部中学校 (6名)	原 宏	会社社長・同窓会長
	林 正 敏	地域指導者・日本野鳥の会諏訪支部長
	佐原玲子	地域指導者(合唱指導)
	鮎澤きよみ	地域指導者
	林 幸 夫	人権擁護委員
	鮎澤貴秀	PTA会長
岡谷北部中学校 (6名)	塚田浩一	前PTA会長
	保科智昭	商店主
	朝比奈美代	元民生児童委員
	濱 勉	人権擁護委員
	横山博志	自営業
	篠原正典	元PTA会長
岡谷南部中学校 (6名)	矢萩哲也	下浜区長
	小口廣明	近隣者の会会長
	笠原忠夫	校医
	小坂恵美	主任児童委員
	牛山昌子	保護司
	中嶋一雄	前PTA会長
岡谷東部中学校 (6名)	松本宣佳	子ども育成会理事
	池戸慶隆	少年警察ボランティア
	小林聖仁	保護司
	両角陽子	少年警察ボランティア会長
	小澤晃	元PTA会長
	北野亨	岡谷東高等学校長
中学校学校評議員数		男 18名 女 6名
小・中学校学校評議員数		男 50名 女 21名

⑬ 岡谷市学校保健会

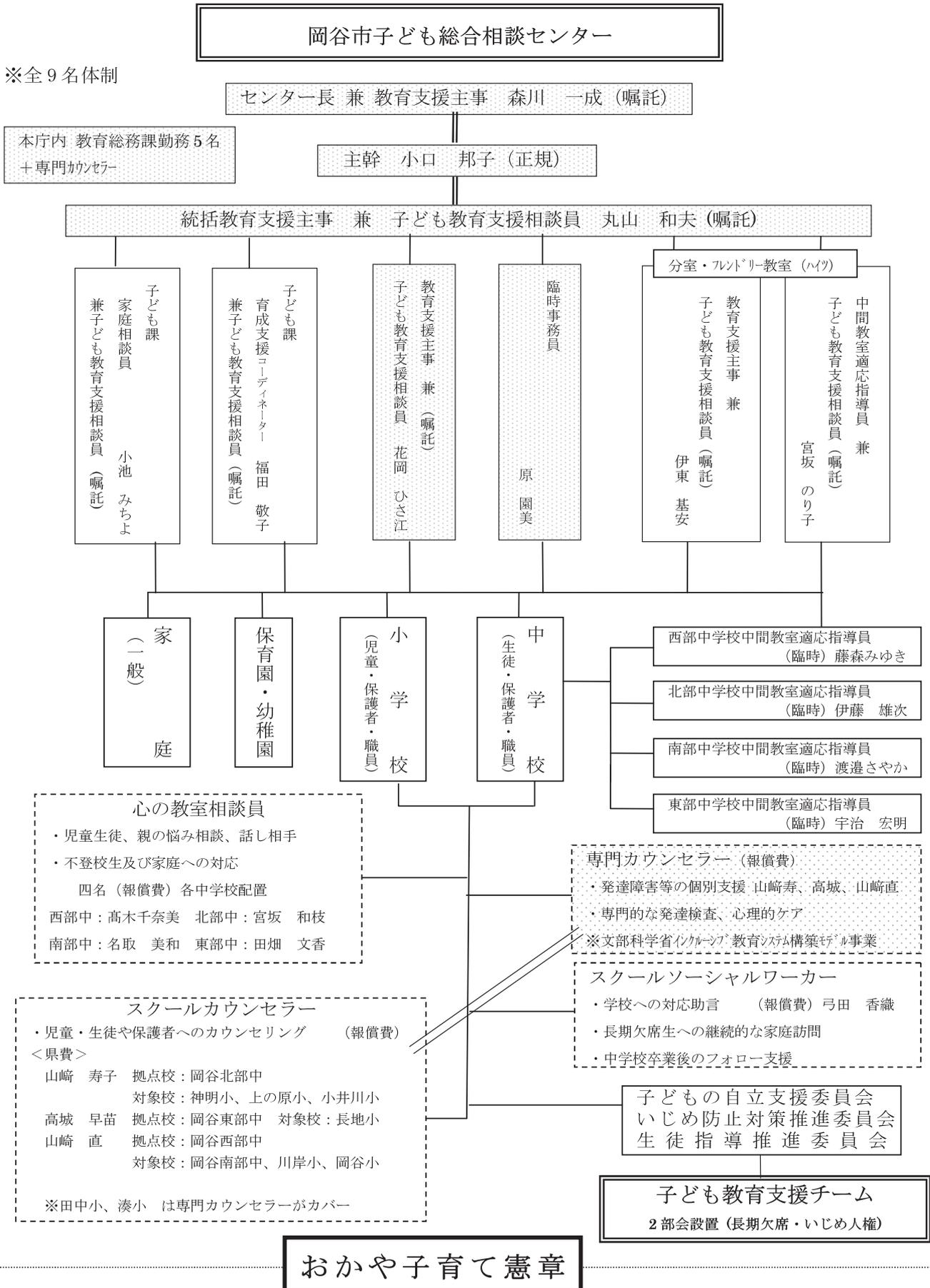
- 1 目的 学校保健の普及進展を図り以って児童生徒及び幼児の成長と発達に寄与することを目的とする。
- 2 内容 1. 学校保健に関する調査研究 2. 学校保健思想の普及並びに啓発
3. 学校保健資材の斡施 4. その他学校保健の目的を達成するために必要な事業
- 3 委員

	氏 名	所 属 等
会 長	小 口 直 彦	小口医院
学 校 医 部 会	小 口 直 彦	小口医院
	野 村 忠 利	野村ウイメンズクリニック
	今 井 清 泰	今井内科・胃腸科クリニック
	小 野 博 正	小野医院
	春 山 洋	春山眼科医院
	牛 山 千 冬	牛山医院
学 校 歯 科 医 部 会	大 滝 祐 吉	大滝歯科医院
	浦 野 順	浦野歯科医院
	小 口 順 司	ジュンデンタルクリニック
	小 口 久 雄	小口歯科第2クリニック
	林 潤太郎	ララ歯科医院
	笠 原 恒 久	笠原歯科医院
学 校 薬 剤 師 部 会	池 波 寛	アイビー薬局
	高 市 成 子	高市薬局
	小 林 基 江	くすりの三省堂
	井 上 君 子	塩嶺病院
	花 岡 孝 次	イズミ薬局
	御子柴 美智子	御子柴薬局
学 校 部 会	中 澤 正 幸	神明小学校校長
	藤 森 章 子	田中小学校養護教諭
	市 村 智 奈	湊小学校養護助教諭
	徳 武 加奈子	長地小学校養護教諭
	町 田 泰 江	岡谷西部中学校養護教諭
	倉 田 知由美	岡谷北部中学校栄養士
	小 林 大 夢	小井川小学校栄養士

(6) H27 子ども総合相談センター・カウンセリング体制

(平成27年7月現在)

※全9名体制



① 子ども総合相談センター

子どもが自ら成長しようとする“子どもの育ち”全般に関する相談を総合的に受け付け、各機関と連携し個々の状況に応じた助言や指導を行う。

センター業務の一環として、分室（教育相談室）、フレンドリー教室や各中学校に設置されている中間教室があるほか、カウンセリング体制の充実を図り、連携支援に努める。

(1) 場 所 岡谷市役所 2階 教育総務課内

(2) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 8:30～17:00

(3) 業務内容

- ・教育支援主事及び子ども教育支援相談員の統括に関すること
- ・就学支援に関する総合調整に関すること
- ・学校、家庭及び関係機関との連携に関すること
- ・学校諸問題に関する総合的な教育支援及び相談支援に関すること
- ・岡谷市子ども教育支援チームに関すること

(4) 年度別の相談件数

	24年度	25年度	26年度
相談実数	362	439	478
相談延べ件数	1,178	1,527	1,521

※平成25年度から分室での受付を含み、統計管理を一本化した

(5) 平成26年度の相談状況（延べ件数）

相談対象者	乳幼児 園児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
26年度	183	600	669	48	21	1,521
25年度(参考)	147	654	641	61	24	1,527

内容別	就学相談	身体障害	発達障害等	虐待	育児・教育
26年度	338	13	266	24	65
25年度(参考)	276	19	303	51	186
	長期欠席	問題行動	家庭環境	その他	合計
26年度	494	70	192	59	1,521
25年度(参考)	303	71	253	65	1,527

② 分室（教育相談室）

幼児及び児童・生徒の不適応行動は近年ますます複雑化、多様化してきている。教職員や保護者、子どもが抱えている悩みや心配ごとに対して幅広く積極的に相談を受け、ともに考え助言・指導を行う。

子ども総合相談センターの分室として、本庁と連携した相談支援体制を心がける。

(1) 場 所 岡谷市長地権現町 4-11-50 おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)内

(2) 業務内容

- ・通常相談業務 土・日・祝祭日を除いた 8:30～16:30

- ・夜間教育相談 月 2 回開設 16:30～19:00
- ・保育園・幼稚園・学校への訪問、連携支援
- ・いじめ、不登校、生徒指導等の問題に関する調査研究、資料収集
- ・専門カウンセラー教育相談（臨床心理士 山崎 寿子）
毎月 2 回 一人あたり 50 分（予約制）

③ フレンドリー教室・中学校中間教室

学校と家庭を結ぶ中間的な教室で、専任の適応指導員により、心理的または情緒的理
由から登校できない状態にある児童生徒の自立心を養い、学校・学級復帰の援助をする。

- (1) 対 象 者 岡谷市の中学校に在籍し、適応指導を必要とする不登校生（小学生も
相談に応じる）
- (2) 場 所 フレンドリー教室
…岡谷市長地権現町 4・11・50 おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)内
中学校中間教室…市内 4 中学校
- (3) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 9:00～15:00（各学校と相談）
- (4) 年間開設日数 中学校の登校日に準ずる
- (5) 通室生の状況（フレンドリー教室、中学校中間教室の総計）

平成 26 年度 通室生徒数

学年 男女		小 学 生	中 学 1 年	中 学 2 年	中 学 3 年	合 計
		岡 谷 市		3	2	3
男	下諏訪町等					
女	岡 谷 市	1			1	
	下諏訪町等					

※平成 26 年度の復帰生徒数 0 名だったが、中学 3 年生にあつては中間教室を利用し
ながら、高校進学等を果たすことができた。

④ 心の教室相談員

生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり
得る相談員を中学校全校に配置し、生徒の悩み相談や自主的生活の支援を行う。スクー
ルソーシャルワーカーと連携した家庭訪問事業についても、積極的に展開する。

⑤ スクールカウンセラー（専門カウンセラー）

臨床心理に関して、高度で専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーを学校
に派遣し、児童・生徒や保護者へのカウンセリングや教職員への相談と助言を行い、い
じめや不登校等の問題の解決と予防にあたる。

なお、県費スクールカウンセラー事業の仕組みを生かし、特別支援教育の観点から、
市内小・中学校で活動している臨床心理士等、全 3 名に対し、市の専門カウンセラーの
兼務を委嘱。域内ネットワークの一層の強化を図り、より多くの視点や関わりを得て合
理的配慮の提供につなげ、インクルーシブ教育システム構築に資する。

⑥ スクールソーシャルワーカー

長期欠席児童生徒対策の一環として、家庭環境や対人関係等で複層的な悩みを抱えるケースに対し、粘り強くきめ細かな支援を継続するために、ソーシャルワークの手法を取り入れ、家庭訪問によるアプローチや学校への対応助言を行う。また、スーパーバイザー的な役割に立ち、支援者の連携によるチーム支援を推進する。

(7) 高等学校・専修学校・専門学校等

① 高等学校

1 所在地

学校名	所在地 (電話番号)	創立年月日	学校長氏名
岡谷南高等学校	岡谷市湖畔三丁目3番30号 (23-2355)	昭 15.10.30	宮坂 栄治
岡谷東高等学校	岡谷市南宮二丁目1番17号 (23-3161)	大 2. 4. 1	北野 亨
岡谷工業高等学校	岡谷市神明町二丁目10番3号 (22-2847)	明 45. 4.11	小池 良彦

2 高等学校生徒数及び学級数 (平成27年5月1日現在)

		岡谷南 高等学校	岡谷東 高等学校	岡谷工業 高等学校	計
1年	学級数	5	4	5	14
	男	100	62	158	320
	女	106	99	10	215
	計	206	161	168	535
2年	学級数	6	4	5	15
	男	133	49	186	368
	女	105	109	5	219
	計	238	158	191	587
3年	学級数	6	4	5	15
	男	125	50	187	362
	女	111	98	6	215
	計	236	148	193	577
合計	学級数	17	12	15	44
	男	358	161	531	1,050
	女	322	306	21	649
	計	680	467	552	1,699

② 専修学校・専門学校

学校名	所在地	校長名	科目	生徒数	教職員数
上條経理専修学校	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上條 重信	商業実務 一般	0	3
岡谷音楽専門学校	岡谷市東銀座一丁目11番2号	林 かずえ	器 楽	4	3
岡谷市看護専門学校	岡谷市2413-1	百瀬 芳隆	看 護	52	8

③ 各種学校

学校名	所在地	校長名	科目	生徒数	教職員数
岡谷市医師会附属 准看護学院	岡谷市中央町二丁目5番22号	小口直彦	准看護師 養成	50	5
上條珠算簿記学園	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上條重信	経理事務	0	4

(8) 教員住宅

① 公立学校共済組合分(間下教員住宅)

(平成27年4月1日現在)

住宅番号	建設年度	戸数	所在地	構造	1戸当面積 (㎡)
211~237	平成8	1棟21戸	山下町二丁目	鉄筋コンクリート三階建	49.99
111~136	平成9	1棟17戸	山下町二丁目	鉄筋コンクリート三階建	単身用 49.99 世帯用 69.12

② 市営分

住宅番号	建設年度	戸数	所在地	構造	1戸当面積 (㎡)
37~38	昭和47	2戸	小井川小南側	ブロック造平家建	55.75
39	昭和47	1戸	上の原小東側	ブロック造平家建	55.75
40~41	昭和48	2戸	中山団地	ブロック造平家建	52.14
42~45	昭和49	4戸	中山団地	ブロック造平家建	49.67
46~47	昭和50	1棟2戸	滝の沢	木造平家建	49.01
52~53	昭和51	1棟2戸	川岸能登舟南	ブロック造平家建	49.67
54~55	昭和51	1棟2戸	川岸新倉	ブロック造平家建	49.67
58~59	昭和52	1棟2戸	湊垣外	ブロック造平家建	49.67
60~61	昭和53	1棟2戸	長地富士見ヶ丘	木造二階建	55.48
62・64	昭和54	2戸	今井二本松	木造平家建	52.17
65~66	昭和54	1棟2戸	今井二本松	木造二階建	55.48
68~69	昭和55	1棟2戸	旧湊小跡地	木造二階建	55.48
70	昭和55	1戸	旧湊小跡地	木造平家建	52.17
71	昭和55	1戸	上の原小東側	木造平家建	54.65
72~73	昭和56	1棟2戸	学ヶ丘	木造二階建	55.48
75	昭和56	1戸	上の原小東側	木造二階建	58.78
76~77	昭和57	1棟2戸	湊垣外東側	木造二階建	56.51
79	昭和57	1戸	南部中南側	木造平家建	52.32
80~83	昭和58	2棟4戸	湊小坂	木造二階建	55.48
84~85	昭和59	2戸	湊小坂	木造二階建	59.61
86	昭和59	1戸	川岸保育園南	木造二階建	59.61
87~88	昭和59	1棟2戸	川岸保育園南	木造二階建	55.48
124	昭和40	1戸	小井川小西	木造平家建	78.98

③ 総計戸数

公立学校共済組合分38戸、市営分43戸、総計81戸

(9) 奨学金制度

① 岡谷市育英基金

◎基金の総額 358,974,252円(平成27年3月31日)

◎貸付対象及び要件

- ア. 岡谷市に生活の本拠を有し、引き続き1年以上居住している者又はしていた者であること。
- イ. 成績が優秀で身体が健康であること。
- ウ. 経済的理由により就学が困難と認められること。
- エ. 独立行政法人日本学生支援機構その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと。

◎貸付方法及び金額(平成23年度以降)

ア. 貸付方法 奨学金年4回(4月・7月・10月・1月)に分けて貸付 入学準備金は初回のみ貸付

イ. 貸付金額(奨学金)

高等学校生・高等専門学校生	月額30,000円以内
大学・短期大学生	月額52,000円以内
専修学校生(高等課程)	月額30,000円以内
専修学校生(専門課程)	月額49,000円以内
大学(医学部)	月額200,000円以内
(入学準備金)	
大学	200,000円以内
大学(医学部)	1,200,000円以内

ウ. 償還免除(大学等)

- ・学校を卒業後、岡谷市に居住し償還期間中引き続き居住したときは一部の償還を免除する。
(医学部)
- ・下記期間市内の医療機関において、医師として業務に従事したときは、貸付金額の全額を免除する。
 - ①入学準備金及び奨学金の貸付を受けた者が、臨床研修を受けた後、直ちに医師として業務に従事したとき 6年6月以上
 - ②奨学金の貸付を受けた者が、臨床研修を受けた後、直ちに医師として業務に従事したとき 6年以上

◎返済方法

卒業後6ヵ月後から次の期間内に返済

(奨学金) 高等学校生	120ヶ月	高等専門学校生	180ヶ月
大学校生	180ヶ月	短期大学校生	96ヶ月
専修学校生(高等課程)	120ヶ月	専修学校生(専門課程)	168ヶ月
大学(医学部)	270ヶ月		
(入学準備金) 大学	48ヶ月	大学(医学部)	72ヶ月

◎制度の変遷

- ・昭和41年度から昭和46年度までの奨学生：年18,000円(月1,500円)/人
- ・昭和47年度から昭和49年度までの奨学生：年36,000円(月3,000円)/人
- ・昭和50年度から昭和57年度までの奨学生(大学生は除く)：年60,000円(月5,000円)/人
- ・昭和51年度から昭和57年度までの大学へ入学する奨学生：年120,000円(月10,000円)/人
- ・昭和58年度からの奨学生(高校生)：年72,000円(月6,000円)/人
(大学生)：年180,000円(月15,000円)/人
- ・平成2年度からの奨学生(高校生)：年120,000円(月10,000円)/人
(大学生)：年240,000円(月20,000円)/人
- ・平成11年度からの奨学生(高校生)：年180,000円(月15,000円)/人
(大学生)：年300,000円(月25,000円)/人
- ・平成14年度からの奨学生(高校生等)：年360,000円以内(月30,000円以内)/人
(大学生等)：年624,000円以内(月52,000円以内)/人

◎貸付状況

(平成27年5月1日現在)

年度	貸付人員			貸付(見込)額	償還済人員	償還中人員	猶予中人員	貸付中人員	備考(27年度から償還開始)
	高校	大学等	合計						
41~49	96		96	7,326,000	96				
50	13		13	2,370,000	13				
51	8	7	15	4,080,000	15				
52	3	14	17	6,180,000	17				
53	10	8	18	5,520,000	18				
54	8	8	16	5,160,000	16				
55	1	6	7	3,420,000	7				
56	4	5	9	3,372,000	9				
57	14	5	19	5,256,000	19				
58	5	7	12	5,668,000	12				
59	4	9	13	6,444,000	13				
60	4	12	16	7,884,000	16				
61	8	11	19	8,064,000	19				
62	3	4	7	2,808,000	7				
63	1	7	8	5,076,000	8				
元	1	4	5	1,512,000	5				
2	3	11	14	8,520,000	14				
3	2	15	17	10,800,000	17				
4	3	21	24	18,720,000	23	1			
5	1	22	23	16,680,000	23				
6		9	9	6,240,000	9				
7	1	7	8	5,880,000	8				
8		13	13	9,360,000	13				
9		11	11	7,920,000	11				
10	1	3	4	6,360,000	3	1			
11	1	8	9	6,540,000	8	1			
12		10	10	7,560,000	10				
13		11	11	8,820,000	11				
14	2	48	50	34,859,000	35	15			
15	5	27	32	45,372,000	12	20			
16		26	26	48,072,000	12	14			
17	1	22	23	51,312,000	11	12			
18	2	12	14	45,036,000	2	11			1
19		15	15	37,470,000	3	12			
20		15	15	33,132,000	2	13			
21		21	21	32,412,000	3	15	1		2
22	1	26	27	40,935,000	2	20	1		4
23		16(1)	16	44,176,000		2		2(1)	12
24	1	15(1)	16	45,888,000	1	5		8(1)	2
25		16	16	43,780,000				13	3
26		20(2)	20	44,698,000				20(2)	
27	1	18(2)	19	44,960,000				19(2)	
計	208	545	753	785,642,000	523	142	2	62	24

()は大学(医学部)

② 公益信託 山田徳郎奨学基金

1. 目的 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する生徒に対して、奨学助成を行い、青少年の健全育成と社会有用の人材を育成する。(昭和63年から給付開始)
2. 奨学生の資格
 1. 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する者
 2. 学業、人物ともに優秀な者
 3. 経済的理由により就学困難な者
3. 給付方法及び金額

給付方法	年4回(6月・9月・12月・3月)に分けて給付
給付金額	月額15,000円
給付状況	平成25年度 1人 平成26年度 3人 平成27年度 6人 合計 10人
受託者	山田徳郎
受託者	みずほ信託銀行株式会社(東京都中央区八重洲1-2-1)

4 生涯学習課

(1) 生涯学習基本方針

① 基本方針

生涯学習課は、第5次岡谷市生涯学習推進計画に基づき生涯学習の充実を図るため、社会教育、放課後子どもの居場所づくり、学童クラブ、文化財保護、青少年健全育成等の諸事業を推進するとともに、美術考古館、図書館、生涯学習活動センター（生涯学習館）、塩嶺野外活動センター、公民館各施設の管理運営等の業務を執行する。

② 重点目標

1 社会教育の充実

(1) 学習活動への参加促進と学習機会の充実

- ①生涯学習活動への参加促進
- ②ライフステージに応じた生涯学習の充実
- ③目的やニーズに応じた学習の充実

(2) 生涯学習推進基盤の整備

- ①生涯学習施設の活用
- ②生涯学習施設の連携
- ③生涯学習推進のための人材育成と活用
- ④生涯学習推進体制の連携強化
- ⑤学習成果の発表・活用の場の充実

2 青少年の健全育成

(1) 子育て土壌づくりの支援

- ①家庭教育への支援
- ②親子のふれあい機会の充実
- ③子育て中の親同士の交流の場づくり
- ④子ども読書の推進

(2) 地域における健全な環境づくり

- ①環境浄化・非行防止活動の推進
- ②放課後子どもの健全育成の推進
- ③地域力による子育ての充実

(3) 青少年活動の推進

- ①青少年活動の育成支援
- ②活動の場の充実
- ③社会参加の促進
- ④指導者の養成
- ⑤中学生・高校生の居場所や活動の場づくり

(4) 子育て支援の充実

- ①保育サービスの充実
- ②幼児教育の推進
- ③児童・生徒の健全育成

3 文化・芸術の振興

(1) 文化施設の活用

- ①美術考古館の活用

(2) 文化活動の促進支援

- ①参加機会の充実
- ②学習成果発表の場の充実
- ③関係団体、人材の育成

4 文化財の保護・活用

(1) 文化財の調査・保存

- ①製糸関連遺構の調査・保存
- ②埋蔵文化財の調査・保存
- ③文化財の調査・収集・保存

(2) 文化財の公開・活用

(3) 史跡公園の管理・活用

(2) 社会教育

① 岡谷市社会教育委員の会議

岡谷市社会教育委員の会議は、岡谷市教育委員会が行う社会教育行政に関する諮問機関として、広く各方面の見識と経験を反映させるため、社会教育法第15条、及び岡谷市社会教育委員設置条例に基づき、平成9年4月に発足した。

※社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに一般公募の中から10人を教育委員会が委嘱し、任期は1期2年としている。社会教育委員の職務として、社会教育に関し教育長を通じ教育委員会に助言をするための社会教育に関する諸計画の立案や、会議を開いて教育委員会の諮問に応じて意見を述べること、さらにそのために必要な研究調査を行う。また、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることもできる。

岡 谷 市 社 会 教 育 委 員

(平成27年4月1日現在)

氏 名	法第15条2に基づく区分	所属団体等	備 考
新 村 邦 武	学識経験者	元区長	平成23年度～
堀 向 弘 右	学識経験者	元岡谷市職員	平成23年度～
◎濱 道 夫	社会教育	壮年会役員等	平成23年度～
○星 野 直 美	家庭教育	子ども会育成会役員	平成23年度～
今 井 誠	家庭教育	元小学校PTA役員	平成25年度～
間 宮 洋 子	家庭教育	子ども会育成会役員等	平成27年度～
佐々木るり子	社会教育	ガールスカウト委員	平成27年度～
山 田 和 男	社会教育	卓球協会役員等	平成27年度～
林 邦 子	家庭教育	放課後子どもの居場所づくり事業運営委員	平成27年度～
酒 井 重 明	学校教育	校長会（湊小学校）	平成27年度～

(◎=会長、○=副会長)

1期任期2年：平成27年4月1日～平成29年3月31日 ※校長会代表：任期1年)

② おかや子育て憲章理念の普及

おかや子育て憲章具現化への取り組みとして、子育てのポイントを年齢期毎にまとめたパンフレット「成長樹（期）子育て実践ポイント」を作成しているが、子育てにかかわる多くの市民が身近に置き、子育ての不安や悩みの解消のための参考にしていただけるよう年齢期毎に分冊化すると共に、胎児期を加えいつでも必要なときに見られるよう母子手帳交付時の一連の資料の袋に収まるサイズに変更するなど見直しを行い、効果的な実践に向けて普及啓発及び活用を促進する。

③ 岡谷市成人式

岡谷市で心身を育んだ男女青年が「人生の節目」として成人を迎えたことを祝い励ます行事である。

1 平成26年度（平成27年1月1日）成人式参加者数

	平成26年度			平成25年度		
	男	女	計	男	女	計
対象者数	284人	284人	568人	282人	258人	540人
参加者数	202人	214人	416人	196人	165人	361人
参加率	71.1%	75.3%	73.2%	69.5%	64.0%	66.9%

2 平成27年度 成人式の開催予定日

- (1)開催日時 平成28年1月10日（日）（*成人の日の前日、日曜日）
- (2)会 場 岡谷市文化会館（カノラホール）
- (3)対 象 平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人で
本人又は親等が市内に在住する人

④ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）

市民の生涯学習活動をより一層推進するため、市職員が担当する業務を直接地域に出向いて説明しながら、市民との交流と市政への理解を深めるとともに、まちづくり全般にわたる推進と市職員の研修・資質向上の機会ともしている。平成27年度は7部門87講座を登録し、メニュー表にない講座については「リクエスト講座」として対応する体制をとっている。

⑤ 生涯学習人材バンク「おかやマナビスタッフ」活用事業

従来行っていた「市民講師制度」と「学びのおかやサポート事業」をタイアップし、専門的な知識や技術、技能等を持つ市民に、講師又はボランティアとして登録いただき、登録した方の名簿管理を行い、利用希望する市民と登録者を仲介する。

また、ボランティア登録をした方については、活動する際に、「学びのおかやサポート事業」の一環として、ボランティア保険に加入し、サポートを行っている。

⑥ 人権教育

1 基本方針

人権は、生命、自由、平等、幸福追求などについて、すべての人間がその尊厳に基づいて持っている、侵すことのできない固有の権利です。人権が尊重されるためには、権利についての理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、お互いの人権を認め合いながら生活し、人権が共存する社会づくりを進めることが重要です。

岡谷市は、平成8年3月、岡谷市民憲章の理念に基づき「人権尊重都市宣言」を掲げました。人権の世紀である21世紀を迎え、この「人権尊重都市宣言」を岡谷市の基本理念とし、市民一人ひとりがさらなる人権意識の高揚とかけがえのない存在として尊重される差別のない社会づくりのため、基本目標に沿った人権教育を推進します。

2 啓発の推進

(1) あらゆる場における人権教育の推進

① 学校人権教育

- ・ 偏見や差別を正しく見抜く力を持つことができる教育を行う。
- ・ 児童・生徒の身近な偏見や差別をなくすために、開かれた学級やともに生きる仲間づくりに努める。
- ・ 人権にかかわる授業研究、教職員研修の充実を図る。
- ・ 人権担当教諭の指導者としての資質の向上を図る。
- ・ 社会科教材として、副読本「あけぼの」の配本助成を行う。

② 社会人権教育

ア 幼稚園・保育園、学校等

- ・ 幼稚園、保育園における保護者を対象とした人権にかかわる家庭教育学級を実施する。
- ・ 小中学校のPTAを対象とした人権にかかわる家庭教育学級、講演会を実施する。

イ 地域

- ・ カルチャーセンター等における各種学級の機会を捉えた人権教育講座を開催する。
- ・ 地域リーダー養成のための人権教育指導者研修会を開催する。
- ・ 地域における人権にかかわる自主学習活動への支援・奨励を行う。
- ・ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）を活用する。

ウ 企業等

- ・ 企業担当者に対する人権学習支援・奨励、学習資料の提供を行う。
- ・ 企業担当者に対し人権教育指導者研修会への参加を奨励する。
- ・ 市職員研修における人権問題啓発用DVDの活用を促す。
- ・ 市新任職員に対する人権教育を実施する。

(2) 人権意識の啓発と教育活動の推進

- ・ 「広報おかや」の活用
- ・ 人権問題啓発映画・DVDの貸出し及びガイドブックの活用
- ・ 地域子（己）育てミニ集会における啓発活動
- ・ 人権啓発リーフレットの活用

⑦ 放課後子どもの居場所づくり事業

放課後や週末等に学校施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の人々の参画を得て、学習又はスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行う事業を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育む環境づくりを推進する。

- 1 実施主体 … 岡谷市教育委員会
- 2 運営委員会の設置 …
各小学校区に地域住民、学校、行政からなる運営委員会を設置し、企画運営等を行う。
運営委員会にて運営形態を選択することができる。
- 3 対象とする子どもの範囲 … 市内小学校に在籍するすべての小学生
- 4 活動状況

(平成 27 年 5 月 31 日現在)

小学校名 (呼称)	運営形態	開設年月日	主な活動場所等	年間 開催予定回数
川岸小学校 (とちっ子ひろば)	直営型	平成 21 年 (※モデル校)	特別教室、図書館、体育館等の 学校施設	24 回
湊小学校 (あそぼう日)	直営型	平成 21 年 (※モデル校)	特別教室、体育館等の学校施 設、校庭、公民館	18 回
田中小学校 (あやめ基地)	直営型	平成 21 年 (※モデル校)	特別教室、図書館、体育館等の 学校施設、校庭	12 回
長地小学校 (おさっちあ)	委託型	平成 23. 6. 18	特別教室、体育館等の学校施設 及び学区内における野外活動	12 回
岡谷小学校 (あかっしあ)	委託型	平成 23. 6. 22	特別教室、体育館等の学校施 設、校庭	18 回
上の原小学校 (うえのはらっば)	直営型	平成 23. 6. 29	主に体育館、学区内における野 外活動	17 回
小井川小学校 (おいかわっこ)	委託型	平成 23. 7. 20	特別教室、図書館、体育館等の 学校施設、校庭	10 回
神明小学校 (神明っ子はばた キラボ)	直営型	平成 23. 9. 14	余裕教室、特別教室、体育館等 の学校施設、学区内における野 外活動	18 回

⑧ 学童クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童及び生徒に対し、適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的としている。学童クラブは、児童福祉法第 6 条の 3 第 2 項に規定する「放課後児童健全育成事業」であり、運営は同法第 3 4 条の 8 に基づいている。平成 1 8 年 4 月から、岡谷市学童クラブ条例を施行し、学校登校日の利用についても有料化を図った。また、平成 2 7 年度から対象学年を 6 年生まで拡大するとともに、開設時間の延長を行った。

1 入所できる児童及び生徒

- (1) 市内小学校の1年生から6年生までの児童
- (2) 長野県諏訪養護学校の小学部の児童及び中学部の生徒
- (3) 市長が特に入所の必要を認めた児童及び生徒

2 利用できる保護者の要件

学童クラブを利用できる者は、父母等の保護者や65歳未満の同居親族が下記のいずれかに該当し、昼間家庭で児童等を養育できない場合とする。従って、父母が下記に該当しても、64歳以下の祖父母が働いていない場合は、学童クラブを利用することができない。

- (1) 外勤労働に従事し日中不在のとき
- (2) 自営労働に専従しているとき
- (3) その他（特例として認める場合がある）
 - ① 病気・身体障害等のとき
 - ② 家族の介護、看護をしているとき
 - ③ 妊娠、出産のとき
 - ④ 就学しているとき
 - ⑤ 求職中のとき
 - ⑥ その他

3 開設日・開設時間

	学校の登校日	学校の休業日	
開設日	放課後	夏休み・年末年始休み・春休み・学校振替休業日、計画休業日 (日、祝日、8/13～16、12/29～1/3を除く)	土曜日 (祝日、8/13～16、12/29～1/3を除く)
開設時間	下校時から 午後6時45分まで	午前7時45分から午後6時45分まで	

※土曜日は田中小学童クラブで開設

4 使用料

階層	区 分	学校の登校日 (月額)	学校の休業日 (日額)
第1	生活保護世帯（単給世帯を含む。）	0円	0円
第2	前年度分の市町村民税非課税世帯	900円	600円
第3	前年度分の市町村民税非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	0円	0円
第4	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯	2,300円	600円
第5	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	2,000円	600円
第6	前年度分の市町村民税所得割課税世帯	3,500円	600円

※同一世帯で2人の児童が同時に入所し利用した場合、2人目以降の使用料は半額となる。

※同一世帯で3人以上の児童が同時に入所し利用した場合、3人目以降の使用料は4分の3

減免となる。

5 施設概要

(平成 27 年 5 月 31 日現在)

学童クラブ名	開設年月日	施設 (㎡)	登録 児童数	指導員数		備考
				嘱託	臨時	
田中小学童	昭和 40. 10. 24	68. 00	71	1	3	余裕教室利用
神明小第 1 学童	昭和 41. 12. 26	91. 09	42	1	2	S45 独立施設
神明小第 2 学童	平成 27. 4. 1	62. 40	42	1	2	余裕教室利用
川岸小学童	昭和 43. 10. 1	124. 65	79	1	3	余裕教室利用
長地小第 1 学童	昭和 44. 10. 1	267. 30	78	1	3	H23 独立施設
長地小第 2 学童	平成 23. 8. 19		72	1	3	
小井川小第 1 学童	昭和 51. 9. 1	114. 07	51	1	2	S51 独立施設
小井川小第 2 学童	平成 27. 4. 1	92. 48	36	1	1	余裕教室利用
上の原小学童	昭和 52. 9. 6	85. 00	56	1	3	余裕教室利用
岡谷小学童	昭和 54. 10. 11	64. 80	38	1	1	余裕教室利用
湊小学童	平成 9. 7. 28	80. 65	33	1	1	H12 併用施設
ひかりクラブ	平成 14. 4. 5	68. 00	9	1	4	余裕教室利用
合 計			607	12	28	
土曜学童	平成 14. 4. 6	68. 00	40	2	1~6	余裕教室利用 (田中小)
ひかりクラブ(土曜)	平成 19. 4. 7		3			

※土曜学童の登録児童数及び指導員数は各学童クラブと重複している。

⑨ 放課後子どもプラン推進事業

放課後子どもの居場所づくり事業と学童クラブ事業を一体化あるいは連携して実施するため現状と課題を分析する中で、岡谷市としての総合的な放課後対策としての「岡谷市放課後子どもプラン」を推進する。

(3) 文化財保護

① 岡谷市文化財保護審議会委員

会 長 宮坂 正博

職務代理 小口 敏高

(平成 27 年 4 月 1 日)

氏 名	就任年月日	任 期
宮坂 正博	平成 26. 4. 1	平成 28. 3. 31
小口 敏高	平成 26. 4. 1	平成 28. 3. 31
小口 圭一	平成 26. 4. 1	平成 28. 3. 31
熊澤 祥吉	平成 26. 4. 1	平成 28. 3. 31
武居 薫	平成 26. 4. 1	平成 28. 3. 31
宮坂 春夫	平成 26. 4. 1	平成 28. 3. 31

② 平成 27 年度の主な文化財保護事業

- 1 市内指定文化財の調査・保護事業
- 2 旧林家住宅及び旧渡辺家住宅の管理事業
- 3 個人住宅等小規模開発事業に先立つ遺跡の試掘、発掘調査

③ 施 設

名 称	所 在 地	開 館 年 月 日
旧 渡 辺 家 住 宅	岡谷市長地柴宮三丁目 8-40	平成 3. 9. 8

- 1 休館日 月・木・金曜日、11月4日から翌年の3月19日まで
- 2 入館料 ・一般高校生以上 310 円 小中学生 150 円
団体 (10 人以上) 高校生以上 210 円 小中学生 100 円
ただし、諏訪 6 市町村在住又は在学の小中学生、市内在住
又は在学の高校生は無料。
・共通入館券 (旧林家住宅、イルフ童画館、岡谷美術考古館、旧渡
辺家住宅)
一般 1000 円 高校生 800 円 中学生 450 円 小学生 300 円

名 称	所 在 地	開 館 年 月 日
旧 林 家 住 宅	岡谷市御倉町 2-20	平成 6. 4. 21

- 1 休館日 月曜日、国民の祝日の翌日 (ただし、この日が月曜日にあたるときはその翌日)
- 2 入館料 ・一般高校生以上 570 円 小中学生 260 円
団体 (10 人以上) 高校生以上 360 円 小中学生 100 円
ただし、諏訪 6 市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は
在学の高校生は無料。
・共通入館券 (旧渡辺家住宅に同じ)

※旧渡辺家住宅・旧林家住宅・岡谷美術考古館の共通券は、岡谷蚕糸博物館開館後
5館共通券 一般 1,100 円 高校生 900 円 中学生 600 円 小学生 400 円

3館共通券 一般 900円 高校生 700円 中学生 500円 小学生 350円
 2館共通券 一般 650円 高校生 600円 中学生 300円 小学生 300円とする。

④ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財

1 指定・登録文化財数

	有形文化財								無形民俗文化財	有形民俗文化財	史跡	天然記念物	計
	仏像	木喰作品	石造物	絵画	建造物	古文書類	工芸	考古資料					
国指定文化財					1			1			1		3
国登録有形文化財					23								23
県指定文化財	2				1				1	442			446
市指定文化財	25	34	5	1	13	2	3	10			11	19	123

2 国指定文化財

No.	名称	所有者 管理者	所在地・遺構及び形式	指定年月日
1	国指定史跡 梨久保遺跡	岡谷市教育委員会	長地梨久保二丁目 縄文時代	昭和 59. 1. 11
2	国指定重要文化財 顔面把手付深鉢形土器	市立岡谷美術考古館	中央町一丁目 9-8 縄文時代	平成 元. 6. 12
3	国指定重要文化財 旧林家住宅 主屋	岡谷市教育委員会	御倉町 2-20 明治時代 木造 2階建、棧瓦葺 建築面積 219. 03 m ²	平成 14. 12. 26
	国指定重要文化財 旧林家住宅 離れ	〃	御倉町 2-20 明治時代 木造 2階建、棧瓦葺 建築面積 74. 45 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 洋館	〃	御倉町 2-20 明治時代 木造、鉄板葺 建築面積 84. 46 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 内蔵 穀蔵及び味噌蔵	〃	御倉町 2-20 明治時代 土蔵造 2階建、棧瓦葺 建築面積 81. 14 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 外蔵	〃	御倉町 2-20 明治時代 土蔵造 2階建、棧瓦葺 建築面積 129. 62 m ²	〃
	附・板絵図 2枚 平面図(明治四拾 壹年五月調整) 1枚	〃	御倉町 2-20	〃

3 国登録有形文化財

No.	名称	所在地	所有者 管理者	構造及び形式	登録告示年月日
1	中央印刷社屋 (旧片倉組事務所)	川岸上一丁目 1-20	中央印刷 株式会社	木造2階建、銅板葺 建築面積 335 m ²	平成 8. 12. 26
2	片倉家住宅主屋 ^{おもや}	川岸上一丁目 21-6	片倉工業 株式会社	木造平屋建、茅葺 建築面積 215 m ²	平成 11. 7. 21
3	片倉家住宅西の蔵	〃	〃	土蔵造2階建、鉄平 石葺、建築面積 25 m ²	〃
4	片倉家住宅味噌蔵	〃	〃	土蔵造2階建、鉄平 石葺、建築面積 19 m ²	〃
5	片倉家住宅南の蔵	〃	〃	土蔵造2階建、鉄平 石葺、建築面積 29 m ²	〃
6	片倉家住宅文庫蔵	〃	〃	土蔵造3階建、鉄板 葺、建築面積 65 m ²	〃
7	今井家住宅主屋 ^{おもや}	今井 1832	個人	木造平屋建、鉄板(板 葺) 建築面積 449.98 m ²	平成 11. 10. 28
8	今井家住宅文庫蔵	〃	〃	木造土蔵造2階建、 石葺 建築面積 33.05 m ²	〃
9	今井家住宅米蔵	〃	〃	木造土蔵造2階建、 石葺 建築面積 33.05 m ²	〃
10	今井家住宅木蔵 ^{きぐら}	〃	〃	木造土蔵造2階建、 鉄板葺 建築面積 46.28 m ²	〃
11	今井家住宅板蔵	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺 建築面積 64.46 m ²	〃
12	今井家住宅水車小屋	〃	〃	木造平屋建、 建築面積 7.30 m ²	〃
13	今井家住宅表門	〃	〃	木造、銅板葺間口 5.10m、奥行 0.8m	〃
14	今井家住宅中門	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺 (土塀付)間口 2.05 m、奥行 0.8m	〃
15	今井家住宅木小屋	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺 建築面積 39.95 m ²	〃
16	今井家住宅井戸	〃	〃	石積深さ 6m、木造上 屋鉄板葺、 建築面積 0.74 m ²	〃
17	今井家住宅屋敷神 ^{やしきがみ}	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺 社殿建築面積 1.13 m ²	〃

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	構造及び形式	登録告示年月日
18	旧岡谷上水道集水溝 ^{しゅうすいこう}	山手町 3-4071- 口	(宗)十五社	石造り幅 4.0m、高さ 3.0m、奥行 19.0m	平成 15. 4. 8
19	旧山一林組製糸事務所	中央町 1-13-17	岡谷市教 育委員会	木造 2 階建、瓦葺 建築面積 316 m ²	平成 17. 2. 28
20	旧山一林組製糸守衛所	〃	〃	木造平屋建、亜鉛メ ッキ鋼板葺 建築面積 14 m ²	〃
21	旧岡谷市役所庁舎	幸町 8-1	岡 谷 市	鉄筋コンクリート造 2 階建瓦葺 建築面積 792 m ²	〃
22	小口家別邸 「雀龍庵」主屋 ^{かくりゆうあん おもや}	銀座 2-4-3	個人	木造 2 階建切妻瓦葺 建築面積 231 m ²	平成 23. 10. 28
23	小口家別邸 「雀龍庵」土蔵 ^{かくりゆうあん}	〃	〃	木造 2 階建切妻瓦葺 建築面積 66. 10 m ²	〃

4 長野県指定長野県宝

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	旧 渡 辺 家 住 宅	長地柴宮三丁目 8-40	岡谷市教育委 員会	平成 5. 8. 12
2	木造阿弥陀如来坐像	長地柴宮三丁目 3-22	平 福 寺	平成 8. 9. 9
3	木造大日如来坐像 (胎蔵界) ^{たいざうかい}	本町二丁目 6-43	照 光 寺	平成 17. 9. 26

5 長野県指定有形民俗文化財 (蚕糸資料コレクション昭和 41 年 3 月 17 日県宝指定)

種 類	種	点	種 類	種	点	種 類	種	点	種 類	種	点
繰糸器械類	18	21	生糸検査 用器具	27	27	その他 の器具	27	27	印・版木 類	3	66
揚返器具	7	8	計量器類	22	53	鑑札類	13	13			
繰糸器具部品	54	204	荷造器具	7	8	標本類	14	15	計	192	442

市立岡谷蚕糸博物館所蔵

6 長野県指定無形民俗文化財

No.	名 称	所在地	保存団体の住所及び名称	指定年月日
1	諏訪大社の 御柱祭り	岡谷市、諏訪市、 茅野市、下諏訪 町、富士見町、 原村	諏訪市大字中洲宮山 1 諏訪大社上社内 諏訪郡下諏訪町 5828 諏訪大社下社内 諏訪大社式年造営御柱大祭保存会	平成 6. 8. 15

7 岡谷市指定有形文化財

(1) 仏像

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	木造大日如来坐像 (金剛界)	正徳 3 年 (1713 年)	本町二丁目 6-43	照 光 寺	昭和 51. 3. 15
2	厨子入木造千手観音・不動明王・多聞天立像	不 明	〃	〃	〃
3	木 造 弘 法 大 師 坐 像	〃	〃	〃	〃
4	木造仁王立像 (阿・吽)	〃	〃	〃	〃
5	木 造 聖 観 音 立 像	〃	川岸西二丁目 7	新 倉 区	〃
6	木 造 毘 沙 門 天 立 像	室町時代	〃	〃	〃
7	木 造 十 一 面 観 音 坐 像	永正 3 年 (1506 年)	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
8	木造大日如来坐像 (金剛界)	不 明	長地小萩一丁 目 19-9	真 秀 寺	〃
9	木 造 不 動 明 王 坐 像	〃	〃	〃	〃
10	木造大日如来坐像 (金剛界)	〃	長地柴宮三丁 目 3-22	平 福 寺	〃
11	木 造 十 一 面 観 音 立 像	〃	〃	〃	〃
12	木 造 聖 観 音 坐 像	江戸初期	今 井 上 の 原 38-1	今井観音堂	昭和 60. 6. 4
13	木 造 興 教 大 師 坐 像	室町時代	本 町 二 丁 目 6-43	照 光 寺	〃
14	木 造 大 日 如 来 坐 像	〃	東銀座一丁目 14-2	小 井 川 区	〃
15	木 造 阿 弥 陀 如 来 立 像	江戸初期	堀ノ内二丁目 7-22	広 円 寺	〃
16	木 造 賓 頭 盧 尊 者 坐 像	室町時代	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
17	木 造 阿 弥 陀 如 来 坐 像	〃	川岸上二丁目 6-6	真 福 寺	〃
18	木 造 十 一 面 観 音 坐 像	江戸初期	川岸東四丁目 16-5	昌 福 寺	〃
19	木 造 日 光 菩 薩 立 像	室町時代	長地柴宮三丁 目 3-22	平 福 寺	〃
20	木 造 月 光 菩 薩 立 像	〃	〃	〃	〃
21	木 造 清 涼 大 師 坐 像	江戸前期	長地小萩一丁 目 19-9	真 秀 寺	〃
22	石造佉羅陀山地蔵菩薩坐像	文政 10 年 (1827 年)	本 町 二 丁 目 6-43	照 光 寺	昭和 61. 9. 4
23	石 造 釈 迦 三 尊 仏	慶応 4 年 (1868 年)	長地小萩一丁 目 19-9	真 秀 寺	平成元. 6. 22

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
24	石造西国三十三所観音	慶応4年 (1868年)	長地小萩一丁目19-9	真秀寺	平成元. 6. 22
25	木造馬鳴菩薩坐像 附馬鳴大菩薩尊像板下面料 領収書1枚	昭和9年 (1934年)	本町二丁目 6-43	照光寺	平成23. 5. 9

(2) 木喰作品

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	木造吉祥天女坐像	享和2年頃 (1802年)	—	個人	昭和43. 4. 1
2	木造大黒天坐像	享和2年頃 (1802年)	—	個人	昭和43. 4. 1
3	木造阿弥陀如来坐像	文化3年頃 (1806年)	—	個人	〃
4	木造西宮大神宮恵比須坐像	〃	—	個人	〃
5	木造地藏菩薩立像	享和2年頃 (1802年)	—	個人	〃
6	木造南無大師遍照金剛坐像	文化3年頃 (1806年)	—	個人	〃
7	木造文珠菩薩坐像	文化3年頃 (1806年)	中央町一丁目9-8	個人 市立岡谷美術考古館	〃
8	木造南無大師遍照金剛坐像	享和2年 (1802年)	—	個人	〃
9	米寿の軸	文化2年 (1805年)	—	個人	〃
10	丸心の軸	文化3年頃 (1806年)	—	個人	〃
11	年徳の軸	文化2年 (1805年)	—	個人	〃
12	御廻国中御宿控帳	文政年間	—	個人	〃
13	木造拝瀧不動明王坐像	文化3年頃 (1806年)	長地鎮二丁目19-18	中屋区	〃
14	木造拝瀧不動尊坐像	享和2年 (1802年)	本町二丁目 6-43	照光寺	〃
15	木造薬師如来坐像	文化3年 (1806年)	中央町二丁目13-8	上浜区	〃
16	大日如来軸	文化4年 (1807年)	本町二丁目 6-43	照光寺	昭和51. 3. 15
17	木造大日如来坐像	文化3年 (1806年)	—	個人	〃

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
18	名 号 軸	文化 3 年 (1806 年)	中央町一丁 目 9-8	市立 岡谷美術考古館	昭和 51. 3. 15
19	年 徳 軸	文化 4 年 (1807 年)	中央町一丁 目 9-8	市立 岡谷美術考古館	〃
20	大峯三社大権現軸	享和 2 年 (1802 年)	—	個人	〃
21	九字の宝号軸	文化 4 年 (1807 年)	—	個人	〃
22	諸 仏 の 軸	〃	—	個人	〃
23	御嶽座王大権現軸	享和 2 年 (1802 年)	—	個人	〃
24	不動明王付属文書不動尊供殿勸化帳	天保 2 年 (1831 年)	—	個人	〃
25	五 智 如 来 軸	文化 4 年 (1807 年)	—	個人	〃
26	三 社 大 権 現 軸	文化 4 年 (1807 年)	—	個人	〃
27	名 号 軸	文化 4 年 (1807 年)	—	個人	〃
28	通力自在不動明王石碑	享和元年 (1801 年)	山下町二丁 目 11	間 下 区	〃
29	通力自在不動明王石碑 付属文書 通力自在不動明王石碑 建立扣	〃	—	個人	〃
30	三点具足阿字軸	文化 4 年 (1807 年)	中央町一丁 目 9-8	市立 岡谷美術考古館	〃
31	諸 神 の 軸	〃	—	個人	〃
32	木造賓頭盧尊者像	〃	長地梨久保 二丁目 8-32	中 村 区	〃
33	賓頭盧尊者像付属文書 賓頭盧尊者建立入用帳	〃	〃	〃	〃
34	五 点 阿 字 軸	〃	本町二丁目 6-43	照 光 寺	〃

(3) 石造物

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	宗平寺跡の板碑	不明	加茂町四丁 目	小井川区	昭和 42.3.6

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
2	なが た とく ほん の らん とう 永 田 徳 本 の 藍 塔	不明	—	個人	昭和 42.3.6
3	さわ の せき とう 沢 の 石 幢	承 応 4 年 (1655 年)	川岸西一丁 目(新倉・沢)	新 倉 区	平成元.6.22
4	あまん どう せき とう 尼 堂 墓 地 の 石 幢	寛 文 4 年 (1664 年)	長地柴宮一 丁目 19	東 堀 区	〃
5	はな おか こう えん いし どうろう 花 岡 公 園 の 石 灯 籠	元 治 元 年 (1864 年)	湊一丁目	花 岡 区	平成元.7.13

(4) 絵 画

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	じゅう ろく ぜん しん す かく 十 六 善 神 図 幅	室町時代	長地小萩一 丁目 19-9	真 秀 寺	昭和 55.5.9

(5) 建造物

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	駒 沢 諏 訪 社 本 殿	川岸東四丁目 15-22	駒沢区神社委員会	平成 3. 12. 3
2	小 口 薬 師 堂 本 堂	銀座二丁目 15-1	小 口 区	〃
3	広 円 寺 本 堂	堀ノ内二丁目 7	広 円 寺	平成 14. 2. 25
4	今 井 十 五 社 本 殿	神明町四丁目 2-1	今 井 区	平成 15. 2. 21
5	今 井 十 五 社 舞 屋	〃	〃	〃
6	今井十五社境内社津島社本殿	〃	〃	〃
7	小 井 川 賀 茂 神 社 本 殿	加茂町三丁目 6-8	小井川賀茂神社	〃
8	照 光 寺 本 堂	本町二丁目 6-43	照 光 寺	〃
9	東 堀 正 八 幡 宮 本 殿	長地柴宮一丁目 4-13	東 堀 正 八 幡 宮	〃
10	東 堀 正 八 幡 宮 拝 殿	〃	〃	〃
11	東 堀 正 八 幡 宮 舞 屋	〃	〃	〃
12	小坂観音院観音堂 附 棟札・ 華臺・厨子・格天井	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	平成 16. 3. 30

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
13	照光寺 ^{さんれいこうとうとう} 蚕霊供養塔 附 棟札1枚 蚕霊供養塔関 係資料 41点	本町二丁目 6-43	照 光 寺	平成 23. 5. 9

(6) 古文書類

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	昌福寺の武田勝頼 ^{あんどじょう} 安堵状	川岸東四丁目 16-5	昌 福 寺	平成 5. 2. 25
2	高島藩 寛文五年宗門御改帳・ 宗門五人組帳・人別帳 ^{にんべつちよう}	—	個人	平成 10. 5. 1

(7) 工 芸

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	小 田 井 の 鉦 鼓 ^{しょうこ}	文化 4 年 (1807年)	湊三丁目 6-9	湊第五町内会	平成 7.3.15
2	新倉薬師堂の鉦鼓 ^{しょうこ}	寛延 2 年 (1749年)	川岸中二丁 目 3332	新 倉 区	〃
3	小坂観音院観音堂の鱧口 ^{わにくち}	明 応 5 年 (1496年)	湊 四 丁 目 15-22	龍光山観音院	平成 16.3.30

(8) 史 跡

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	コ ウ モ リ 塚 古 墳	長地鎮 6444-2	個人	昭和 42. 3. 6
2	三 沢 一 里 塚	川岸上三丁目	三 沢 区	〃
3	花 岡 城 跡	湊一丁目 5	岡 谷 市	〃
4	高 尾 城 跡	川岸三沢(高尾 山)	三 沢 区	〃
5	ス ク モ 塚 古 墳	長地源二丁目 3	個人	昭和 46. 4. 15
6	広 畑 遺 跡	川岸上四丁目 9 ~10(高尾山麓)	岡 谷 市	昭和 49. 2. 9
7	岡 屋 遺 跡 ^{おかのや}	岡谷区 4 7 4 0 -イ-4	(宗) 十 五 社	昭和 53. 10. 6
8	唐 櫃 石 古 墳 ^{からうと いし}	長地横川字丸山 5811-1	個人	昭和 54. 7. 6

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
9	姥ヶ懐古墳	長地横川字丸山 5448-1	個人	昭和 55. 5. 9
10	横川山の割り石と泣き石伝説	横川山 10016-1 番地	東堀区と旧平野村 の10ヶ区	平成 14. 5. 2
11	川岸天竜河畔 諏訪明神入諏伝説の地	川岸上一丁目 113-1	三 沢 区	平成 16. 3. 30

(9) 天然記念物

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	小坂観音院柏槇の大樹	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	昭和 42. 3. 6
2	神のき木	長地御所二丁目 5	東 堀 区	〃
3	昌福寺の枝垂桜の大樹	川岸東四丁目 16-5	昌 福 寺	〃
4	出早雄小萩神社の社叢	長地出早二丁目 2-22	中屋・中村・横川区	昭和 49. 10. 18
5	小口賀茂神社のアオナシ	銀座一丁目 5	小 口 区	昭和 59. 12. 6
6	今井家のカツラ	今井 1832	個人	〃
7	毘沙門堂のスギ	川岸西二丁目 7	新 倉 区	〃
8	駒沢諏訪社のサワラ	川岸東四丁目 15-22	駒 沢 区	〃
9	小坂観音院寺叢	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
10	小坂観音院ブッポウソウ繁殖地	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
11	小坂中村地籍のシダレザクラ	湊四丁目 11	小坂・有賀・花岡・ 藤森の姓代表	平成 2. 4. 10
12	船魂社のシダレザクラ	湊三丁目 3	湊第五町内会	〃
13	鎮社のサワラ	長地鎮二丁目 19-18	中 屋 区	〃
14	駒沢諏訪社のケンポナシ	川岸東四丁目 15-22	駒 沢 区	平成 5. 2. 25
15	新倉十五社のケンポナシ	川岸中二丁目 24-21	新 倉 区	〃
16	小井川賀茂神社のハリギリ	加茂町三丁目 6-8	小井川賀茂神社	〃
17	育恩堂のシダレザクラ	山手町一丁目 3-7	育 恩 堂 教 会	平成 8. 2. 26
18	今井家のカキノキ	今井 1250	個人	平成 17. 2. 24

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
19	岡谷唐櫃石古墳ヒカリゴケ <small>かるうといし</small>	長地横川字丸山 5811-1	個人	平成 20. 10. 3

(10) 考古資料

No.	名 称	点数	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	岡谷丸山遺跡出土 矢柄研磨器 <small>おかやまるやま</small>	2	中央町一丁目 9-8	市立岡谷美術 考古館	平成 16.3.30
2	榎垣外遺跡出土 顔面把手付深鉢形土器 <small>えのきがいと</small>	1	〃	〃	〃
3	目切遺跡出土 顔面把手付深鉢形土器 <small>めきり</small>	1	〃	〃	〃
4	目切遺跡出土 壺を持つ妊婦土偶 <small>めきり</small>	1	〃	〃	〃
5	広畑遺跡出土 土偶 <small>ひろはた</small>	1	〃	〃	〃
6	花上寺遺跡出土 土偶 <small>かじょうじ</small>	1	〃	〃	〃
7	梨久保遺跡出土 コハク・ヒスイ製装身具 <small>なしくぼ</small>	8	〃	〃	〃
8	橋原遺跡出土 炭化種子類 <small>はしはら</small>	一括	〃	〃	〃
9	榎垣外遺跡片間町地区 12号住居址出土品 <small>えのきがいと</small>	64	〃	〃	平成 20. 10. 3
10	梨久保遺跡 3・4号住居 址出土土器 <small>なしくぼ</small>	28	〃	〃	平成 21. 3. 2

8 経済産業省認定近代化産業遺産群
きんざいさんぎょういさんぐん

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	旧 林 家 住 宅	御倉町 2-20	岡谷市教育委員会	平成 19.11.30
2	旧 片 倉 組 事 務 所	川岸上一丁目 1-20	中央印刷株式会社	〃
3	旧山一林組製糸事務所・ 守衛所 <small>きゅうやまいち</small>	中央町一丁目 13-17	岡谷市教育委員会	〃
4	旧 岡 谷 市 役 所 庁 舎	幸町 8-1	岡 谷 市	〃

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
5	旧山上宮坂製糸所事務所・工場棟・再繰工場棟・居宅	加茂町三丁目 2-41	個人	平成 19.11.30
6	丸山タンク	中央町 1-10	岡谷総郷	〃
7	株式会社金上繭倉庫	本町二丁目 5-8	株式会社 金上	〃
8	旧岡谷上水道集水溝	山手町 3-4071 口	(宗) 十 五 社	〃
9	蚕霊供養塔	本町二丁目 6-43	照 光 寺	〃
10	鶴峯公園	川岸上 3-13	岡 谷 市	〃
11	成田公園	成田町 1-7	岡 谷 市	〃
12	丸中宮坂製糸所繭倉庫	東銀座二丁目 13-23	株式会社宮坂製糸所	〃
13	市立岡谷蚕糸博物館 所蔵資料	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	〃
14	旧蚕糸試験場所蔵機械等	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	〃
15	新增沢工業株式会社 所蔵機械 (横フライス盤)	加茂町一丁目 2-5	新增沢工業株式会社	〃

9 一般社団法人日本機械学会認定 機械遺産
岡谷蚕糸博物館の繰糸機群

No.	機械名称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	フランス式繰糸機	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	平成 23.8.7
2	諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
3	4条繰り諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
4	6条繰り諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
5	イタリア式多条繰糸機	〃	〃	〃
6	御法川式多条繰糸機	〃	〃	〃
7	織田式多条繰糸機	〃	〃	〃
8	増澤式多条繰糸機	〃	〃	〃

10 世界遺産暫定一覧表候補の文化資産

名 称	所在地	提案者	区分
旧林家住宅外4件	御倉町2-20 外	長野県・岡谷市	カテゴリーⅡ 平成 20.9.26

(4) 図 書 館

① 基本方針

図書及び視聴覚等の資料を収集、整備、保存して、乳幼児から高齢者に至るまで広く市民の利用に供します。諏訪地域図書館情報ネットワークシステムを活用する等他機関との連携を密にしながら、生涯学習の拠点としての図書館サービス向上に努めるとともに地域課題解決型の図書館を目指します。

また、「第2次岡谷市子ども読書活動推進計画」に基づき、親子がわくわくする読書環境づくりを進め、本が好きな子ども、自ら読み、考える子どもの育成を目指します。

② 重点目標

- 1 図書及び視聴覚資料の充実、整備と提供
- 2 「第2次岡谷市子ども読書活動推進計画」の推進
- 3 諏訪地域図書館との情報ネットワークシステム広域利用の推進
- 4 市民読書の普及と推進
- 5 調査、研究に対する情報提供サービスの向上
- 6 ボランティアの育成、読書関係団体の育成と連携、協力

③ 平成27年度重点施策

- 1 第2次岡谷市子ども読書活動推進計画の推進
 - ・「うち読でエコ読」の推進
 - ・「子ども読書会議」の実施
 - ・ブックリストの活用促進
 - ・「おはなしの森」「ちいさなおはなしの森」「としょかん子ども読書まつり」の充実等
- 2 図書館活用の促進
 - ・図書館を身近にし、読書普及につながる事業の推進による底辺の拡大
まちかど図書館、おやこルーム、図書館 de 講座、リサイクル本配布事業等
 - ・配架の工夫やテーマブックコーナーの充実
 - ・図書館の広報充実(ホームページ、シルキーチャンネル、図書館メールマガジン、げんきっずおかや等)
 - ・インターネット対応型学習室の検討
 - ・電子書籍の提供
 - ・デジタルアーカイブの検討
- 3 郷土資料及び視聴覚資料の充実
- 4 一般業務ボランティアの参加拡大、読み聞かせボランティア連絡会の立上げ
- 5 職員研修の充実
- 6 新病院建設に伴う関係部局との連絡調整

④ 施 設

- 1 名 称 市立岡谷図書館
- 2 所 在 地 岡谷市本町四丁目1番39号
- 3 開 設 昭和20年4月1日(昭和54年9月8日現在地で開館)
- 4 建 物 鉄筋コンクリート2階建一部地階
敷地面積 3,843.51㎡
建築面積 1,199.04㎡ 延床面積 1,942.71㎡

⑤ 利用案内

1 休館日

- (1) 月曜日。ただし、この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときを除く。
- (2) 休日の翌日。ただし、この日が休日、土曜日又は日曜日に当たるときを除く。
- (3) 年末、年始(12月28日から翌年1月3日まで)
- (4) 特別整理期間(9月1日から10月31日までのうち10日間)
- (5) 資料整理日(毎月最後の金曜日。ただし、この日が休日に当たるときは、その前日)

2 開館時間 午前10時～午後7時

3 館内閲覧 開架式(自由選択)

4 館外閲覧 図書(録音資料も含む)は10点以内、映像資料3点以内 貸出期間2週間

⑥ 蔵書冊数等

総蔵書冊数 231,023冊

分類別蔵書数、受入及び除籍冊数

(平成27年3月31日現在)

分類	蔵書冊数		26年度受入冊数		除籍冊数
	冊	構成比 %	冊	構成比 %	
0 総記	4,672	2.9	81	1.7	64
1 哲学	5,383	3.3	126	2.6	95
2 歴史	13,484	8.2	419	8.7	289
3 社会科学	18,352	11.2	442	9.2	303
4 自然科学	6,577	4.0	296	6.1	148
5 技術	7,060	4.3	384	8.0	520
6 産業	4,079	2.5	147	3.1	71
7 芸術	14,509	8.9	398	8.3	390
8 言語	1,641	1.0	34	0.7	29
9 文学	42,076	25.8	1,173	24.4	272
児童	45,610	27.9	1,310	27.2	1,860
小計	163,443	100.0	4,810	100.0	4,041
団体貸出用	7,602		193		130
地区公民館図書室	22,868		615		332
紙芝居	1,386		4		8
保育園・幼稚園 親子文庫	35,724		861		772
合計	231,023		6,483		5,283
再掲 (内書)	区分	蔵書冊数	26年度受入冊数		除籍冊数
	郷土	15,524冊	275冊		14冊
	点字	596冊	21冊		0冊
	洋書	1,631冊	1冊		0冊

	地区公民館図書室	蔵書冊数	26年度受入冊数	除籍冊数
	湊公民館	6,870冊	194冊	239冊
	川岸公民館	8,097冊	213冊	92冊
	長地公民館	7,901冊	208冊	1冊
	合計	22,868冊	615冊	332冊

⑦ 利用状況(平成26年度)

1 館外貸出利用状況

区 分	貸出冊数		利用者別貸出冊数		登録者数	
		内児童図書	中学生以上	児 童		内児童
	冊	冊	冊	冊	人	人
本館計	244,630	88,914	192,289	52,341	26,718	2,253
個人貸出	232,083	86,578	179,742	52,341		
団体貸出	4,349	1,320	4,349			
相互貸借	8,198	1,016	8,198			
湊公民館	5,778	5,652	2,989	2,789	464	105
川岸公民館	6,069	5,976	2,480	3,589	694	158
長地公民館	6,637	6,411	2,305	4,332	651	135
保育園幼稚園親子文庫	59,800	59,800	11,650	48,150	—	—
合計	322,914	166,753	211,713	111,201	28,527	2,651

※ 個人貸出の内、視聴覚資料利用数 11,253点

(内訳) ビデオ 202点、DVD 7,185点 カセット 399点、CD 3,467点、

※ 保育園・幼稚園親子文庫は、保育園・幼稚園における読書環境を整え、親と子が読書を通して、ふれあいを深め心の絆を結び合い、明るい家庭づくりと子どもの健全育成に資することを願って、昭和59年に開設された。市内全保育園・幼稚園の親子文庫へ絵本を配本し、園児と保護者の利用に供している。

2 団体貸出利用状況(本館)

区 分	回 数	貸出冊数
学校・学級文庫	—	962冊
P T A図書委員会	—	2,800冊
保育園	16回	132冊
学童クラブ(田中小・岡谷小)	19回	264冊
読み聞かせボランティア団体(6団体)	15回	95冊
庁内(生涯学習課・企画課)	3回	3冊
イルフ童画館	9回	27冊
蚕糸博物館	4回	12冊
美術考古館	1回	7冊
生涯学習活動センター	1回	3冊

こどものくに	2回	4冊
湖畔病院	1回	11冊
つつじが丘学園	2回	23冊
乳幼児サークル（どんぐりの会）	4回	6冊
合 計		4,349冊

学校・学級文庫内訳

学 校 名	学 年	学 級	貸 出 冊 数
神明小学校	図書室		185冊
〃	2・3年生	3学級	136冊
岡谷小学校	図書室		27冊
〃	3年生	1学級	1冊
小井川小学校	図書室		3冊
〃	4年生	1学級	164冊
湊小学校	図書室		27冊
長地小学校	図書室		16冊
上の原小学校	図書室		23冊
〃	2・3・4・6年生	4学級	12冊
田中小学校	図書室		78冊
〃	3年生	1学級	12冊
川岸小学校	図書室		50冊
〃	1年生	1学級	4冊
岡谷南部中学校			9冊
岡谷北部中学校			27冊
岡谷西部中学校			89冊
岡谷東部中学校			9冊
岡谷工業高等学校			6冊
岡谷南高等学校			30冊
岡谷東高等学校			25冊
下諏訪向陽高校			29冊
合 計			962冊

※学級文庫は、身近なところに本のある環境づくりと、市立図書館の活用を目指して、平成2年度より希望の学校・学級を単位としてスタートした。

3 相互貸借内訳

貸 出 先	冊 数
諏訪市図書館	2,361冊
信州風樹文庫	301冊
茅野市図書館	2,394冊

下諏訪町立図書館	1,412冊
富士見町図書館	1,066冊
原村図書館	586冊
県内図書館	76冊
県外図書館	2冊
合 計	8,198冊

⑧ 平成 27 年度事業概要 (一般貸出業務以外のもの)

事業・行事名	期間または回数	内 容
おはなしの森	毎週土曜日	語り、絵本の読み聞かせ、紙芝居等
ちいさなおはなしの森 日曜日のちいさなおはなしの森	毎月第3火曜日 5/10、6/28、 8/30、2/28	乳幼児向け 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、手遊び等
夏休み特集おはなしの森 クリスマス特集おはなしの森	8/4~8/9 12/19	戦争の絵本の読み聞かせ、諏訪地方の伝説民話 絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
こわ〜いおはなしの森	8/8	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
ぬいぐるみのおとまり会	11/21	お気に入りのぬいぐるみを図書館にお泊りさせ、 おはなし会、図書館探検
としょかん子ども読書まつり	10/31、11/1	図書館関係団体(約11団体)と協力 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、人形劇 本の紹介等
子ども工作教室	8/1、1/30	夏休み、冬休みの工作教室
としょかんキッズ (1日図書館職員体験)	夏休み中・春休み中	小学校4年生~高校生による図書館職員体験
ファーストブックプレゼント事業	毎月	市内0歳児の3・4ヶ月児健診時に、絵本のプレ ゼント
親子ルーム設置事業	通年(会議室未使用 時開放)	図書館2階の会議室を親子ルームとして開放し 親子で絵本を介してふれあう環境の整備を図る。
うち読でエコ読	通年	毎月第3日曜日(家庭の日)を「うち読でエコ読 の日」として家庭でテレビ等を消して読書の時間 をつくり、読書を通じて家族のコミュニケーションを図る取り組みの提唱
子ども読書会議	8/4	子どもたちの目線で子どもの読書活動に関する 意見や提言を取り上げ、子どもたちが積極的に意 見交換する会議
まちかど図書館	通年	市民から受けた寄贈本や、図書館のリサイクル図書を 市内公共施設等に置き、いつでもどこでも本が身 近にある読書によるまちづくりを推進する。

図書館de講座		6/23～ 7月	郷土の歴史講座 男女共同参画週間コーナー設置（企画課との協働）等 岡谷市防災の日 テーマブックスコーナーの設置（危機管理室との協働）
おかぼんポイント付与		通年	貸出で5ポイント付与（商業観光課との協働）
職員派遣による普及活動	地区グループ、関係機関等の依頼による読み聞かせ	随時	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
	絵本と出会う親子ふれあい体験事業	毎月（12回）	10ヶ月児健診時に親子を対象に、本の読み聞かせ、手遊び等実施
関係団体事業	(読書サークル協議会)		
	リサイクル本配布事業	11/29	リサイクル本を市民に提供
	漱石読書会	月1回	漱石の世界
	日曜日の読書会	月1回	百人一首
	(おはなしだいすきポポーの木)		
	読み聞かせ講座	7/4	「今こそ 子どもたちに昔話を」パートⅡ 講師 松本 なおこ
		9/27	午前の部「集まれ藤田浩子さんのおはなし会」 午後の部「もっともっと楽しいお話会の演じ方」 講師 藤田 浩子
		12/5	「ブックトーク」講師 上島 陽子
	(その他)		
	おとなのための朗読会	7/12	朗読の会まどかによるおとなのための朗読会
2/14			
読書運動の推進	通年	幼稚園保育園親子文庫委員、小学校 PTA 図書委員会の協力により実施	

(5)美術考古館

① 基本方針

郷土に根ざした美術考古館として、縄文時代から平安時代に至る市内遺跡からの出土品、郷土に関係の深い美術作品等の展示公開を行うとともに、市民から親しまれる施設をめざす。また近隣文化施設等との連携を図り、周辺地区の活性化に寄与し、文化を核にしたまちづくりの拠点となる施設をめざす。

② 重点目標

- 1 美術作品及び考古資料等の展示及び案内の充実
- 2 ワークショップの開催等による学習活動の推進
- 3 学校との連携・利用促進
- 4 市民ギャラリー・交流ひろば等の利用促進
- 5 資料の収集・整理・保存・調査研究・活用
- 6 施設の適切な維持と管理
- 7 周辺文化施設や商店街等との連携

③ 平成27年度重点施策

- (1) 開館二周年記念 特別企画展「新世代アーティスト展」の開催
- (2) 開館二周年記念 特別企画展「武井直也回顧展」及び地域交流事業の開催
- (3) 収蔵美術作品の公開展示
- (4) 「岡谷市内小学校児童版画展」など学校と連携した企画展の開催
- (5) 魅力あるワークショップの開催
- (6) 市内遺跡出土品の公開展示
- (7) 岡谷まち歩き古本市、おかやフェスタ等の周辺文化施設や商店街と連携したイベントへの参加

④ 施設

【市立岡谷美術考古館】

所在地	建物
岡谷市中央町一丁目9-8	鉄筋コンクリート3階建 1,238.85 m ²
開館年月日	備考
昭和45年11月3日	昭和47年12月1日 登録博物館として県教育委員会登録 平成25年11月3日 現在地に移転・開館

⑤ 利用案内

- 1 休館日 水曜日、国民の祝日の翌日（ただし、この日が休日にあたる場合は開館する）
年末年始（12月29日～1月3日）
- 2 開館時間 午前10時～午後7時
- 3 入館料 一般おとな（高校生以上） 350円 こども（小中学生） 150円
団体（10名以上）おとな 250円 団体こども 100円
ただし、特別企画展開催中は特別料金
共通入館料（美術考古館、イルフ童画館、蚕糸博物館、旧林家住宅、旧渡辺家住宅）
5館入館券 一般1,100円 高校生900円 中学生600円 小学生400円

3館入館券 一般 900円 高校生 700円 中学生 500円 小学生 350円

2館入館券 一般 650円 高校生 600円 中学生 300円 小学生 300円

年間券(おとな) 1,000円

ただし、諏訪6市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料

⑥ 資料(平成27年4月1日現在)

1 美術関係資料

作家名	石膏	セメント	大理石	ブロンズ	木彫	テラコッタ	デッサン	日本画	油彩画	水彩画	水墨画	中国画	工芸	書	版画	童画	原画	刊本作品	余技作品	複製画	造形資料	刀剣	計	
武井直也	50	1	6	58		1	1		3															120
武井 斌	12		1	12	1		1																	27
小口 節三	7			9	1	1																		18
清水多嘉示				8			1																	9
大和作内				2																				2
北村西望				1																				1
洞沢今朝夫					1																			1
高橋貞一郎							1		14															15
高橋 靖夫							3		32															35
山田 郁夫							3			17														20
宮原麗子							4		23															27
宮原 むつ美									6															6
杉原元人								1																1
伝 狩野芳崖								1																1
宮坂巴堂								1																1
岸 竹堂								1																1
安藤耕斎								1																1
川崎春彦								1																1
野村千春									125															125
田中隆夫									22															22
織 田 昇									45															45
志村一男									6															6
篠原昭登									1															1
中村一郎									2															2
西岡瑞穂									1															1
堀内唯生									7															7
松井 緑									1															1
辰野登恵子							1		3						10									14

2 考古関係資料

種 類	縄文時代	弥生時代	古墳時代以降	計
	点	点	点	点
土 器	1,706	759	2,543	5,008
土 製 品	1,136	95	579	1,810
石 器	16,043	465	33	16,541
金 属 器	0	9	853	862
レ プ リ カ	2	0	0	2
計	18,887	1,328	4,008	24,223

・八幡一郎関係資料

種 類	点 数	種 類	点 数	種 類	点 数
著 書	96	歴 史 一 般	92	美 術	26
考 古	121	遺 跡 地 図	48	雑 誌 類	132
民 族	154	辞 典 類	119	そ の 他	120
民 俗	60	報 告 書	56	計	1,024

3 民俗関係資料

種 類	点 数	種 類	点 数
衣 ・ 食 ・ 住	920	民 俗 知 識	88
生 産 生 業	381	民 俗 ・ 芸 能 ・ 娯 楽 ・ 遊 戯	87
交 通 ・ 運 輸 ・ 通 信	59	人 の 一 生 (通 過 儀 礼)	18
交 易	78	年 中 行 事	10
社 会 生 活	48	そ の 他	44
信 仰	12	計	1,745

⑦ 利用状況 (平成 26 年度)

1 全入館者数 (開館日数 303 日) ※平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

個 人		団 体		年間券 (販売数)	共通券	減 免 入館者	小中学生 等 無 料 入 館 者	入館者 合 計	入館料 合 計
高校生 以 上	小中学生	高校生以 上	小中学生						
人	人	人	人	人	人	人	人	人	円
1,144	17	107	0	374 (12)	230 (76)	1,920	6,505	10,297	545,850

⑧ 平成 27 年度 主要事業

事業名	事 業 概 要	実施月日等
美術考古館 管 理 事 業	・美術考古館の管理運営 ・美術考古関係発刊図書の販売・ミュージアムグッズの販売 ・おかやミュージアムニュースの発刊	年間

展 示 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展示 <ul style="list-style-type: none"> 収蔵作品展Ⅰ「没後15年記念 野村千春展」 収蔵作品展Ⅱ 収蔵作品展Ⅲ 収蔵作品展Ⅳ ・交流ひろば展示 ・考古展示 <ul style="list-style-type: none"> 縄文時代から平安時代までの通史展示 国重要文化財顔面把手付深鉢形土器・岡谷市指定文化財壺を持つ妊婦土偶など 企画展示 花上寺遺跡 	<p>5月21日～8月24日</p> <p>1月</p> <p>1月～3月</p> <p>3月～</p> <p>年間</p> <p>6月～</p>
企画展等開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「新世代アーティスト展」 矢島史織展 星美加展 安藤美香展 ・特別企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「武井直也回顧展」 ・長野県信濃美術館移動展 ・企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「岡谷市内小学校児童版画展」 	<p>8月28日～10月6日</p> <p>10月10日～11月16日</p> <p>11月20日～12月27日</p> <p>10月17日～11月30日</p> <p>12月4日～12月15日</p> <p>2月～3月</p>
学 習 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習スペースでの考古体験 ・美術・考古に気軽に触れるワークショップの開催 ・授業での展示室見学の際の展示解説などの学習支援 	年間
芸 術 品 等 収 集 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・地元出身作家等の作品の収集 	年間
資 料 保 存 活 用 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・美術・考古資料の整理・保存・調査研究・活用 	年間

(6) 生涯学習活動センター（生涯学習館）・公民館

乳幼児から高齢者まですべての年齢層にわたる市民等が気軽に集い、ふれあい、学びあい、生涯をとおりして自らを高めていく場であり、それらの多様な市民並びに団体の学習活動を支援していくものである。

1) 生涯学習館・公民館

① 基本方針

- 1 市民等に生涯学習の機会や場を提供し、岡谷市民憲章の精神を培う豊かな人間性の醸成に努める。
- 2 「おかや子育て憲章」を指針とし青少年の健全育成に努める。
- 3 温かい心のつながりを大切にし、市民総参加による活力ある「まちづくり」に寄与できるように努める。
- 4 家庭や地域の教育力を高め、時代状況に必要な生涯学習の活性化を積極的に支援するように努める。
- 5 市民等の自発的な学習活動の支援・促進を図り、生涯学習社会の発展に寄与するよう努める。

② 重点目標

- 1 第5次岡谷市生涯学習推進計画に沿って活動を推進する。
- 2 地域課題や教育課題を明確にするとともに、市民の学習要望を察知し、学習内容や運営についてアイデアに富んだ催し・学級・講座・講演会等を開催する。
- 3 社会環境の変化に対応し、市民ニーズに応えうる学習情報・子育て情報の提供や相談事業を推進する。
- 4 学習グループの活動を支援し、学習成果を発表する機会や場の提供をするとともに、学んだ力の活かせるボランティア活動を支援する。
- 5 市民等の誰もが集いやすく「学(まなび)・芸(わざ)・和(なごみ)」の要素をもつ、安らぎと活気を感じる館を目指す。

④ 利用案内

1 生涯学習館

(1)開館時間 午前9時～午後9時30分

(2)休館日 毎月第2火曜日

年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

(3)使用料

使用区分		午前9時から午後9時30分まで1時間につき	
		非営利	営利
生涯学習館	第1研修室 第2研修室	円 150	円 450
	第3研修室 第4研修室	100	300
	第5研修室 第6研修室		
	第7研修室	260	780
	第1多目的ホール	410	1,230
	第2多目的ホール	260	780
	調理実習室	510	1,530
	第1和室	260	780
	第2和室	210	630
	第3和室 第4和室	150	450
	第1ダンス・音楽室	620	1,860
	第2ダンス・音楽室		
	音楽スタジオ	210	630
	工作室	150	450
	第1会議室 第2会議室	100	300
	IT研修室	260	780
催事場	870	2,610	
備考	<p>1 冷房及び暖房の設備並びに調理実習室において各テーブルの電気、ガス及び水道を使用した場合は、上記使用料のほか実費相当額を徴収する。</p> <p>2 催事場の半面を使用するときの使用料は、その使用料の2分の1の額とする。</p> <p>3 営利とは、使用者が入場料若しくは受講料金を徴収する場合又は営利目的で使用する場合をいい、非営利とは、営利以外の使用をいう。</p> <p>4 使用料の還付は以下のとおりとする。</p> <p>(1)使用者の責めによらない理由で使用できなくなったとき。100分の100。</p> <p>(2)使用期日20日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。 100分の100。</p> <p>(3)使用期日10日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。 100分の50。</p> <p>(4)上記のほか、特別な理由があるとき。市長がその都度定める額。</p>		

2 公民館

(1)開館時間 午前8時30分～午後9時30分（土・日は午前8時30分～午後5時）

(2)休館日 国民の祝日に関する法律に規定する休日
 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

(3)使用料

使用区分		午前8時30分から午後9時30分まで1時間につき
岡谷市湊公民館	実習室	円 150
	会議室	260
	学習室	310
	和室	100
	講堂	620
岡谷市川岸公民館	講義室	150
	実習室	210
	第一会議室	210
	第二会議室	150
	学習室	310
	和室	100
	講堂	820
岡谷市長地公民館	講義室	210
	実習室	260
	第一会議室	260
	第二会議室	310
	学習室	410
	和室	150
	講堂	870
備考	1 暖房の燃料を使用し、及び実習室を使用して料理のため電気、ガス又は水道を使用した場合は、上記使用料のほか実費相当額を徴収する。 2 使用料の還付は以下のとおりとする。 (1)使用者の責めによらない理由で使用できなくなったとき。100分の100。 (2)使用期日20日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の100。 (3)使用期日10日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の50。 (4)上記のほか、特別な理由があるとき。市長がその都度定める額。	

⑤ 利用状況（平成26年度）

1 生涯学習館

	生涯学習館主催	学習団体	市役所関係	営利団体	非営利団体	その他	合計
件数	552	3,150	285	2,012	2,923	977	9,899
人数	8,628	32,271	5,184	19,555	27,231	18,278	111,147

2 湊公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	124	338	107	32	85	686
人数	3,861	2520	2643	1183	1,646	11,853

3 川岸公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	151	499	102	79	86	917
人数	3,729	4,499	2,167	3,086	1,595	15,076

4 長地公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	114	1,434	96	35	444	2,123
人数	5,426	17,075	2,486	860	8,661	34,508

⑥ 生涯学習館・公民館の事業（平成27年度）

	事業名	事業内容	期間	備考
乳幼児の教育	輝く子育て支援学級	乳幼児を持つ父母・祖父母等が子育てについて学びあう。	5月～12月	各館16回
	保育園・幼稚園家庭教育学級	保育園児・幼稚園児を持つ父母・祖父母等が子どもの育ちについて学ぶ。	4月～3月	各園で2回以上
児童の健全育成	小学校家庭教育学級	小学生を持つ父母・祖父母等が子どもの健全育成について学習する。	4月～3月	各校で2回以上
	子ども学級	小中学生を対象に自然体験・地域交流体験等を学ぶなかで、仲間づくりを促進する。	5月～2月	各館2～6回
	親子講座	親子のふれあいを一層深めるため、親子で楽しめる手芸や料理等を学ぶ。	8月	1回 生涯学習館
	世代間交流講座	異なった世代を対象に、文化の伝承等を通じて世代間の交流を図る。	5月～3月	各館1～2回
成人の学習	成人・青年向け講座	幅広い年齢層に魅力ある講座を開催し、生涯学習の進展に資する。	5月～3月	年4期 生涯学習館
	青年層向け講座 (ヤングカレッジ)	概ね18歳～40歳の方が、仕事に活かせる知識・技術の習得、または生活に役立つ趣味・特技の充実を図る。	9月～3月	2回 生涯学習館
	岡谷あれこれ スクール	岡谷市へ転入された方を中心に市勢・歴史・習慣等を学ぶなかで仲間づくり、転入後の不安を解消する。	5月～6月	5回 生涯学習館
	生活講座等	生活に密着した知識や技術を学習し快適な生活づくりに役立てる。	随時	1～3回 公民館
	市民大学 ともまなび講座	日常生活に密着した知識・技術・文化等を参加者がともに学びあい、社会生活に役立てる。	6月～11月	5回 生涯学習館
	生涯学習大学	住民が個性や創造性を培い、自己と社会の向上を図る。	9月	1回 生涯学習館
高齢者の学習	いちい学級	社会生活における高齢者の在り方、熟年を迎えての生きがいについて学習するとともに新たな時代感覚を磨き健康で好ましい人間関係を醸成する。	5月～11月	各館12 ～16回

読書活動	読書活動の推進	市立図書館から遠い地区の児童等が公民館図書室を利用することで読書の推進を図る。	通年	公民館
人権教育	人権学習等	人権感覚を磨くとともにあらゆる差別をなくす実践力を培う。	通年	各学級に取り入れる
共催事業	共催事業	学習グループや活動団体等と共催事業を行うことにより市民参画の場と機会をつくり、学びの広場を広げる。	通年	各館
学習成果の発表	ホリデイスクエア事業	施設の活性化とともに学習グループ、各種活動団体に発表の場と市民交流の場を提供する。	通年	生涯学習館
	ロビー展	各学習グループ、一般市民の学習の成果の発表の場を提供し学習意欲の向上を図る。	通年	生涯学習館
	文化祭	学習成果の発表の機会として作品展部門、音楽芸能祭部門に関する芸術文化の振興を図るとともに、市民の連携と融和を図る。	10月～11月	各館1回
ボランティア育成	生涯学習活動及びボランティア活性化推進と活用	市民参画型・ボランティア育成型の講座により新しい学習形式を創出し、参加型の学習手法を生かした講座作りを推進し活用を図る。	通年	生涯学習館
学習グループの育成	学習グループの育成	各種学級・講座から発足したグループを育成し、学習活動への参加をとおしてグループ相互の交流を図る。	通年	各館
分館活動	分館活動育成	地域に密着した公民館として、各分館に対し活動への助言等を行い育成を図る。	通年	公民館
広報	広報活動	館の活動について広く市民に知らせる。	通年	各館

2) 青少年の健全育成

① 基本方針

人間形成の最も重要な青少年期に、子どもに直接かかわる家庭、学校及び地域社会がその果たすべき機能、役割、責任を改めて認識し、お互いに連携を取りながら市民総参加の健全育成運動として積極的に推進する。

② 重点目標

- 1 『おかや子育て憲章』の理念に基づき、「地域の子どもは地域で育てる」ため、子どもと親がともに成長できるよう子育て支援の推進を図る。
- 2 青少年育成関係団体や関係機関と連携・協働し、青少年が健全に成長するための環境づくりの向上に努める。

③ 事業

1 地域子(己)育てミニ集会

家庭教育力や地域教育力の向上を願い、子どもと親がともに健やかに成長できるよう、地域で子育て中の親(親子)を支援し、親同士の交流や親子のふれあいの場の充実を図り、安心して子育てができる「子育て土壌づくり」に努めている。(昭和 63 年から教育委員会の重点施策の一つとして実施している。)

各地区の推進責任者からなる地域子(己)育てミニ集会連絡協議会では、情報交換会や研修会などを計画し、ミニ集会活動の推進を図っている。

また、乳幼児を持つ親同士や子育てを終えた方々との交流を主体とした「乳幼児親子ふれあい事業」では、育児不安の解消や親同士の仲間づくりを通して、安心して子育てができる場の支援を行っている。

<平成26年度実績>	各区乳幼児親子ふれあいの集い	21グループ
	育児サークル(自主グループ)	10グループ

2 子ども会育成会活動

- (1) 地域で子どもを育てる中心組織の岡谷市子ども会育成連絡協議会と協力して、子どもの健全育成のための事業を進める。
- (2) 地区子ども会活動の推進を図るため、地域リーダー育成研修会を行い、指導者の養成に努め、子どもの自主性を図る活動を実施する。
- (3) 中高生ボランティアによる岡谷市リーダーズ倶楽部を組織して各種事業に参加し、小中学生を指導し、協力しながら野外体験活動等を実施する。

平成27年度の主な事業

内 容	ね ら い	時期・場所
わんぱくアドベンチャー	年齢の異なる子どもたちが、市外の少年自然の家に宿泊しながら生活し、家庭や普段体験できない活動を通して仲間づくりをする。	6月12日(金)～14日(日) 阿南少年自然の家
通学合宿	平日に学校が終わって自宅に帰るのではなく、施設で年齢の異なる子どもたちが一緒に生活体験をすることにより、仲間づくりや人とのふれあいを深める。	10月1日(木)～3日(土) 塩嶺野外活動センター
少年スポーツ大会	中学生が地区別対抗のスポーツ大会を通して、地域の友達とかかわり、仲間意識を養う。	11月14日(土) 市民総合体育館
リーダーズ倶楽部	中高生のボランティアグループとして、野外体験活動、奉仕活動などを通して、リーダーとしての自己研鑽、資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「わんぱくアドベンチャー」「通学合宿」の企画・運営参加 ・「夏休み子ども交流事業」への協力参加 ・県外施設研修 ・塩嶺野外活動センターの清掃奉仕活動 ・クリスマス会、新スタッフ研修会 ・各地区行事への協力
地域リーダー育成研修会	子どもの手による子ども会づくりに向けて、行事の一つを企画段階から子どもたちに任せてみるなど、地域の子どもの育成者を養成する。	通年 各地区子ども会育成会

3 夏休み子ども交流事業

姉妹都市の東伊豆町と岡谷市の小学5・6年生が、自然体験や野外活動を通して交流し、両市町の絆を深めるとともに、子どもたちの協調性、人間性を養う。

平成21年度より隔年で行き来している。今年度は、引き続き岡谷市子ども会育成連絡協議会の協力を得て、岡谷市にて実施する。

期 日 平成27年8月6日(木)～7日(金)

場 所 岡谷市(やまびこスケートの森アイスアリーナ、塩嶺野外活動センター、シルクファクトおかや)

内 容 スケート体験、シルクファクトおかやの見学、糸とり体験、バーベキュー、キャンプファイヤー等

参加者 市内の小学5・6年生、東伊豆町小学5年生 協力参加:岡谷市リーダーズ倶楽部

4 岡谷市少年愛護センター

- (1) 青少年の健全育成及び非行防止を図るため、教育委員会 生涯学習活動センターに設置。
- (2) 市長から委嘱された89名の少年愛護委員が市街地等をパトロールして、少年の非行防止や環境浄化活動を行っている。
- (3) 平成26年度の愛護パトロール活動状況

実施日数				従事した愛護委員人数				補導した少年 の延べ人数
午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	
4日	18日	110日	132日	10人	49人	321人	380人	31人

5 岡谷市青少年問題協議会

岡谷市青少年問題協議会条例に基づき、青少年の補導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議することや、総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関及び関係団体相互の連絡調整を図ることを目的として設置している。

- (1) 平成27年度岡谷市青少年問題協議会推進方針（抜粋）

第4次岡谷市総合計画 後期重点プロジェクト「輝く子どもの育成」を基本とし、「おかや子育て憲章」の理念にのっとり推進する。

- (2) プロジェクト推進のための施策

1. 子育て土壌づくりの支援

- (1) 地域とともに支える子育ての推進
- (2) 親子のふれあい機会の充実
- (3) 相談・支援サービスの充実

2. 地域における健全な環境づくり

- (1) 環境浄化の推進
- (2) 非行防止活動の推進
- (3) 学童クラブの充実と子どもの居場所づくりの推進

3. 青少年活動の推進

- (1) 青少年活動の育成支援
- (2) 活動の場の充実
- (3) 社会参加の促進
- (4) 文化活動の促進支援
- (5) 国際理解の醸成
- (6) 指導者の養成

○岡谷市青少年問題協議会委員名簿（任期：平成27年6月1日～平成29年5月31日）

(1) 会長 岡谷市教育長 岩本 博行

(2) 委員

ア、関係行政機関の職員

氏名	団体名等	備考
花岡 欣二	諏訪公共職業安定所岡谷出張所	所長
松本 徹	岡谷警察署 生活安全課	課長
塩原 一正	諏訪地方事務所 地域政策課	課長
宮沢 秀一	諏訪児童相談所	所長
草間 吉幸	岡谷市教育委員会	教育委員長
岩本 博行	岡谷市教育委員会	教育長
濱 道夫	岡谷市社会教育委員の会	会長
森川 一成	岡谷市子ども総合相談センター	センター長

イ、学識経験者

氏名	団体名等	備考
八幡 修司	岡谷市区長会	小井川区
原 宏	岡谷地区保護司会	
林 清子	岡谷市民生児童委員協議会	
古屋 博康	岡谷市社会福祉協議会	
酒井 重明	小学校校長会	湊小学校
両角 徹生	中学校校長会	岡谷南部中学校
北野 亨	高校校長代表	岡谷東高等学校
大兼政 亮起	小学校PTA連合会	小井川小学校
林 康範	中学校PTA連合会	岡谷北部中学校
藤澤 正	高校PTA	岡谷南高等学校
宮入 重人	岡谷市子ども会育成連絡協議会	
高見澤 恒子	岡谷市女性団体連絡協議会	
笠原 大洋	岡谷市少年愛護協議会	
青木 功子	岡谷市地域子（己）育てミニ集会連絡協議会	
鮎澤 憲通	(公財) 岡谷市体育協会	
小口 かつみ	岡谷市更生保護女性会	
城口 保雄	岡谷少年警察ボランティア協会	
柏原 明彦	岡谷市労務対策協議会	
小坂 幸伸	岡谷市保育園保護者会連合会	
川瀬 勝敏	児童養護施設 つつじが丘学園	

6 岡谷市塩嶺野外活動センター

市内の児童・生徒が、自然環境の中で野外活動・宿泊活動を通じて、豊かな情操と心身の健全育成を図るための生涯学習施設として運営している。また、キャンプ場やマレットゴルフコースなどは、一般市民や市外、県外からの利用者も多く、自然に親しむことで心身のリフレッシュを図るレクリエーション施設としても利用されている。

・ 施設概要

名 称	岡谷市塩嶺野外活動センター (開設期間：5月1日～10月31日)	
位 置	岡谷市横川山 10016 番地 1	TEL23-8028
概 要	着工：昭和 56 年 2 月 竣工：昭和 56 年 7 月 (シャワー棟 着工：平成 3 年 5 月 1 日、竣工：平成 3 年 7 月 2 日)	
構造及び 使用区分	センターハウス	構造 鉄筋コンクリート造り 2 階建 1 階 事務室、ホール、広間、和室、管理人室、炊事室、 物置、便所 (男・女) 2 階 広間 1、和室 2、物置、便所 (男・女) シャワー棟 鉄筋コンクリート造り平屋建
	炊事場	構造 木造平屋建
	屋外便所	構造 木造平屋建 2 棟
	その他	キャンプ場、広場、マレットゴルフコース 18 ホール
床面積	センターハウス	1 階 280 m ² 2 階 280 m ² 計 560 m ² シャワー棟 36 m ² 機械室 6.38 m ²
	炊事場	48.60 m ²
	屋外便所	29.64 m ²
	倉庫	32.40 m ²

区 分		市内高校生 以下	市外高校生 以下	市内 一般	市外 一般
センターハウス使用料	1 人日帰り	無 料	210 円	310 円	510 円
	1 人 1 泊	無 料	1,540 円	1,540 円	2,060 円
キャンプ場 使用料	日帰りキャンプ	1 日	510 円 (10 人まで)		
	宿泊キャンプ	1 泊 1 張	770 円		
	※日帰りキャンプで、10 人を超えて使用する場合は、10 人増すごとに 510 円を 加算する。 ※貸出用テントを使用する場合は、上記金額にそれぞれ 1 張 770 円を加算する。				
シーツ等使用実費	1 人	210 円			
シャワー使用実費	1 回	100 円			

5. スポーツ振興課

(1) スポーツ振興基本方針

①基本方針

スポーツ振興課では、平成27年3月に新たに策定した「岡谷市スポーツ推進計画」に基づき、子どもから大人まですべての市民がスポーツを好きになり、生涯にわたってスポーツに取り組む、スポーツを通じて地域が一体化し、活気溢れるまちづくりを推進するため、各種事業を展開していく。

また、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、市民ひとり1スポーツの実現に努めるとともに、子どものスポーツ機会の充実を図り、それぞれの成長期に合わせた効果的な施策を推進し体力向上を図る。また、スポーツを通じた家庭や地域の交流や本市ゆかりのスポーツによるまちづくりを推進し、指導者の確保や選手の育成を図り、競技力の向上に努める。

スポーツ施設の適切な維持管理と運営に努めるとともに、施設の整備を進め、施設の有効活用を図る。

②重点目標

ア 市民ひとり1スポーツの実現

市民のライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ団体等と連携しながら、スポーツ教室・大会をはじめとする多様なスポーツ機会の充実を図る。また、適切な指導ができるスポーツ指導者の養成に努めるなど、スポーツの安全確保を推進する。

(1) 市民のスポーツ機会の充実

①各種スポーツ教室、大会の充実 ②子どものスポーツ機会の充実 ③家族のスポーツ機会の充実 ④地域におけるスポーツ機会の充実

(2) スポーツ指導者・ボランティアの養成

①スポーツ推進委員活動の充実 ②スポーツ指導者の養成 ③スポーツボランティア活動の促進

(3) スポーツ団体の育成・支援

①(公財)岡谷市体育協会の活動支援 ②総合型地域スポーツクラブの育成支援 ③スポーツクラブ等の活動支援

(4) 障がい者スポーツの推進

(5) スポーツにおける安全確保

イ 競技力の向上

全国大会等の招致や競技力向上のためのスポーツ教室・大会を開催するとともに、全国的な舞台で活躍できる選手の育成支援並びに、スポーツ指導者の養成を推進する。

(1) 競技力向上に向けた取り組み

競技力向上スポーツ教室、大会の充実

(2) スポーツ指導者の養成

(3) 世界・全国的舞台で活躍する選手の育成・支援

①アスリートの育成と支援 ②ジュニア世代の育成と支援 ③全国大会等の招致

ウ 子どものスポーツ機会の充実

学校体育活動の充実をはじめ、成長期に合わせた体力向上策を推進するとともに、スポーツを行うきっかけづくりのため、多様なスポーツ機会の充実を図る。

(1) 成長期に合わせた体力向上策の推進

①幼児期の運動遊びの充実 ②小学生期の体力向上 ③中学生期のスポーツ活動の充実

(2) 多様なスポーツ機会の充実

①子どものスポーツ機会の提供 ②スポーツ指導者の養成 ③スポーツ施設の無料利用 ④野外活動の推進

エ スポーツによるまちづくり

恵まれた施設や環境を活用し、スポーツを通じた地域交流や人材育成を推進するとともに、スケート、バレーボールによるまちづくりの推進と、エースドッジボールの普及促進を図る。

(1) スポーツによるまちづくり

①スポーツによるまちづくり ②スケートのまちづくりの推進 ③バレーボールのまちづくりの推進 ④エースドッジボールの普及促進 ⑤スポーツを通じた姉妹都市交流

(2) スポーツによる地域交流の推進

スポーツツーリズムによる地域の活性化

オ スポーツ環境の整備・充実

安全で快適なスポーツ活動に取り組めるスポーツ環境の整備・充実に努めるとともに、施設の効率的な管理と有効活用の推進に努める。

(1) スポーツ施設の整備・充実

安全・快適に利用できる施設整備

(2) スポーツ施設の効率的な管理と有効活用の推進

- ①スポーツ施設の安定的な管理運営 ②スポーツ施設の有効活用の推進 ③スポーツ施設のあり方の検討

③平成27年度重点施策

ア 市民ひとり1スポーツの実現

- ① 様々なスポーツを家族で体験することにより、スポーツをするきっかけづくりの場として、「おかやファミリースポーツプログラム」を実施する。
- ② スポーツ教室の充実を図る中で、特に託児付スポーツ教室「ママスポ広場」を開催し、子育て中のお母さんの心身のリフレッシュを図る。
- ③ 運動嫌いの子どもたちをなくすため、体育の苦手種目が克服でき、運動が好きになるように「おかや小学生体育塾」を開催する。
- ④ 小学校4年生から中学校3年生を対象に、現在行っているスポーツの競技力の向上を目指し、学校やクラブ活動では学ぶことのできない身体教育・食育・傷害予防・メンタル面などを中心とした総合的な指導を行う教室「ジュニアアスリート育成事業」を実施する。
- ⑤ 総合型地域スポーツクラブが行う高齢者向けの各種スポーツ教室及び交流会、会員制スポーツ教室について、スポーツ推進委員が各地区等に出向きPRを行う「いきいき高齢者スポーツ推進事業」を実施し、高齢者の健康づくりと生きがいづくりを推進する。
- ⑥ 運動神経が伸びるプレゴールデンエイジと言われる小学校低学年を対象に、遊びを通じた「コーディネーショントレーニング」や体幹を鍛える「コアコンディショニング」等により運動の基礎となる指導を学校授業に取り入れ、スポーツを楽しむなかで、運動神経の発達を促し運動能力の向上を図るとともに、教員等を対象とした講習会を開催する、「かがやけ おかやキッズ体力アッププログラム事業」を実施する。

イ スポーツによるまちづくり

- ① スケートに親しむきっかけづくりとして屋内スケートリンクを開放する「ファミリースケートデー」や初心者向けの教室（スピードスケート、フィギュアスケート、アイスホッケー、カーリング）や大会を開催し、スケート人口の底辺拡大を図る。
- ② スケートの楽しさを実感し、体力づくりやスケートの基本動作を覚えるためのスケートトレーニング事業と技術トレーニングや氷上でのスケーティング技術向上を図り、全国大会をはじめとする各種大会での上位入賞や自己記録の更新を目的とするアスリートサポート事業を一本化し、通年にわたり各専門スタッフがサポートするスケート教室「おかやスピードスケートトータルサポートクラブ」を実施する。
- ③ バレーボールのまちづくり事業として、市民が気軽にバレーボールと触れ合える環境づくりを目指し、第14回岡谷カップ・フレンドシップバレーボールの各種大会を開催する。
- ④ エースドッジボールの普及促進を図るため、年間を通じて開催される講習会や各種大会への参加を促す。
- ⑤ 平成29年1月に第72回国民体育大会冬季大会のアイスホッケー競技会の一部が本市で開催されることから、競技団体や関係機関と調整を図るとともに視察等を行い、準備を進めていく。

ウ 体育施設の管理・整備

岡谷市スポーツ施設の管理については、平成26年度から30年度の5年間にわたり、シンコースポーツ株式会社を指定管理者に指定し2年目を迎える。

また、岡谷市営庭球場の人工芝修繕工事及びトイレ洋式化工事を実施する。

岡谷市やまびこ国際スケートセンターの管理については、平成23年度から27年度の5年間に渡り、株式会社やまびこスケートの森を指定管理者に指定し最終年を迎える。

また、岡谷市やまびこ国際スケートセンターの整氷車用バッテリー充電器購入及び冷凍機エンジンの修繕を実施する。

(2) スポーツ施設

① 市営岡谷球場

岡谷市神明町一丁目1番1号 電話 22-2893

昭和24.8 建設

昭和44.5 スタンド全面改修、昭和61.9 夜間照明装置設置、平成15.3 フェンス・サブスタンド改修、
平成16.3 スコアボード・バックスクリーン改修、平成17.3 駐車場等舗装、平成25.12 法面等災害復旧工事
総面積 37,917㎡ (グラウンド 15,141㎡、両翼 92m、センター 122m)

使用時間 午前5時～午後9時30分 休場日 無し

区 分		使用料	付属設備	
専用使用	入場料を徴収する場合	1時間 7,750円	照明施設 記者席 管理事務室 トイレ 会議室 電光掲示板 器材室 放送設備	
	入場料を徴収し ない場合	全面使用		1時間 1,240円
		半面使用		1時間 620円
夜間照明		使用した電気料の実費相当額		
電光掲示板		一式1回 2,060円	更衣室	
放送施設		一式1回 2,060円	役員室	
野球用具		一件1回 100円	審判席	

② 岡谷市営庭球場

岡谷市南宮三丁目9554番地1 電話 22-8800

昭和60.11 建設

平成8.3 夜間照明装置設置、平成17.3 砂入人工芝コート2面改修、平成17.6 砂入人工芝コート4面改修

総面積 8,779.7㎡、コート12面 (砂入人工芝コート6面、クレイコート6面)

使用時間 午前8時30分～午後9時30分 休場日 12月29日～翌年1月3日

区 分		使用料		付属設備
		一 般	小中学生	
専用使用	コート1面使用	1時間 770円		照明施設 ネット庫 管理棟 放送設備 本部席棟 更衣室 トイレ
個人使用	1人2時間	210円	100円	
	回数券(11枚綴り)	2,100円	1,000円	
	通年使用券	10,500円	4,100円	
夜間照明		使用した電気料の実費相当額		

③ 岡谷市民湖畔広場

岡谷市湖畔四丁目10020番地11先

昭和61.8 建設

総面積 18,260㎡

使用時間 午前5時～午後7時30分 休場日 無し

区 分		使用料	付属設備
専用使用	全面使用	1時間 820円	物置 バックネット
	半面使用	1時間 410円	
体育用具		1件1回 100円	

④ 岡谷市民川岸スポーツ広場

岡谷市川岸上三丁目1945番地14

昭和55.10 建設、平成9.3 改修

総面積 11,286.55㎡

使用時間 午前5時～午後9時30分 休場日 無し

区 分		使用料	付属設備
専用使用	全面使用	1時間 920円	物置 バックネット
	半面使用	1時間 460円	
夜間照明		使用した電気料の実費相当額	
体育用具		1件1回 100円	トイレ

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター（屋外400mリンク）

岡谷市4769番地14 電話 24-5210

平成5.3 着工、平成6.9 竣工、建設費 27億6,349万円

総面積 149,596㎡

休場期間：2月16日から11月20日まで

使用時間（個人）午前6時～午後9時（専用）午前6時～午後11時 休場日 無し

主施設	国際公認400mパイピングリンク、観覧席（1,000席）
	選手控室（プレハブ平屋建 123.84㎡/H13.8）
	管理棟（鉄筋コンクリート造2階建 1,921.69㎡） 1階：事務室、ホール、休憩室、ロッカー室、更衣室、貸靴室、乾燥室、トイレ、機械室、倉庫、 作業員控室、救護室、厨房、選手控室 2階：研究室、ミーティングルーム、トレーニング室、計測室、リラックス&ケアルーム、 トイレ、検診室、ロビー、更衣室、シャワー室、機械室
	放送記録棟（鉄筋コンクリート造2階建 150㎡） 1階：倉庫 2階：放送室、記録室、役員室、トイレ
	機械棟（鉄筋コンクリート造平屋建 633㎡） 機械室（冷凍機10基）、電気室、氷上整備車庫、控室

区 分	個人使用料		
	一 般	高 校 生	中学生以下
専用使用	1時間 26,230円		
滑走券	1回券(共通券)	1,050円	420円
	回数券(6枚綴)	5,250円	2,100円
	シーズン券	26,250円	10,500円
入場券	1回券(共通券)	210円	
	回数券(6枚綴)	1,050円	
	シーズン券	5,250円	
コインロッカー	1回 100円		
貸靴	1回 520円		

⑥ 岡谷市学校体育施設

区 分	使用料
大体育館	1時間 420円
小体育館	1時間 210円
格技室	1時間 260円
校庭	1時間 420円
照明施設	使用した電気料の実費相当額

⑦ 岡谷市民総合体育館

岡谷市南宮三丁目2番1号 電話 22-8800

西体育館：平成9.12 着工、平成11.3 竣工、建設費 11億5,963万円

延床面積 4,617.1㎡

東体育館：昭和49.7 着工、昭和50.3 竣工、平成11.8 改修、平成24.2 屋根・外壁改修、床の張替、管理棟の耐震工事

延床面積 4,322.47㎡

使用時間 午前9時～午後9時30分

休館日：第2・第4木曜日（この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は翌日）、

12月29日から翌年1月3日まで（その他、岡谷市教育委員会が必要と認める場合）

主施設	西体育館 (スワン ドーム)	体育室 (42m×38m=1,596㎡) エースドッジボール 2面、バドミントン 8面、インディアカ 8面、バレーボール 3面、 バスケットボール 2面、テニス 2面、卓球 24面、体操 各種
		ランニングコース、事務室、会議室、ミーティングルーム、大会運営室、医務室、 応接室、男女ロッカールーム、トイレ、観覧席 (824席)、ロールバック移動席 (792席)
	東体育館	体育室 (38m×30m=1,140㎡) エースドッジボール 2面、バドミントン 6面、インディアカ 6面、バレーボール 2面、 バスケットボール 2面、テニス 1面、卓球 20面、フットサル2面、体操 各種
		柔道場 1面、剣道場 1面、弓道場 6人立、トレーニング室、幼児体育室、会議室、 クラブ室、応接室、男女更衣室、トイレ、器具室、観覧席 (360席)

区 分			使用料 (2時間)	
専用使用	西体育館	入場料等を徴収しない場合	体育に使用する場合	3,680円
			その他の場合	7,360円
		入場料等を徴収する場合	体育に使用する場合	7,360円
			その他の場合	14,720円
	営利、営業を目的として使用する場合			55,200円
	東体育館	入場料等を徴収しない場合	体育に使用する場合	3,120円
			その他の場合	6,240円
		入場料等を徴収する場合	体育に使用する場合	6,240円
			その他の場合	12,480円
	営利、営業を目的として使用する場合			46,800円
柔道場、剣道場、弓道場			1,040円	
第1会議室、第2会議室、第3会議室			420円	
移動式バスケットゴール			1台1回 100円	
電光掲示板			一式1回 1,030円	
フロアシート			一式1回 510円	
音響設備			一式1回 510円	
体育用具			1セット1回 100円	

区 分		使用料	
		一 般	小中学生
個人使用	1人2時間	210円	100円
	回数券(11枚綴り)	2,100円	1,000円

⑧ 岡谷市民水泳プール

岡谷市南宮三丁目2番1号 電話 23-6820

昭和55.9 着工、昭和56.3 竣工

平成15.6 幼児用変形プール改修・同ハッチサッシ改修、平成16.1 ソーラーシステム廃止

平成16.3 ろ過機制御盤改修（全自動化）、プールサイド・更衣室床等の改修（防滑塩ビシート化）

平成22.2 内部改修・サッシ改修、平成22.3 外壁断熱改修・太陽光発電装置設置

平成23.3 ろ過機ろ材入替、平成25.1給湯配管改修・暖房ボイラー入替

延床面積 2,940.8㎡(1階 2,233.72㎡、2階 707.08㎡)

使用時間 7月～8月 午前9時～午後8時30分

9月～6月 午後1時～午後8時30分

休館日：毎週木曜日（この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は翌日）、

12月29日から翌年1月3日まで（その他、岡谷市教育委員会が必要と認める場合）

岡谷市民屋外水泳プールは、平成21年8月31日をもって閉鎖した。

主施設	25m競泳プール 25m×19m（水深115cm～125cm、9コース、日本水泳連盟公認）
	幼児プール 7m×12m（水深40cm～43cm）
	徒歩プール 12m×10m（水深60cm～63cm）
	スライダープール（水深70cm～80cm）
	幼児用変形プール（水深70cm）

区 分		一 般	小中学生
専用使用	1コース使用	1時間 2,060円	
個人使用	1人1回	460円	260円
	回数券(11枚綴り)	4,600円	2,600円

⑨ 岡谷市やまびこアリーナ

岡谷市4769番地14 電話 24-2494

平成6.6.30 竣工、建設費 約17億円

総面積 149,596㎡、床面積 5,120.15㎡（1階 3,763.94㎡、2階 1,356.21㎡）

平成8.12.26 建物等を㈱やまびこスケートの森から取得（約16億4,000万円）し、管理を開始

（岡谷市やまびこアリーナ管理規則による）

主施設	国際公認リンク（30m×60m）、マルチビジョン標示システム
	1階:スケートリンク、事務室、ホール、ラウンジ、貸靴室、売店、ゲストルーム、医務室、スタッフルーム、選手控室、採暖室、ロッカー室、観覧席（400席）、トイレ、機械室、器具庫、氷上整備車 2階:CPUルーム、フィットネススタジオ、ミーティングルーム、更衣室、観覧席（400席）、トイレ、ランニングコース、電気室

⑩ 岡谷市営陸上競技場

岡谷市長地柴宮一丁目9番13号（岡谷東部中学校校庭）

昭和43.10 建設

総面積 13,521㎡

日本陸上競技連盟第4種公認300mトラック（H24.10.10～H29.10.9）、付属設備 物置

⑪ 岡谷射撃場

岡谷市神明町一丁目1番1号

昭和37.4 建設、昭和62 全面改修

総面積 6,445㎡、エアライフル、スモールボアライフル（バツフル式）兼古式鉄砲 10射台

岡谷市営射撃場は平成20年度で廃止し、平成21年度から長野県ライフル射撃協会へ無償貸付している。

(3)平成27年度体育事業

- ①岡谷市・岡谷市教育委員会主催事業
・各区対抗体育大会

事業名	会場
軟式野球競技	市営岡谷球場
40歳以上野球競技	市営岡谷球場
ソフトバレーボール競技	市民総合体育館東体育館
ソフトテニス競技	市営庭球場
卓球競技	市民総合体育館スワンドーム
バドミントン競技	市民総合体育館スワンドーム
ソフトボール競技	川岸スポーツ広場
ボウリング競技	スポーツ岡谷
エースドッジボール競技	市民総合体育館スワンドーム
マレットゴルフ競技	湖畔公園マレットゴルフ場
綱引き競技・表彰式等(各区対抗総合体育大会)	市民総合体育館スワンドーム

・市民スポーツ普及大会

事業名	会場
夏季スポーツ祭(軟式野球)	市営岡谷球場
夏季スポーツ祭(ソフトテニス)	市営庭球場
夏季スポーツ祭(卓球)	市民総合体育館
夏季スポーツ祭(バドミントン)	市民総合体育館
夏季スポーツ祭(柔道)	市民総合体育館柔道場
夏季スポーツ祭(剣道)	市民総合体育館剣道場
夏季スポーツ祭(弓道)	市民総合体育館弓道場
学童秋季軟式野球大会	市営岡谷球場
学童春季 高円宮賜杯第35回全日本学童軟式野球 兼第34回県学童軟式野球選手権春季大会予選	市営岡谷球場
第35回学童軟式野球選手権秋季大会予選(学童夏季)	市営岡谷球場
第50回岡谷市ママさんバレーボール大会	市民総合体育館 他
家庭婦人バレーボールリーグ戦	市民総合体育館 他
平成27年度岡谷市民春季陸上競技大会	市営陸上競技場
第69回岡谷市民陸上競技選手権大会	市営陸上競技場
第37回市民元旦マラソン大会	市民総合体育館駐車場
第16回市民インドアソフトテニス大会	市民総合体育館
第41回岡谷市民テニス大会(シングルス)	市営庭球場
第41回岡谷市民テニス大会(ダブルス)	市営庭球場
第43回岡谷市卓球選手権大会	市民総合体育館
第47回岡谷市民バスケットボール大会(中学生の部)	市民総合体育館
第47回岡谷市民バスケットボール大会(一般の部)	市民総合体育館
市民夜間ソフトボールリーグ戦	市営岡谷球場
第37回岡谷市民女子ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
第49回岡谷市民男子ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
第40回市民スケート大会	やまびこ国際スケートセンター
第37回岡谷市民スキー大会	霧ヶ峰スキー場
第61回岡谷市民水泳競技大会兼学童泳力テスト	市民屋内水泳プール
第45回岡谷市民登山	八ヶ岳(西岳)
早起き野球リーグ戦	湖畔広場
早起き野球トーナメント戦	湖畔広場
第28回エースドッジボール市民大会春季大会	市民総合体育館
第27回岡谷市エースドッジボールジュニア大会	市民総合体育館
第28回エースドッジボール市民大会秋季大会	市民総合体育館
第25回岡谷市内小学校エースドッジボール大会	市民総合体育館

事業名	会場
富岡市エースドッジボール交流大会	富岡市
第29回エースドッジボール市民選手権大会	市民総合体育館
第27回夏季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第12回諏訪湖少年剣道錬成大会	市民総合体育館剣道場
第9回岡谷市民綱引大会	市民総合体育館
第22回市民カーリング大会	やまびこアイスアリーナ

・競技力向上事業

事業名	会場
第25回長野県市町村対抗駅伝競走大会	松本平広域公園陸上競技場発着
第11回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会	松本平広域公園陸上競技場
第66回諏訪地方陸上競技選手権大会	茅野市運動公園陸上競技場
第12回諏訪郡中学生ソフトテニス大会	市営庭球場
第84回南信卓球選手権大会	市民総合体育館
第36回諏訪郡市バスケットボール選手権大会	市民総合体育館
第44回南信少年柔剣道大会(柔道)	市民総合体育館柔道場
第44回南信少年柔剣道大会(剣道)	市民総合体育館剣道場
第65回諏訪地方スケート大会	やまびこ国際スケートセンター

・長野県エースドッジボール協会主催事業

事業名	会場
第25回長野県エースドッジボール上伊那地区予選会	伊那市
第25回長野県エースドッジボール大会	市民総合体育館スワンドーム

②その他スポーツ大会

・(公財)岡谷市体育協会支援大会

事業名	会場
市民女子秋季ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
40周年記念ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
第25回ふれあいママさんバレーボールフェスティバル	市民総合体育館
第1回諏訪湖お盆駅伝	諏訪湖畔広場・道路
甲府・岡谷ソフトテニス交流会	市営庭球場
岡谷市内小中学生長距離記録会	市営陸上競技場
第61回岡谷チャンピオンズリーグ野球大会	市営岡谷球場
第12回マスターズリーグ戦(バレー)	市民総合体育館
第58回岡谷市職域ソフトテニス大会	市営庭球場
第39回岡谷市家庭婦人ソフトテニス大会	市営庭球場
第30回岡谷市ソフトテニス選手権大会	市営庭球場
第31回岡谷ジュニア春季選手権大会	市営庭球場
早期テニス大会岡谷テニス協会員大会	市営庭球場
2015年度岡谷テニス協会杯トーナメント大会	市営庭球場
甲府・岡谷親睦卓球大会	市民総合体育館
第23回壮年ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
平成27年度サッカーリーグ戦(前期)	湖畔広場
第26回夏季小学生サッカー大会	湖畔広場
平成27年度サッカーリーグ戦(後期)	湖畔広場
第23回秋季小学生サッカー大会	湖畔広場
平成27年度岡谷フットサルリーグ	市民総合体育館
第10回春の市民ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
第31回岡谷市地区対抗ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
第34回岡谷市民ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
第72回岡谷市民ボウリング大会	スポーツ岡谷
第73回岡谷市民ボウリング大会	スポーツ岡谷
第74回岡谷市民ボウリング大会	スポーツ岡谷

事業名	会場
前期研修ゲートボール大会	市営ゲートボール場
第30回八十二BK杯ゲートボール大会	市営ゲートボール場
第30回岡谷市民新聞杯ゲートボール大会	市営ゲートボール場
厚生年金岡谷支部ゲートボール大会	市営ゲートボール場
第30回知事市長杯ゲートボール大会	市営ゲートボール場
第29回市民ゲートボール大会	市営ゲートボール場
第16回体育の日記念ゲートボール大会	市営ゲートボール場
後期研修ゲートボール大会	市営ゲートボール場
第26回春季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第16回岡谷市長杯マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第24回市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第23回会長杯市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第27回秋季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第23回市民マレットゴルフ選手権大会	湖畔公園マレットゴルフ場
創立21周年記念ダンスパーティー	市民総合体育館
第32回全日本少年軟式野球大会予選(中学)	市営岡谷球場
第45回中部地区選抜中学軟式野球大会予選	市営岡谷球場
第7回全日本少年春季軟式野球大会予選	市営岡谷球場
第21回岡谷オープンミックステニス大会	市営庭球場
第35回岡谷ジュニアオープンテニス	市営庭球場
チームチャレンジSWAN CAP	市民総合体育館
岡谷FDクリスマスパーティー	長地公民館

・スポーツ少年団主催事業

事業名	会場
第37回軟式野球春季交流大会	市営岡谷球場
市長杯・議長杯軟式野球交流大会	市営岡谷球場
第14回スポーツ少年団軟式野球交流大会(県知事杯)	市営岡谷球場
第18回ライオンズクラブ軟式野球交流大会	市営岡谷球場
第8回軟式野球3年生交流大会	市営岡谷球場
秋季軟式野球交流大会(4・6年生大会)	市営岡谷球場
第4回中学生硬式野球交流大会	市営岡谷球場
第8回バレーボール交流大会	市民総合体育館
武道空手大会	市民総合体育館

・市関連その他事業

事業名	会場
第14回岡谷カップソフトバレーの部	市民総合体育館スワンドーム
第14回岡谷カップ高校女子の部	市民総合体育館スワンドーム他
第14回岡谷カップママさんバレーの部	市民総合体育館スワンドーム
第14回岡谷カップバレーボール小学生の部	市民総合体育館スワンドーム他
第14回岡谷カップバレーボール高校男子の部	市民総合体育館スワンドーム
第14回岡谷カップバレーボール中学生男女の部	市民総合体育館スワンドーム他

(4) 体育関係団体等

①岡谷市スポーツ推進委員

(委員長：有賀 裕信 副委員長：小坂 一、古畑 正文)

氏名	就任年月日	任期	得意種目
有賀 裕信	昭和52. 11. 1	平成28. 3. 31	柔道・レクリエーション
小坂 一	平成16. 4. 1	平成28. 3. 31	バレーボール・ゴルフ・野球
古畑 正文	平成24. 4. 1	平成28. 3. 31	バレーボール・トレッキング
小口 道代	平成16. 4. 1	平成28. 3. 31	レクリエーション
佐藤 智代美	平成20. 4. 1	平成28. 3. 31	バレーボール
宮坂 敦	平成24. 4. 1	平成28. 3. 31	野球
山岡 創	平成24. 4. 1	平成28. 3. 31	登山・バスケットボール
沖中 美恵子	平成24. 4. 1	平成28. 3. 31	ウォーキング・エースドッジボール
花岡 ひとみ	平成24. 4. 1	平成28. 3. 31	ソフトテニス
伊藤 俊郎	平成26. 4. 1	平成28. 3. 31	野球・卓球
今井 美恵子	平成26. 4. 1	平成28. 3. 31	エースドッジボール
田中 仁之	平成26. 4. 1	平成28. 3. 31	ソフトテニス
柴田 晴美	平成26. 4. 1	平成28. 3. 31	バレーボール
小口 常正	平成26. 4. 1	平成28. 3. 31	野球・ソフトボール
齊藤 淳子	平成26. 4. 1	平成28. 3. 31	ウォーキング・水泳・スキー

②体育団体

名称	代表者氏名	構成団体	備考
公益財団法人岡谷市体育協会	千代 馨脩	48団体	競技団体35、区体協10、地区体協3
岡谷市スポーツ少年団	高林 順三	11団体	野球5、剣道1、バレーボール3 空手1、ソフトテニス1

(5) 平成27年度スポーツ教室

①スポーツ教室

○少年スポーツ教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
バスケットボール	小3～小6	4～6月	神明小学校体育館	8回	50人
バレーボール	小1～小6	4～7月	長地小学校体育館	8回	50人
テニス	小2～中3	5～7月	市営庭球場	8回	40人
剣道	小1～中3	5～7月	市民総合体育館	8回	40人
水泳	小1～小3	5～6月	市民屋内水泳プール	8回	45人
		6～7月		8回	45人
ソフトテニス	小4～中3	8月	市営庭球場	8回	40人
バドミントン	小4～中3	9～10月	市民総合体育館	8回	30人
新体操	小1～中3	11～12月	市民総合体育館	5回	30人
フットサル	小1～小6	1～2月	市民総合体育館	8回	30人
計					400人

○女性スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員
ヨガ	9～10月	市民総合体育館2B会議室	8回	20人
エアロビクス	1～3月	市民総合体育館2B会議室	8回	20人
計				40人

○一般スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員
ゴルフ	5～7月	みどり湖ゴルフセンター	10回	25人

○市民全般スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員
柔道	6月	市民総合体育館柔道場	8回	40人
卓球	9～11月	市民総合体育館	8回	30人
ソフトバレーボール	12～2月	市民総合体育館	8回	40人
ボウリング	1～2月	スポルト岡谷	5回	35人
計				145人

○託児付きスポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員
第1回 エアロビクス	6～7月	市民総合体育館	8回	23人
第2回 テニス	9～11月	市宮庭球場	8回	25人
第3回 ヨガ	1～3月	市民総合体育館	8回	25人
計				73人

②おかや小学生体育塾

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
前期（2クラス）	小1～小3	6～9月	やまびこ国際スケートセンター他	各8回	各25人
後期（2クラス）	小1～小6	10～1月		各8回	各25人
計					100人

③ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室	小4～中3	11～2月	市民総合体育館他	15回	20人

④おかやファミリースポーツプログラム

教室名	対象(親子)	開催期間	会場	回数	定員
親子でバスケット体験	小1～小6	6月21日	市民総合体育館	1回	親子50組
親子でナイター野球体験	小1～小6	8月7日	市宮岡谷球場	1回	親子50組
親子でサッカー体験	年長～小6	10月17日	湖畔広場	1回	親子50組
親子で氷上運動会	年少～小3	11月上旬	やまびこアリーナ	1回	親子40組
親子でソフトバレー体験	小1～小6	1月30日	市民総合体育館	1回	親子50組
計					親子240組

⑤スケート教室

○多種目スケート教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
小中学生フィギュアスケート教室	小1～中3	10～11月	やまびこアリーナ	5回	35人
小中学生アイスホッケー教室	小1～中3	10～11月	やまびこアリーナ	2回	50人
初級・中級者対象スピードスケート教室	小1～小6	10～11月	やまびこアリーナ	4回	50人
カーリング教室	市民全般	11～1月	やまびこアリーナ	3回	40人
計					175人

○おかやスピードスケートトータルサポートクラブ

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
初心者～上級者コース	小1～小6	7～2月	やまびこ国際スケートセンター 他	36回	60人
アスリートコース	小4～中3	6～2月	やまびこ国際スケートセンター 他	56回	20人
計					80人

(6) 体育施設の月別利用状況（平成26年度）

① 市営岡谷球場

区 分	専用使用		野 球	照明施設		放送設備	用 具
	全 面	半 面		ソフトボール			
				全 面	半 面		
4月	98.0 h	0.0 h	33.0 h	0.0 h	0.0 h	0 件	0 件
5月	41.0	0.0	18.0	0.0	0.0	2	0
6月	80.0	8.0	20.0	0.0	0.0	2	0
7月	51.0	0.0	18.0	0.0	0.0	0	0
8月	65.0	0.0	16.0	0.0	0.0	4	0
9月	84.0	0.0	14.0	2.0	0.0	1	0
10月	141.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6	0
11月	66.0	0.0	0.0	51.0	0.0	4	0
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
1月	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
26年度	632.0	10.0	119.0	53.0	0.0	19	0
25年度	799.0	20.0	142.0	64.0	0.0	21	4

② 岡谷市営庭球場

区 分	専用使用	個人使用			通年使用	
		小中学生	一 般	市内小中（無料）	小中学生	一 般
4月	812.0 h	24 人	431 人	115 人	0 件	192 件
5月	537.0	13	374	82	0	4
6月	730.0	23	301	34	0	0
7月	330.5	19	331	23	0	2
8月	373.0	38	415	79	0	1
9月	671.5	56	378	114	0	0
10月	530.5	56	332	111	0	0
11月	341.5	30	359	75	0	0
12月	2.0	3	51	17	0	0
1月	0.0	0	0	0	0	0
2月	0.0	2	9	0	0	0
3月	28.0	32	344	136	0	0
26年度	4,356.0	296	3,325	786	0	199
25年度	4,903.0	297	4,039	702	0	220

③ 岡谷市民湖畔広場

区 分	専用使用		用 具
	全 面	半 面	
4月	36.0 h	160.0 h	0 件
5月	9.0	65.0	0
6月	29.0	56.0	0
7月	64.0	62.0	0
8月	27.0	41.0	0
9月	58.0	28.0	4
10月	35.0	36.0	0
11月	0.0	5.0	0
12月	0.0	0.0	0
1月	0.0	0.0	0
2月	0.0	0.0	0
3月	7.0	0.0	0
26年度	265.0	453.0	4
25年度	323.0	422.0	4

④ 岡谷市民川岸スポーツ広場

区 分	専用使用		照明施設			用 具
	全 面	半 面	ソフト全面	ソフト半面	サッカー	
4月	184.0 h	15.0 h	2.0 h	0.0 h	8.0 h	1 件
5月	9.0	10.0	5.0	0.0	6.0	0
6月	42.0	11.0	0.0	0.0	2.0	2
7月	22.0	0.0	2.0	0.0	2.0	1
8月	60.0	14.0	0.0	0.0	52.0	0
9月	98.0	17.0	0.0	0.0	6.0	0
10月	87.75	3.0	2.0	0.0	20.0	0
11月	86.0	0.0	36.0	0.0	59.0	0
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
26年度	588.75	70.0	47.0	0.0	156.0	4
25年度	465.0	106.0	38.0	0.0	135.0	10

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター（屋外400mリンク）

区 分	開場日数	大人	高校生	中学生以下	学校授業		入場者	大会合宿等	計
					市内	市外			
11月	9	106	27	364	68	0	198	2,688	3,451
12月	31	582	173	2,052	2,037	0	1,036	3,332	9,212
1月	31	894	143	2,031	2,253	452	880	561	7,214
2月	15	390	82	990	467	236	412	1,831	4,408
26年度	86	1,972	425	5,437	4,825	688	2,526	8,412	24,285
25年度	86	2,391	450	7,886	3,937	1,091	2,492	7,759	26,006

⑥ 岡谷市学校体育施設

区 分	体育館		校 庭	
	専用使用	照明施設	専用使用	照明施設
小学校	8,630.5 h	8,630.5 h	5,021.0 h	659.5 h
岡谷小	1,611.5	1,611.5	427.0	
神明小	990.0	990.0	663.5	144.5
小井川小	837.0	837.0	588.0	153.0
田中小	1,248.5	1,248.5	559.0	
湊小	875.0	875.0	570.5	
川岸小	1,185.0	1,185.0	630.0	
長地小	1,125.0	1,125.0	974.0	362.0
上の原小	758.5	758.5	609.0	
中学校	4,253.0 h	4,253.0 h	160.0 h	
岡谷北部中	1,460.5	1,460.5	0.0	
岡谷南部中	1,502.0	1,502.0	0.0	
岡谷東部中	596.5	596.5	160.0	
岡谷西部中	694.0	694.0	0.0	
26年度	12,883.5	12,883.5	5,181.0	659.5
25年度	12,822.0	12,822.0	5,376.5	774.5

⑦ 岡谷市民総合体育館

区 分	専用使用		個人使用				回数券使用			使用者数計 合 計
	件数	人数	小中学生	一 般	無 料	合 計	小中学生	一 般	合 計	
バレーボール	226	3,259	15	166	27	208	0	0	0	3,467
ソフトバレーボール	631	6,057	30	294	18	342	0	0	0	6,399
バスケットボール	127	1,668	356	992	1,245	2,593	0	0	0	4,261
バドミントン	787	9,204	149	1,509	265	1,923	0	0	0	11,127
エースドッジボール	3	40	1	10	2	13	0	0	0	53
卓球	490	7,601	134	572	411	1,117	0	0	0	8,718
テニス	66	823	0	138	3	141	0	0	0	964
ソフトテニス	84	1,602	0	128	0	128	0	0	0	1,730
ヨガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新体操	50	1,482	0	0	0	0	0	0	0	1,482
太極拳	70	554	0	0	0	0	0	0	0	554
体操	145	2,099	0	0	0	0	0	0	0	2,099
吹き矢	29	352	0	0	0	0	0	0	0	352
ダンス	538	7,306	9	100	17	126	0	0	0	7,432
エアロビクス	16	155	0	0	0	0	0	0	0	155
ピラティス	17	110	0	0	0	0	0	0	0	110
インディアカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柔道	72	1,521	1	97	16	114	0	0	0	1,635
剣道	354	10,999	2	27	36	65	0	0	0	11,064
空手	186	4,247	0	2	7	9	0	0	0	4,256
合気道	98	1,880	0	22	0	22	0	0	0	1,902
弓道	336	7,105	0	327	0	327	0	0	0	7,432
トレーニング	90	1,345	71	5,652	226	5,949	0	6,162	6,162	13,456
綱引き	10	100	0	0	0	0	0	0	0	100
フットサル	163	3,013	11	73	27	111	0	0	0	3,124
大会	182	75,214	0	0	0	0	0	0	0	75,214
その他	709	32,256	0	0	0	0	0	0	0	32,256
幼児体育室	0	0	0	0	456	456	0	0	0	456
26年度	5,479	179,992	779	10,109	2,756	13,644	0	6,162	6,162	199,798
25年度	5,255	171,608	826	7,855	2,922	11,603	2	2,742	2,744	185,955

⑧ 岡谷市民水泳プール

区 分	開場 日数	コース専用使用	個人使用				回数券	
			小中 学生	一 般	市内 小中 (無料)	その他 無料 減免	小中 学生	一 般
	日	h	人	人	人	人	件	件
4月	26	384.0	9	107	83	3	0	19
5月	26	335.0	32	121	179	10	1	13
6月	26	256.0	44	186	244	5	0	31
7月	27	339.0	249	447	833	24	0	36
8月	29	307.0	405	665	482	20	3	22
9月	26	356.0	31	198	153	10	0	30
10月	26	307.5	14	119	65	8	0	36
11月	26	236.0	17	117	40	10	0	21
12月	21	212.5	6	51	30	14	0	16
1月	20	206.0	4	57	34	19	0	21
2月	24	223.0	14	94	45	13	0	31
3月	27	212.0	19	151	50	9	0	30
26年度	304	3,374.0	844	2,313	2,238	145	4	306
25年度	305	3,758.0	903	2,689	1,911	89	4	324

※参考：平成26年度 無料利用者数

施設名	利用者数	備考
岡谷市民総合体育館	2,756人	市内小中学生、幼児体育室等
岡谷市宮庭球場	786	市内小中学生
岡谷市民水泳プール	2,238	市内小中学生
岡谷市やまびこ国際スケートセンター	2,147	市内中学生以下
岡谷市やまびこアリーナ	1,111	市内中学生以下

姉妹都市

マウント・プレザント市 (アメリカ合衆国ミシガン州)	昭和 40 年 6 月提携
富岡市 (群馬県)	昭和 47 年 10 月提携
玉野市 (岡山県)	昭和 55 年 10 月提携
東伊豆町 (静岡県賀茂郡)	昭和 60 年 3 月提携

○市章



市章 (昭和 11 年 5 月 9 日制定)

線の太さは直径の 1/10、上下円弧は同形、中心水平の位置に線の太さの 1/2 の間隔を置く。上半円は岡、下半円は谷を表し、上下半円が協力円満な市の発展を表現しています。

○市木・市花

(昭和 51 年 7 月 1 日指定)



平成 27 年度 岡谷市教育要覧

(-2015-)

編集 岡谷市教育委員会
及び発行 岡谷市幸町 8 番 1 号
TEL(0266) 23-4811
FAX(0226) 24-2755

表紙
「力比べ」
川岸小学校 6 年生の作品